

第一回

順序と区切りを表す

数字を並べるだけでなく、基準と単位を添えて順序を示す。

今日の中心漢字

年 月 早 初 終 番 週 株

いっしょに覚える漢字

三	五	元	全	千	枚
冊	寸	斤	零	齡	丙

年・月・週や、物を数える単位を確かめたあと、資料の年代と数量を一枚の年表へ正確に整理する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
年	ネン・とし	一年の期間／年を数える 年・年月・年度・年表	終	シュウ・おわる・ おえる	物事がおしまいになる 終わる・終了・終点・最終
月	ゲツ・ガツ・つき	月／一年の区切り 月・月末・年月・月日	番	バン	順序／受け持つ順 番号・順番・当番・一番
早	ソウ・サツ・はや い	時期が前／速度が速い 早い・早朝・早期・早急	週	シュウ	七日間のまとまり 今週・毎週・週間・週末
初	ショ・はじめ・は つ	いちばん初め 初め・初回・最初・当初	株	シュ・かぶ	根元をもつ植物／権利の単位 株・一株・株式・株価

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
三	サン・み・みつ	数の三 三つ・三人・三角	冊	サツ・サク	本を数える 一冊・冊数・冊子・別冊
五	ゴ・いつ・いつつ	数の五 五つ・五日・五月	寸	スン	長さの単位／わずか 一寸・寸法・寸前
元	ゲン・ガン・もと	始まり／もと 元年・元日・地元・復元	斤	キン	重さの単位／パンの単位 一斤・斤量・英斤
全	ゼン・まったく・ すべて	すべて／欠けていない 全部・全体・全国・完全	零	レイ	数のゼロ／わずか 零・零時・零点・零下
千	セン・ち	数の千 千円・千人・数千・千年	齢	レイ・よわい	生まれてからの年数 年齢・高齢・樹齢・適齢
枚	マイ	薄く平たい物を数える 一枚・枚数・二枚目	丙	ヘイ	十干の三番目／第三の区分 甲乙丙・丙種・丙欄

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「年表」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 出来事を年代の順に並べた表。
- イ 物事の初めに近い時期。
- ウ 続いていた物事を終えること。
- エ 週を単位として数えた期間。

(2) 「月末」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事が始まったころ。
- イ 物を区別したり順序を示したりする数字。
- ウ 植物や株式を一つと数える言い方。
- エ その月の終わり。

(3) 「早期」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 続いていた物事を終えること。
- イ 週を単位として数えた期間。
- ウ 物事の初めに近い時期。
- エ 出来事を年代の順に並べた表。

(4) 「当初」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を区別したり順序を示したりする数字。
- イ 物事が始まったころ。
- ウ 植物や株式を一つと数える言い方。
- エ その月の終わり。

(5) 「終了」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 続いていた物事を終えること。
- イ 週を単位として数えた期間。
- ウ 出来事を年代の順に並べた表。
- エ 物事の初めに近い時期。

(6) 「番号」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 植物や株式を一つと数える言い方。
- イ その月の終わり。
- ウ 物事が始まったころ。
- エ 物を区別したり順序を示したりする数字。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 年表 番号 元年 月末 週間 全体 早期 一株 千人 当初 三つ 一枚 終了 五日

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 教室の壁に、主な出来事をまとめた（ ）を掲示した。 | (8) 庭に植えたバラの（ ）から、三輪の花が咲いた。 |
| (2) 報告書は（ ）までに提出してください。 | (9) 話し合うべき点を（ ）に絞った。 |
| (3) 病気は（ ）発見によって治療の選択肢が広がる。 | (10) 出発から（ ）で目的地に着いた。 |
| (4) （ ）の計画では、工事は春に終わる予定だった。 | (11) 新しい元号の（ ）に記念硬貨が発行された。 |
| (5) 閉館時刻となり、本日の展示は（ ）した。 | (12) 細部だけでなく、計画の（ ）を見渡す。 |
| (6) 受付で渡された（ ）の順に呼ばれる。 | (13) 会場にはおよそ（ ）の観客が集まった。 |
| (7) 二（ ）にわたる研修を終えた。 | (14) 申込書を（ ）ずつ配ってください。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「当初」と「初回」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 当初は一回目の出来事、初回は始めの時期全体を表す。
- イ 当初は始まったころの時期、初回は繰り返す物事の一回目を表す。
- ウ どちらも始まりを表すので、期間と回数の違いなく置き換えられる。
- エ 当初は予定より早い開始、初回は予定どおりの開始だけを表す。

(2) 「終了」と「終点」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 終了は最後の場所、終点は作業を終える行為を表す。
- イ どちらも終わりを表すが、行為と場所を区別せずに使える。
- ウ 終了は途中でやめる場合、終点は予定どおり終える場合だけに使う。
- エ 終了は行事や作業が終わること、終点は路線や道の最後の地点を表す。

(3) 「年齢」と「年数」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 年齢は物事が続いた期間、年数は人が重ねた年を表す。
- イ 年齢は人や生き物が重ねた年、年数は経過した期間を年で数えたものを表す。
- ウ どちらも年を数える語なので、人と物の違いなく使える。
- エ 年齢は満年齢だけ、年数は数え年だけを表す。

(4) 「一枚」と「一冊」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 一枚は本、一冊は紙や写真を数えるときに使う。
- イ 紙でできた物なら、綴じ方にかかわらずどちらでも数えられる。
- ウ 一枚は内容の少ない資料、一冊は内容の多い資料だけに使う。
- エ 一枚は薄く平たい物、一冊は綴じられた本を数えるときに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の計画を見直す」 B「(B)の会議に出る」

- ア A=当初/B=初回 イ A=初回/B=当初
- ウ A=当初/B=当初 エ A=初回/B=初回

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「参加者の(A)を記す」 B「保存した(B)を調べる」

- ア A=年数/B=年齢 イ A=年齢/B=年数
- ウ A=年齢/B=年齢 エ A=年数/B=年数

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) この列車のシュウテンで、地下鉄へ乗り換える。 | (9) 図書館が所蔵する本のサッスウを調べた。 |
| (2) 長いトシツキをかけて、石段の角が丸くなった。 | (10) ゴガツになると、校庭の木々が青々と茂る。 |
| (3) 受付のジュンバンが来るまで、椅子で待った。 | (11) ジモトの農家から、朝採れの野菜を仕入れた。 |
| (4) 漁師はソウチョウに港を出て、沖へ向かった。 | (12) 資料をゼンブ読む前に、見出しで全体をつかんだ。 |
| (5) コンシュウ中に、発表の原稿を完成させる。 | (13) 申込書に、自分のネンレイを記入した。 |
| (6) 講座のショカイは、道具の使い方から始まった。 | (14) 配るプリントのマイスウを、人数に合わせて数えた。 |
| (7) 会社のカブシキを保有する人には権利がある。 | (15) 会計は四月から翌年三月までのネンドで区切る。 |
| (8) 二本の線を結び、サンカク形を作った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 寸法 () | (17) 一斤 () | (18) 零時 () | (19) 年齢 () | (20) 丙欄 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一枚の年表を組み立てる

町の資料館で、悠人と真央は古い商店街の年表を作ることになった。

箱には帳簿が一冊、写真が五十枚、苗木を三株植えた記録などが入っている。まず全体を年代順に並べようとしたが、資料ごとに日付の書き方が違っていた。

【資料札に書くこと】 資料番号／年月日／元の資料／使われた単位／不明な点

ある紙には「新しい年号の元年三月五日」、別の帳簿には「翌月末」とだけある。早朝に始めた市の終了時刻は書かれていても、何年の記録か分からないものもあった。数字があるだけでは、順番は確定しない。

真央は一度並べた札を外し、「数字が見えるほど、かえって基準を問い直さなくてはならないね」と言った。悠人は、迷った箇所へ青い印を付けた。

真央は、千人という人口、一斤の食パン、一寸の板、一枚の写真を同じ数量欄へ入れかけた。しかし、数の後ろにある単位が違えば、比べている物も違う。一株と一冊も、数字は一でも対象は同じではない。

古い分類表には甲・乙・丙の欄があり、丙欄には年齢が零歳の子も記されていた。これは三番目という順序であって、価値の上下ではない。番号は並びを示せても、その資料の重要さまで決めるものではなかった。

二人は、日付が確かな資料を先に置き、月までしか分からない資料には幅をもたせた。初回の催しと、当初の計画も分けて記す。七日間を一週として数える記録には、何週間続いたかを補った。

終点を示す地図と、調査の終了を知らせる文も同じ「終わり」ではない。そこで年表の横に、場所・行事・期間という三つの印を付けた。すると、似た言葉でも何を区切っているのかが見えやすくなった。

年表は、数字を小さい順に置けば完成するものではない。何を数えた数字か、どの単位を用いたか、確かな日付かを示して初めて、異なる資料を同じ時間の上で読める。二人は、順序の背後にある基準まで記すことにした。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「人や生き物が生まれてから重ねた年の数」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「シュウカン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「元年」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 月の終わりに当たる日。

イ 物を三番目の欄に分けること。

ウ 年号が改まった最初の年。

エ 本を一つのまとまりとして数える言い方。

(4) 「数字があるだけでは、順番は確定しない」とあるのはなぜか。

ア 大きな数字は年表に載せることができないから。

イ 年月日や単位、元の資料が分からなければ、数字が何を示すか判断できないから。

ウ 古い資料の数字はすべて誤っているから。

エ 写真と帳簿には番号を付けてはいけないから。

(5) 二人が年表の横に三つの印を付けたことで、何が分かりやすくなったか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「単位」「基準」の二語を用い、異なる資料の数字を年表へ置く方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| (1) ア 出来事を年代の順に並べた表。 | (4) イ 物事が始まったころ。 |
| (2) エ その月の終わり。 | (5) ア 続いていた物事を終えること。 |
| (3) ウ 物事の初めに近い時期。 | (6) エ 物を区別したり順序を示したりする数字。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 年表 | (8) 一株 |
| (2) 月末 | (9) 三つ |
| (3) 早期 | (10) 五日 |
| (4) 当初 | (11) 元年 |
| (5) 終了 | (12) 全体 |
| (6) 番号 | (13) 千人 |
| (7) 週間 | (14) 一枚 |

使い分けを確かめよう：当初は始まったころの時期、初回は繰り返す物事の一回目を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 当初は始まったころの時期、初回は繰り返す物事の一回目を表す。

用例：当初の計画を見直す／初回の会議に出る

(2) エ 終了は行事や作業が終わること、終点は路線や道の最後の地点を表す。

用例：受付を終了する／路線の終点に着く

(3) イ 年齢は人や生き物が重ねた年、年数は経過した期間を年で数えたものを表す。

用例：参加者の年齢を記す／保存した年数を調べる

(4) エ 一枚は薄く平たい物、一冊は綴じられた本を数えるときに使う。

用例：地図を一枚広げる／台帳を一冊読む

(5) ア A＝当初、B＝初回。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝年齢、B＝年数。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 終点	(11) 地元
(2) 年月	(12) 全部
(3) 順番	(13) 年齢
(4) 早朝	(14) 枚数
(5) 今週	(15) 年度
(6) 初回	(16) すんぽう
(7) 株式	(17) いっきん
(8) 三角	(18) れいじ
(9) 冊数	(19) ねんれい
(10) 五月	(20) へいらん

七 文章の中で考えよう

- (1) 年齢 本文中では「年齢」と表されている。
- (2) 週間
- (3) ウ 年号が改まった最初の年。
- (4) イ 年月日や単位、元の資料が分からなければ、数字が何を示すか判断できないから。
- (5) 解答例 (47 字)

似た「終わり」を表す語でも、場所・行事・期間のうち、何を区切る言葉なのかが分かりやすくなった。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (76 字)

年月日だけでなく、何を数えた数字か、どの単位を用いたかを資料札に記す。さらに不明な範囲と並べる基準を示せば、確かさの違う資料も同じ時間の上で比較できる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第二回

地域と地形

地名を覚えるだけでなく、土地の高低と人の移動を重ねて読む。

今日の中心漢字

東 野 原 港 坂 津 浦 岳

いっしょに覚える漢字

下	洋	里	街	埼	阜
巢	阻	郭	附	陵	隔

港・浦・坂・陵など土地を表す語を確かめたあと、古地図と現在の道を歩き比べ、地名に残る地形を読み解く文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
東 野 原 港	トウ・ひがし	日の出る方角 東・東方・東西・東口	坂 津 浦 岳	ハン・さか	傾いた道や土地 坂・坂道・急坂・上り坂
	ヤ・の	広く平らな土地 野・野原・平野・分野		シン・つ	船着き場／水辺 津・港津・津波・津々浦々
	ゲン・はら	広い平地／もと 原・原野・高原・原因		ホ・うら	海や湖が入り込んだ岸 浦・浦辺・津々浦々・浦風
	コウ・みなと	船が出入りする所 港・港湾・空港・入港		ガク・たけ	高く大きな山 山岳・岳・連岳・高岳

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
下 洋 里 街 埼 阜	カ・ゲ・した・さ がる	低い所／下方 下・地下・下流・低下	巢 阻 郭 附 陵 隔	ソ・す	動物の住みか／集まる所 巢・鳥の巢・巢立ち・営巢
	ヨウ	広い海／西洋 海洋・大洋・東洋・洋上		ソ・はばむ	行く手をさえぎる 阻む・阻止・陰阻・阻害
	リ・さと	人の住む土地／距離の単位 里・郷里・里山・一里		カク	囲い／囲われた区域 城郭・外郭・輪郭
	ガイ・カイ・まち	人家や店の集まる所 街・街道・市街・街路		フ・つける・つく	つけ加える／付属する 附属・附記・寄附
	さい	水辺へ突き出た土地 埼・埼玉・埼京		リョウ・みささぎ	大きな丘／天皇の墓 丘陵・陵・陵墓
	フ	小高い丘／土の盛り上がり 阜・岐阜		カク・へだてる・ へだたる	間を離す／さえぎる 隔てる・間隔・隔離・隔岸

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「東方」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 標高の高い所に広がる平らな土地。
- イ 東の方角。
- ウ 傾斜のある道。
- エ 海や湖の岸边。

(2) 「平野」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 広く平らに開けた土地。
- イ 船が安全に出入りし停泊できる水域と施設。
- ウ 全国のあらゆる港や海辺。
- エ 高い山々。

(3) 「高原」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 傾斜のある道。
- イ 海や湖の岸边。
- ウ 東の方角。
- エ 標高の高い所に広がる平らな土地。

(4) 「港湾」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 全国のあらゆる港や海辺。
- イ 高い山々。
- ウ 船が安全に出入りし停泊できる水域と施設。
- エ 広く平らに開けた土地。

(5) 「坂道」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 海や湖の岸边。
- イ 傾斜のある道。
- ウ 東の方角。
- エ 標高の高い所に広がる平らな土地。

(6) 「津々浦々」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 全国のあらゆる港や海辺。
- イ 高い山々。
- ウ 広く平らに開けた土地。
- エ 船が安全に出入りし停泊できる水域と施設。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 東方 津々浦々 里山 平野 浦辺 街道 高原 山岳 埼 港湾 下流 岐阜 坂道 海洋

(1) 朝日が山の（ ）から昇った。

(8) 悪天候のため、（ ）地帯への登山は中止された。

(2) 広い（ ）には水田がどこまでも続いている。

(9) 川の（ ）では流れがゆるやかになり、川幅も広がる。

(3) 夏でも涼しい（ ）で野菜を育てる。

(10) 調査船が広い（ ）へ観測に出た。

(4) 物流を支える（ ）の整備が進められた。

(11) 人の手が入った（ ）は、多くの生き物のすみかにもなる。

(5) 自転車で長い（ ）を上る。

(12) 宿場町を結ぶ古い（ ）を歩いた。

(6) 祭りの知らせは国の（ ）まで広まった。

(13) 古い地図では、海へ突き出た地形を「（ ）」と記している。

(7) 静かな（ ）に漁師の小屋が並んでいる。

(14) 木工で知られる（ ）の町を訪ねた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「平野」と「高原」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 平野は低く広く開けた土地、高原は標高の高い所に広がる平地を表す。
- イ 平野は標高の高い平地、高原は低地の広い平地を表す。
- ウ どちらも平らな土地なので、高さを区別せずに使える。
- エ 平野は人が住む土地、高原は人の住まない土地だけを表す。

(2) 「港湾」と「浦辺」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 港湾は自然の岸边、浦辺は人工の港の施設を表す。
- イ どちらも船着き場を表すので、施設の有無にかかわらず置き換えられる。
- ウ 港湾は船の利用を支える水域と施設、浦辺は海や湖が入り込んだ岸边を表す。
- エ 港湾は大きな海、浦辺は小さな川だけに使う。

(3) 「隔てる」と「阻む」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 隔てるは二つの間を離すこと、阻むは進行や実現を妨げることを表す。
- イ 隔てるは進行を妨げること、阻むは距離を空けることを表す。
- ウ 間に物がある場合は、結果にかかわらずどちらでも使える。
- エ 隔てるは自然物、阻むは人工物にだけ使う。

(4) 「街道」と「坂道」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 街道は傾いた道、坂道は町と町を結ぶ道を表す。
- イ どちらも人が歩く道なので、役割と形を区別する必要はない。
- ウ 街道は地域を結ぶ主要な道、坂道は傾斜のある道という形を表す。
- エ 街道は古い道、坂道は新しい道だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を整備する」 B「静かな(B)を歩く」

- ア A=浦辺／B=港湾 イ A=港湾／B=港湾
- ウ A=港湾／B=浦辺 エ A=浦辺／B=浦辺

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「旧(A)をたどる」 B「長い(B)を上る」

- ア A=坂道／B=街道 イ A=街道／B=街道
- ウ A=坂道／B=坂道 エ A=街道／B=坂道

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) 町をトウザイに貫く大通りを歩いた。 | (9) 久しぶりにキョウリへ帰り、友人と再会した。 |
| (2) 息を整えながら、長いキュウザカを上った。 | (10) 休日のシガイは、買い物客でにぎわっていた。 |
| (3) 春のノハラには、色とりどりの花が咲く。 | (11) 警備員が侵入をソシし、建物の安全を守った。 |
| (4) 大きなツナミに備え、高台への道を確認めた。 | (12) 石垣と堀を備えたジョウカクの構造を調べた。 |
| (5) 人の手が入らないゲンヤに、野鳥が暮らしている。 | (13) 大学のフゾク図書館を、地域の人にも開放する。 |
| (6) 海外へ向かう飛行機がクウコウを離陸した。 | (14) なだらかなキュウリョウに、茶畑が広がっている。 |
| (7) 駅のチカに、古い水路の跡が残っている。 | (15) 苗を同じカンカクで植えると、育ち方を比べやすい。 |
| (8) トウヨウと西洋の絵画を並べて鑑賞した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| (16) 陰阻 () | (17) 城郭 () | (18) 附記 () | (19) 丘陵 () | (20) 隔てる () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

地名が教える道

悠人と真央は、町の東に残る旧街道を歩いた。古地図では、平野の端から坂道を上り、丘陵を越えて港へ下る。現在の地図では道が直線に見えるが、実際には里山と高原の間を何度も曲がっていた。道の途中には「浦」「津」「埼」を含む地名が残る。今は海から隔てられた場所なのに、昔は浦辺の船着き場だったという。下流から運ばれた土が積もり、港湾の形が変わったためである。

二人は地名カードを机いっぱい広げた。同じ音の地名でも、坂・浜・津など用いられた字が違えば、土地の姿を示す手掛かりも変わる。山岳の裾では、険阻な尾根が二つの里を隔てていた。鳥が営巣する林を避けるため、道は遠回りしている。地図の短い線だけを見れば不便に思えるが、生き物と地形に合わせた道だった。

坂の上には小さな城郭跡があり、外郭から海洋まで見渡せた。岐阜や埼玉のように、地名の漢字が土地の特徴を伝える例も資料に附記されていた。ただし、現在の地形と字の意味が必ず一致するとは限らない。

真央は、地名だけから昔の海岸線を決めようとした。悠人は、地名は手がかりにはなるが、地層や古地図も必要だと話した。津々浦々に同じ字があっても、それぞれの土地が変わった過程は異なる。

【歩いた記録】 方角／高低差／地名／見通しを阻む物／水辺までの距離

二人は、東方を上にした古地図を現在の北向きの地図へ重ねた。方角をそろえると、丘陵・街道・港の関係が見えた。さらに歩いた時間を加えると、急坂が移動をどれほど阻むかも分かった。

地域を読むには、地名を暗記するだけでは足りない。土地の高低、水の流れ、人や船の移動を重ねることで、字に残った風景と現在の地形を結びつけられる。地名は答えではなく、土地へ問いを向ける入口なのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「低い山や丘が続く地形」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「コウワン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「陰阻」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 船を安全に停泊させる施設。
- イ 低く広く開けた土地。
- ウ 鳥などが巣を作ること。
- エ 地形が陰しく通りにくいこと。

(4) 地名が「答えではなく、土地へ問いを向ける入口」なのはなぜか。

- ア 地名は昔の地形の手がかりになるが、変化の過程は古地図や地層でも確かめる必要があるから。
- イ 地名の漢字には土地と関係のない字しか使われないから。
- ウ 現在の地図には方角が示されていないから。
- エ 地名を覚えれば、歩かなくても高低差がすべて分かるから。

(5) 古地図と現在の地図に、歩いた時間も重ねたことで何が分かったか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「地名」「地形」の二語を用い、地域の昔の姿を確かめる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| (1) イ 東の方角。 | (4) ウ 船が安全に出入りし停泊できる水域と施設。 |
| (2) ア 広く平らに開けた土地。 | (5) イ 傾斜のある道。 |
| (3) エ 標高の高い所に広がる平らな土地。 | (6) ア 全国のあらゆる港や海辺。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|----------|---------|
| (1) 東方 | (8) 山岳 |
| (2) 平野 | (9) 下流 |
| (3) 高原 | (10) 海洋 |
| (4) 港湾 | (11) 里山 |
| (5) 坂道 | (12) 街道 |
| (6) 津々浦々 | (13) 埒 |
| (7) 浦辺 | (14) 岐阜 |

使い分けを確かめよう：平野は低く広く開けた土地、高原は標高の高い所に広がる平地を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 平野は低く広く開けた土地、高原は標高の高い所に広がる平地を表す。

用例：川沿いの平野を歩く／高原で放牧する

(2) ウ 港湾は船の利用を支える水域と施設、浦辺は海や湖が入り込んだ岸辺を表す。

用例：港湾を整備する／静かな浦辺を歩く

(3) ア 隔てるは二つの間を離すこと、阻むは進行や実現を妨げることを表す。

用例：山が二つの里を隔てる／急坂が移動を阻む

(4) ウ 街道は地域を結ぶ主要な道、坂道は傾斜のある道という形を表す。

用例：旧街道をたどる／長い坂道を上る

(5) ウ A＝港湾、B＝浦辺。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝街道、B＝坂道。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 東西	(11) 阻止
(2) 急坂	(12) 城郭
(3) 野原	(13) 附属
(4) 津波	(14) 丘陵
(5) 原野	(15) 間隔
(6) 空港	(16) けんそ
(7) 地下	(17) じょうかく
(8) 東洋	(18) ふき
(9) 郷里	(19) きゅうりょう
(10) 市街	(20) へだてる

七 文章の中で考えよう

- (1) 丘陵 本文中では「丘陵」と表されている。
- (2) 港湾
- (3) エ 地形が険しく通りにくいこと。
- (4) ア 地名は昔の地形の手がかりになるが、変化の過程は古地図や地層でも確かめる必要があるから。
- (5) 解答例（45 字）

丘陵・街道・港の位置関係に加え、急な坂や尾根が実際の移動をどの程度阻んでいるかも分かった。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（75 字）

地名の漢字を手がかりにしつつ、それだけで昔の姿を決めない。古地図や地層を調べ、現在の地形と方角をそろえ、実際に歩いた記録も重ねて変化の過程を確かめる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第三回

立場と支え合い

呼び名や制度上の立場と、実際に果たした役割を分けて見る。

今日の中心漢字

男 氏 童 姓 娠 某 婆 雌

いっしょに覚える漢字

何	付	徒	士	博	俊
威	偶	姫	姻	睦	人※

姓・婚姻・配偶者など人の関係を表す語を確かめたあと、古い名簿から、記録に残りにくい支え手を探
す文章を読みます。 ※再会漢字：人（第三冊第三回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
男 氏 童 姓	ダン・ナン・おとこ	男性／男の人 男性・男女・長男・男児	娠	シン	子を身ごもる 妊娠・娠む
	シ・うじ	名字／人への敬称 氏名・氏族・某氏・氏	某	ボウ・それがし	名を明かさない人や物 某氏・某所・某日
	ドウ・わらべ	子ども 児童・学童・童話・童心	婆	バ・ばあ	年を取った女性 老婆・産婆・婆・婆心
	セイ・ショウ	家族を示す名字 姓・姓名・旧姓・改姓	雌	シ・めす	動物のめす 雌・雌雄・雌花・雌鳥

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
何	カ・なに・なん	どれ／いくつ 何・何人・何者・何度	威	イ	人を従わせる力／おごそかさ 威厳・威力・威圧・権威
付	フ・つける・つく	そえる／くっつく 付ける・付き添う・付属・日付	偶	グウ	対になる／たまたま 配偶者・偶然・偶数・偶像
徒	ト・いたずらに	仲間／弟子／むだに 生徒・徒弟・徒歩・徒労	姫	キ・ひめ	身分の高い女性／娘 姫・姫君・歌姫
士	シ	専門の役割を担う人 士・福祉士・弁護士・士業	姻	イン	結婚によるつながり 婚姻・姻族・姻戚
博	ハク・バク	広く深く知る 博士・博識・博物館・博愛	睦	ボク・むつむ・むつまじい	仲よくする 親睦・和睦・睦まじい
俊	シュン	才能が優れている 俊才・俊敏・俊秀	人※	ジン・ニン・ひと	再会：ひと／人々 人物・人柄・人員・本人

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「男性」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 学校に通う年頃の子ども。
- イ 胎内に子を身ごもること。
- ウ 男の人。
- エ 出産を助けた女性を指す昔の呼び名。

(2) 「氏名」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 結婚などで姓が変わる前の名字。
- イ 名字と名前。
- ウ 名前を明かさず、ある人を指す言い方。
- エ 動物のめすとおす。

(3) 「学童」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 学校に通う年頃の子ども。
- イ 胎内に子を身ごもること。
- ウ 出産を助けた女性を指す昔の呼び名。
- エ 男の人。

(4) 「旧姓」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 名前を明かさず、ある人を指す言い方。
- イ 動物のめすとおす。
- ウ 名字と名前。
- エ 結婚などで姓が変わる前の名字。

(5) 「妊娠」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 出産を助けた女性を指す昔の呼び名。
- イ 男の人。
- ウ 胎内に子を身ごもること。
- エ 学校に通う年頃の子ども。

(6) 「某氏」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 動物のめすとおす。
- イ 名前を明かさず、ある人を指す言い方。
- ウ 名字と名前。
- エ 結婚などで姓が変わる前の名字。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 男性 某氏 徒弟 氏名 産婆 福祉士 学童 雌雄 博士 旧姓 何者 俊才 妊娠 付き添う

(1) この講座には幅広い年代の（ ）が参加している。

(8) 羽の模様から、その鳥の（ ）を見分けた。

(2) 申請欄に住所と（ ）を記入する。

(9) 夜道で見知らぬ（ ）かに後をつけられた。

(3) 通学中の（ ）を地域の見守り隊が支える。

(10) 入院中の患者に家族が（ ）。

(4) 結婚後も職場では（ ）を使い続けている。

(11) 若い職人は親方の（ ）として技を学んだ。

(5) （ ）中は体調の変化に合わせて無理を避ける。

(12) 相談者の暮らしを支えるため、（ ）が制度を案内した。

(6) 記事では、関係者を特定しないため「（ ）」と記した。

(13) 彼は大学で研究を重ね、文学（ ）の学位を得た。

(7) かつて出産を助けた女性は（ ）と呼ばれた。

(14) 若くして難問を解いた（ ）として名を知られた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「氏名」と「旧姓」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 氏名は以前の名字、旧姓は現在の名字と名前の全体を表す。
- イ どちらも人を特定する語なので、名前を含むかどうかを区別せず使える。
- ウ 氏名は公的な場だけ、旧姓は家庭内だけで使う呼び名である。
- エ 氏名は名字と名前の全体、旧姓は姓が変わる前に用いていた名字を表す。

(2) 「配偶者」と「伴侶」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 配偶者は生活をともにする人全般、伴侶は法律上の夫婦だけを表す。
- イ 配偶者は婚姻上の相手、伴侶は人生や活動をともにする相手を広く表す。
- ウ どちらも親しい相手を表すため、婚姻の有無にかかわらず同じである。
- エ 配偶者は男性、伴侶は女性についてだけ使う。

(3) 「付き添う」と「補佐する」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 付き添うは職務を助けること、補佐するは生活のそばにすることを表す。
- イ どちらも支える行為なので、相手と場面の違いなく置き換えられる。
- ウ 付き添うは短時間、補佐するは長期間の場合だけに使う。
- エ 付き添うは人のそばで行動を支えること、補佐するは役職者の仕事を助けることを表す。

(4) 「威厳」と「威圧」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 威厳は力でおさえること、威圧は自然に敬われる様子を表す。
- イ 威厳は自然に敬意を抱かせる重々しさ、威圧は力で相手をおさえつけることを表す。
- ウ どちらも強く見える態度なので、相手への働きの違いはない。
- エ 威厳は年長者、威圧は若い人にだけ見られる態度である。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「通院に (A)」 B「代表を (B)」

- ア A=付き添う／B=補佐する イ A=補佐する／B=付き添う
- ウ A=付き添う／B=付き添う エ A=補佐する／B=補佐する

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「申込書に (A) を書く」 B「記録を (B) でも探す」

- ア A=旧姓／B=氏名 イ A=氏名／B=旧姓
- ウ A=氏名／B=氏名 エ A=旧姓／B=旧姓

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) ダンジョを問わず参加できる競技会が開かれた。 | (9) 研究所にフゾクする資料館を見学した。 |
| (2) 古代のシゾクは、共通の祖先を意識して結びついた。 | (10) 教室のセイトが、班ごとに意見を発表した。 |
| (3) 史料には、会合がボウショで開かれたとだけある。 | (11) 困ったときは、専門のベンゴシへ相談できる。 |
| (4) ジドウの安全を守るため、通学路を点検した。 | (12) 祖父は植物にハクシキで、野草の名をよく知っている。 |
| (5) 物語では、一人暮らしのロウバが旅人を助けた。 | (13) 猫のシュンビンな動きを、動画で観察した。 |
| (6) 申請書にはセイメイを楷書で記入する。 | (14) 旅先でグウゼン旧友と出会った。 |
| (7) カボチャのメバナと雄花を見分けた。 | (15) 物語のヒメギミは、国の和平のために力を尽くした。 |
| (8) 新兵器のイリヨクが、戦いの形を変えた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 配偶者 () | (17) 姫君 () | (18) 婚姻 () | (19) 親睦 () | (20) 人柄 () |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

名簿の外にいる人

町の古い名簿には、世帯主の氏名、配偶者、学童の人数が書かれていた。

【記録を読む問い】だれの名があるか／だれの名がないか／制度上の立場と実際の働きは同じか

男性の職業は細かいのに、女性は旧姓も仕事も省かれ、「妻」とだけ記された欄が多い。真央は、名簿だけではその人の暮らしが見えないと感じた。

出産の記録には、妊娠した人に付き添った産婆の名があった。

博士や福祉士のような現在の資格名ではないが、地域の出産を支えた専門的な働きである。某氏と伏せられた人もおり、何者か分からないまま功績だけが残っていた。

名簿にない人物を消してしまわぬよう、真央は欄外に「関係未確認」と書いた。空白を欠落と決めず、別の資料へつなぐ入口として残したのである。

別の帳簿では、徒弟を育てた職人が「俊才」とたたえられ、威厳ある人物と評されていた。しかし、仕事を教えた姫君や、帳簿を付けた老婆の名はない。評価の言葉も、記録した人の見方を含んでいる。

家畜台帳には牛の雌雄が区別されていた。だが、人の役割まで男女の別から決めることはできない。婚姻によって姓が変わったかどうかと、だれが家計や看護を支えたかも、別に確かめる必要がある。

二人は親睦会の聞き取りで、名簿にない支え手を尋ねた。配偶者だけでなく、近所の人や仕事仲間が通院に付き添い、家事を分けていた。人柄を「親切」と一語でまとめず、何をしたかを具体的に記した。

ある女性は「姻族だから助けたのではなく、長く一緒に働いたから」と話した。制度上の関係は大切な情報だが、それだけで支え合いの理由を説明できない。人と人の中には、名簿の欄を越えるつながりがある。

悠人と真央は、氏名や立場の表とは別に、「したこと」の索引を作った。呼び名を消すのではなく、呼び名だけで役割を決めないためである。名簿の外にいる人へ目を向けると、町を支えた働きが新しく見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「人々が親しく交わり、仲を深めること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「コンイン」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「配偶者」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 婚姻関係にある相手。

イ 師について技術を学ぶ人。

ウ 名前を伏せて示された人。

エ 学校に通う年頃の子ども。

(4) 二人が「したこと」の索引を作ったのはなぜか。

ア 古い名簿の氏名をすべて消すため。

イ 家畜の雌雄を人の役割にも当てはめるため。

ウ 資格をもたない人の働きを記録から除くため。

エ 名簿の呼び名や制度上の立場だけでは、実際に町や人を支えた働きが見えないから。

(5) 名簿とは別に、支え手への聞き取りが必要だったのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「立場」「役割」の二語を用い、人の関係を記録するときの注意を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1) ウ 男の人。 | (4) エ 結婚などで姓が変わる前の名字。 |
| (2) イ 名字と名前。 | (5) ウ 胎内に子を身ごもること。 |
| (3) ア 学校に通う年頃の子ども。 | (6) イ 名前を明かさず、ある人を指す言い方。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|-----------|
| (1) 男性 | (8) 雌雄 |
| (2) 氏名 | (9) 何者 |
| (3) 学童 | (10) 付き添う |
| (4) 旧姓 | (11) 徒弟 |
| (5) 妊娠 | (12) 福祉士 |
| (6) 某氏 | (13) 博士 |
| (7) 産婆 | (14) 俊才 |

使い分けを確かめよう：氏名は名字と名前の全体、旧姓は姓が変わる前に用いていた名字を表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) エ 氏名は名字と名前の全体、旧姓は姓が変わる前に用いていた名字を表す。
 用例：申込書に氏名を書く／記録を旧姓でも探す
- (2) イ 配偶者は婚姻上の相手、伴侶は人生や活動をともにする相手を広く表す。
 用例：配偶者の欄に記入する／長年の伴侶と歩む
- (3) エ 付き添うは人のそばで行動を支えること、補佐するは役職者の仕事を助けることを表す。
 用例：通院に付き添う／代表を補佐する
- (4) イ 威厳は自然に敬意を抱かせる重々しさ、威圧は力で相手をおさえつけることを表す。
 用例：落ち着いた威厳がある／大声で相手を威圧する
- (5) ア A＝付き添う、B＝補佐する。(3)の使い分けを参照。
- (6) イ A＝氏名、B＝旧姓。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 男女	(11) 弁護士
(2) 氏族	(12) 博識
(3) 某所	(13) 俊敏
(4) 児童	(14) 偶然
(5) 老婆	(15) 姫君
(6) 姓名	(16) はいぐうしゃ
(7) 雌花	(17) ひめぎみ
(8) 威力	(18) こんいん
(9) 付属	(19) しんぼく
(10) 生徒	(20) ひとがら

七 文章の中で考えよう

- (1) 親睦 本文中では「親睦」と表されている。
- (2) 婚姻
- (3) ア 婚姻関係にある相手。
- (4) エ 名簿の呼び名や制度上の立場だけでは、実際に町や人を支えた働きが見えないから。
- (5) 解答例（48 字）

氏名や婚姻上の立場だけでは、名が省かれた人や、制度上の関係を越えて支えた人の働きが見えないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

氏名や婚姻など制度上の立場を記す一方、それだけで人の役割を決めない。本人や周囲に何をしたかを聞き、名簿に残りにくい支えも具体的な行動として記録する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第四回

症状と手当て

見た印象で病名を決めず、場所・変化・状況に分けて伝える。

今日の中心漢字

歯 療 脚 疫 股 腫 瘦 腺

いっしょに覚える漢字

的	薬	荷	仰	汁	尻
盲	呂	腐	唇	脇	嗅

歯・脚・腺など身体を表す字と、治療・疫病・薬に関わる語を確かめたあと、救護記録を的確に書く方法を考える文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
歯	シ・は	口の中で物をかむ部分 歯・歯科・乳歯・歯痛	股	コ・また	足の付け根／分かれ目 股・股関節・二股・股下
療	リョウ	病気や傷を治す 治療・医療・療養・診療	腫	シュ・はれる・は らす	体の一部がふくれる 腫れ・腫れる・腫瘍・腫脹
脚	キヤク・キャ・あ し	足／物を支える部分 脚・脚部・脚力・三脚	瘦	ソウ・やせる	体が細くなる 痩せる・痩身・痩せ型
疫	エキ・ヤク	広く流行する病気 疫病・防疫・免疫・検疫	腺	セン	体内で液を分泌する器官 汗腺・涙腺・甲状腺・腺

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
的	テキ・まと	ねらう点／その性質をもつ 目的・標的・的確・具体的	盲	モウ	見えない／見落とす 盲点・盲目・文盲
薬	ヤク・くすり	病気や傷に用いるもの 薬・薬剤・服薬・薬局	呂	ロ・リョ	音律の一つ／字の構成要素 風呂・律呂・呂律
荷	カ・に	運ぶ物／負担 荷物・重荷・負荷・出荷	腐	フ・くさる・くさ れる	くさって性質が変わる 腐る・腐敗・豆腐・防腐
仰	ギョウ・コウ・あ おぐ・おおせ	上を向く／敬う 仰ぐ・仰向け・信仰・仰天	唇	シン・くちびる	口の外側の縁 唇・口唇・読唇
汁	ジュウ・しる	物から出る液 汁・果汁・煮汁・汁物	脇	キョウ・わき	体の横／中心から外れた所 脇・脇腹・脇道・脇役
尻	シリ	腰の後ろ側／物の最後 尻・尻餅・目尻・帳尻	嗅	キュウ・かぐ	においを感じ取る 嗅ぐ・嗅覚

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「歯科」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 足に当たる部分。
- イ 胴体と脚をつなぐ関節。
- ウ 体の肉が減って細くなる。
- エ 歯や口の病気を診る診療分野。

(2) 「治療」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 感染症が広がるのを防ぐこと。
- イ 体の一部がふくらんだ状態。
- ウ 病気やけがを治すための手当て。
- エ 汗を作り出す器官。

(3) 「脚部」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 胴体と脚をつなぐ関節。
- イ 足に当たる部分。
- ウ 体の肉が減って細くなる。
- エ 歯や口の病気を診る診療分野。

(4) 「防疫」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 感染症が広がるのを防ぐこと。
- イ 体の一部がふくらんだ状態。
- ウ 汗を作り出す器官。
- エ 病気やけがを治すための手当て。

(5) 「股関節」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体の肉が減って細くなる。
- イ 歯や口の病気を診る診療分野。
- ウ 足に当たる部分。
- エ 胴体と脚をつなぐ関節。

(6) 「腫れ」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 汗を作り出す器官。
- イ 病気やけがを治すための手当て。
- ウ 体の一部がふくらんだ状態。
- エ 感染症が広がるのを防ぐこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 歯科 腫れ 負荷 治療 痩せる 仰向け 脚部 汗腺 果汁 防疫 的確 尻餅 股関節 薬剤

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| (1) 半年ごとの（ ）検診を受けた。 | (8) 皮膚にある（ ）から汗が分泌される。 |
| (2) けがの（ ）を続け、少しずつ歩けるようになった。 | (9) 質問の意図を捉えた（ ）な回答だった。 |
| (3) 人形の（ ）が外れないよう補強した。 | (10) 使用前に（ ）の名称と量を確認する。 |
| (4) 感染症の広がりを防ぐ（ ）体制を整える。 | (11) 重い荷物は腰への（ ）が大きい。 |
| (5) 歩くと（ ）に痛みが出るため、医師に相談した。 | (12) 検査台に（ ）になって横たわった。 |
| (6) 冷やしたところ、足首の（ ）が少し引いた。 | (13) 搾りたての（ ）を水で薄めて飲んだ。 |
| (7) 急に（ ）と体調を崩すこともあるため、無理な減量は避ける。 | (14) ぬれた床で滑り、思わず（ ）をついた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「治療」と「療養」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 治療は休んで回復を待つこと、療養は薬や処置で治すことを表す。
- イ どちらも回復を目指すので、処置と生活の違いなく置き換えられる。
- ウ 治療は病気やけがを治す処置、療養は回復のために生活を整え休むことを表す。
- エ 治療は病院、療養は自宅で行う場合だけに使う。

(2) 「仰向け」と「上向き」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 仰向けは体の前側を上にした姿勢、上向きは方向や物事の傾向が上へ向くことを表す。
- イ 仰向けは物事の傾向、上向きは人の寝る姿勢を表す。
- ウ どちらも上を向くことなので、人の姿勢と変化の方向を区別せず使える。
- エ 仰向けは顔だけ、上向きは体全体を上に向けることを表す。

(3) 「痩せる」と「やつれる」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 痩せるは疲れて弱ること、やつれるは体重が減ることだけを表す。
- イ どちらも細く見える状態なので、原因や様子を区別する必要はない。
- ウ 痩せるは体の肉が減ること、やつれるは病気や疲労で弱った様子になることを表す。
- エ 痩せるは健康な人、やつれるは高齢者だけに使う。

(4) 「負荷」と「負担」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 負荷は体や機械などに加わる力、負担は人が背負う仕事・費用・苦労を広く表す。
- イ 負荷は人の苦労、負担は機械に加える力だけを表す。
- ウ どちらも重さを表すため、物理的な力と生活上の苦労を区別せず使える。
- エ 負荷は一時的、負担は長期間の場合だけに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「脚への(A)を減らす」 B「看護の(B)を分ける」

- ア A=負担/B=負荷 イ A=負荷/B=負荷
- ウ A=負荷/B=負担 エ A=負担/B=負担

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)に横たわる」 B「売上げが(B)になる」

- ア A=上向き/B=仰向け イ A=仰向け/B=仰向け
- ウ A=上向き/B=上向き エ A=仰向け/B=上向き

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| (1) 子どものニュウシが抜け、永久歯が生えてきた。 | (9) 調査のモクテキを、最初に全員で確かめた。 |
| (2) 道がフタマタに分かれ、右は山頂へ続いていた。 | (10) 目先の利益にモウモクとなり、危険を見落とした。 |
| (3) 地域によるイリョウの差を小さくする必要がある。 | (11) 医師の指示どおり、毎朝決まった薬をフクヤクする。 |
| (4) 検査で小さなシュヨウが見つかった。 | (12) 旅行のニモツは、必要な物だけに絞った。 |
| (5) 長い坂を走るには、強いキャクリョクが要る。 | (13) 人々は山の神へのシンコウを長く守ってきた。 |
| (6) 健康だけを目的に、無理なソウシンをしてはいけない。 | (14) 魚のニジルを使い、野菜へ味を含ませた。 |
| (7) かつてのヤクビョウ流行を、村の記録から調べた。 | (15) 笑うとメジリに細かな線ができる。 |
| (8) 首のコウジョウセンから、体を調整する物質が出る。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 風呂 () | (17) 腐敗 () | (18) 口唇 () | (19) 脇腹 () | (20) 嗅覚 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

痛みをほどいて伝える

町歩きの途中、参加者の一人が坂で尻餅をつき、「脚が痛い」と訴えた。救護係の真央は、すぐに立たせず、股関節・膝・足首のどこか、腫れがあるか、脇腹も打っていないかを順に聞いた。

参加者は仰向けになると痛みが増すと言った。唇の色、汗腺からの発汗、意識の様子も確かめる。外から見える傷がなくても、体の内側に負荷がかかっている可能性はある。診療簿の言葉を声に出して読むと、痛みの場所、強さ、続いた時間が一語に押し込まれている箇所があった。二人は線を引き、要素を分けた。

近くの屋台から腐敗したようなにおいがしたが、嗅覚だけで食中毒と決めることはできない。果汁や汁物のにおいが混じった可能性もある。防疫のためには、食材の保存時刻や他の人の症状を集める必要がある。

【救護記録】 痛む場所／姿勢による変化／始まった時刻／見えた症状／本人の言葉

歯科の治療中か、服用している薬剤はあるかも確認した。薬の名を覚えていなくても、袋や服薬記録が手になりになる。風呂で温めればよいと自己判断せず、必要なら医療機関へつなぐ。

悠人は「痩せているから体力がないのだろう」と言いかけた。見た目から体調を決めるのは盲点になる。痩せることと、今起きている痛みの原因は、分けて考えなければならない。

救護係は、脚部のどこに、どの姿勢で、どれほど痛みが出るかを的確に記した。医師はその記録を読み、必要な検査を選べる。曖昧な「痛い」を細かくほどこくことが、手当てへの橋渡しになる。

症状を正確に伝えることは、自分で病名を当てることではない。見えた事実と本人の感覚を分け、変化と状況を記す。そうすれば、急ぐべき場合を見落とさず、適切な治療へつなげやすくなる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「においを感じ取る感覚」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「チリョウ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「負荷」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 感染症が広がるのを防ぐこと。

イ 物や体、機械に加わる力や負担。

ウ 口の周りにある唇。

エ 見落として気づいていない点。

(4) 屋台のにおいだけで食中毒と決めなかったのはなぜか。

ア 嗅覚は健康の確認には一切使えないから。

イ 腐敗した食べ物にはにおいがいいから。

ウ 別のにおいが混じった可能性があり、保存時刻や他の人の症状も確かめる必要があるから。

エ 救護係には食材を見ることが禁じられているから。

(5) 救護記録で「脚が痛い」を細かく分けて書いたのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「事実」「感覚」の二語を用い、症状を正確に伝える方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) エ 歯や口の病気を診る診療分野。 | (4) ア 感染症が広がるのを防ぐこと。 |
| (2) ウ 病気やけがを治すための手当て。 | (5) エ 胴体と脚をつなぐ関節。 |
| (3) イ 足に当たる部分。 | (6) ウ 体の一部がふくらんだ状態。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|----------|
| (1) 歯科 | (8) 汗腺 |
| (2) 治療 | (9) 的確 |
| (3) 脚部 | (10) 薬剤 |
| (4) 防疫 | (11) 負荷 |
| (5) 股関節 | (12) 仰向け |
| (6) 腫れ | (13) 果汁 |
| (7) 痩せる | (14) 尻餅 |

使い分けを確かめよう：治療は病気やけがを治す処置、療養は回復のために生活を整え休むことを表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) ウ 治療は病気やけがを治す処置、療養は回復のために生活を整え休むことを表す。
用例：歯科で治療を受ける／自宅で療養する
- (2) ア 仰向けは体の前側を上にした姿勢、上向きは方向や物事の傾向が上へ向くことを表す。
用例：仰向けに横たわる／売上げが上向きになる
- (3) ウ 痩せるは体の肉が減ること、やつれるは病気や疲労で弱った様子になることを表す。
用例：運動で少し痩せる／看病が続いてやつれる
- (4) ア 負荷は体や機械などに加わる力、負担は人が背負う仕事・費用・苦勞を広く表す。
用例：脚への負荷を減らす／看護の負担を分ける
- (5) ウ A＝負荷、B＝負担。(4)の使い分けを参照。
- (6) エ A＝仰向け、B＝上向き。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 乳歯	(11) 服薬
(2) 二股	(12) 荷物
(3) 医療	(13) 信仰
(4) 腫瘍	(14) 煮汁
(5) 脚力	(15) 目尻
(6) 瘦身	(16) ふろ
(7) 疫病	(17) ふはい
(8) 甲状腺	(18) こうしん
(9) 目的	(19) わきばら
(10) 盲目	(20) きゅうかく

七 文章の中で考えよう

- (1) 嗅覚 本文中では「嗅覚」と表されている。
- (2) 治療
- (3) イ 物や体、機械に加わる力や負担。
- (4) ウ 別のにおいが混じった可能性があり、保存時刻や他の人の症状も確かめる必要があるから。
- (5) 解答例（46 字）

痛む場所や姿勢による変化を明らかにし、必要な検査や手当てを医師が適切に判断しやすくするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

見えた腫れや発汗などの事実と、本人にしか分からない痛みの感覚を分けて記す。場所・時刻・姿勢による変化も添え、病名を決めつけず必要な手当てへつなげる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第五回

徳と心の構え

評価の言葉を急がず、行動と状況へ戻って人物を見る。

今日の中心漢字

愛 吉 辱 頑 幽 慶 憩 虞

いっしょに覚える漢字

好	勉	静	誠	奮	凶
卑	妬	畏	酷	嫉	篤

誠実・畏敬・嫉妬など心の構えを表す語を確かめたあと、短い評判と具体的な行動の違いを考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
愛	アイ・いとしい・める	大切に思う 愛・愛情・愛護・博愛	幽	ユウ	奥深く静か／かすか 幽玄・幽静・幽霊・幽閉
吉	キチ・キツ	めでたい／よい兆し 吉・吉日・吉報・大吉	慶	ケイ	よろこび祝う 慶事・慶祝・慶賀
辱	ジョク・はずかしめる	名誉を傷つける 屈辱・侮辱・雪辱・恥辱	憩	ケイ・いこう	休んで心身を安らげる 休憩・憩う・憩い
頑	ガン	かたくな／強く持ちこたえる 頑固・頑丈・頑張る	虞	グ・おそれ	心配されること 虞・不虞・虞犯

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
好	コウ・このむ・すく	よいと思う／好む 好意・好感・好む・友好	卑	ヒ・いやしい・いやしむ	品位が低い／自分を低くする 卑下・卑怯・卑劣・卑近
勉	ベン	力を尽くして励む 勉強・勤勉・勉励	妬	ト・ねたむ	他人をうらみねたむ 妬む・嫉妬・妬心
静	セイ・ジョウ・しずか	動きや音が少ない 静か・冷静・静止・安静	畏	イ・おそれる	敬いながらおそれる 畏敬・畏怖・畏まる
誠	セイ・まこと	偽りのない心 誠実・誠意・忠誠・至誠	酷	コク・ひどい	厳しくむごい／程度が甚だしい 冷酷・残酷・酷評・酷暑
奮	フン・ふるう	心をふるい立たせる 奮起・興奮・奮闘・奮発	嫉	シツ	ねたむ／憎む 嫉妬・嫉視・嫉む
凶	キョウ	悪い／災いの兆し 凶・凶悪・凶作・凶兆	篤	トク・あつい	情が深い／誠実 篤実・危篤・篤志・篤い

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「愛情」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人や物を大切に思う気持ち。
- イ 誇りを傷つけられ、恥ずかしく感じること。
- ウ 言葉では表し尽くせない奥深い趣。
- エ 仕事や活動をいったん休むこと。

(2) 「吉報」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分の考えをなかなか変えないこと。
- イ 結婚や受賞など、めでたい出来事。
- ウ よくないことが起こる心配。
- エ 喜ばしい知らせ。

(3) 「屈辱」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 言葉では表し尽くせない奥深い趣。
- イ 仕事や活動をいったん休むこと。
- ウ 誇りを傷つけられ、恥ずかしく感じること。
- エ 人や物を大切に思う気持ち。

(4) 「頑固」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 結婚や受賞など、めでたい出来事。
- イ 自分の考えをなかなか変えないこと。
- ウ よくないことが起こる心配。
- エ 喜ばしい知らせ。

(5) 「幽玄」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 言葉では表し尽くせない奥深い趣。
- イ 仕事や活動をいったん休むこと。
- ウ 人や物を大切に思う気持ち。
- エ 誇りを傷つけられ、恥ずかしく感じること。

(6) 「慶事」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア よくないことが起こる心配。
- イ 喜ばしい知らせ。
- ウ 自分の考えをなかなか変えないこと。
- エ 結婚や受賞など、めでたい出来事。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 愛情 慶事 冷静 吉報 休憩 誠実 屈辱 虞 奮起 頑固 好意 凶兆 幽玄 勤勉

(1) 家族から注がれた () が、心の支えになった。 (8) 倒壊の () があるため、建物には近づけない。

(2) 合格の () が届き、皆で喜んだ。 (9) 親切的な () に感謝し、手紙を書いた。

(3) 人前で根拠なく責められ、深い () を感じた。 (10) 毎日コツコツ学ぶ () な姿勢が実を結んだ。

(4) 彼は一度決めると変えない () なところがある。 (11) 不測の事態でも () に判断できるよう訓練する。

(5) 能舞台の静かな所作に () の美を感じた。 (12) 約束を守る () な人として信頼されている。

(6) 結婚や出産などの () が続いた。 (13) 失敗をきっかけに () し、練習へ打ち込んだ。

(7) 長い会議の途中で10分の () を取った。 (14) 古い記録では、彗星を国の乱れを告げる () と見た。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「愛情」と「好意」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 愛情は軽い親しみ、好意は深く守ろうとする気持ちを表す。
- イ 愛情は相手を深く大切に思う気持ち、好意は相手をよく思う親しい気持ちを広く表す。
- ウ どちらも相手をよく思うので、深さや関係にかかわらず同じように使える。
- エ 愛情は家族だけ、好意は知らない人だけに向ける気持ちである。

(2) 「誠実」と「篤実」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 誠実は情の厚い人柄、篤実は一つの行動が正確なことを表す。
- イ どちらもまじめさを表すため、態度と人柄を区別せずに使える。
- ウ 誠実は仕事、篤実は家庭での行動だけを評価する語である。
- エ 誠実は偽りなく物事に向き合う態度、篤実は人情に厚く誠実な人柄を表す。

(3) 「畏敬」と「恐怖」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 畏敬は危険から逃げたい気持ち、恐怖は相手を敬う気持ちを表す。
- イ 畏敬は偉大なものへの敬いを含むおそれ、恐怖は危険や苦痛を感じておそれる気持ちを表す。
- ウ どちらもおそれなので、敬いを含むかどうかを区別する必要はない。
- エ 畏敬は人、恐怖は自然に対してだけ抱く気持ちである。

(4) 「頑固」と「信念が強い」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 頑固は理由をもって考えを保つこと、信念が強いは意見を変えないことだけを表す。
- イ どちらも考えを保つので、他者の話を聞くかどうかは意味に関係しない。
- ウ 頑固は悪い結果、信念が強いはよい結果になった場合だけに使う。
- エ 頑固は考えを変えにくい様子、信念が強いは大切な考えを理由とともに保つ様子を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「家族へ (A) を注ぐ」 B「協力者に (B) を抱く」

- ア A=愛情/B=好意 イ A=好意/B=愛情
- ウ A=愛情/B=愛情 エ A=好意/B=好意

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「自然に (A) の念を抱く」 B「大きな音に (B) を感じる」

- ア A=恐怖/B=畏敬 イ A=畏敬/B=恐怖
- ウ A=畏敬/B=畏敬 エ A=恐怖/B=恐怖

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| (1) 地域で保護犬をアイゴする活動が続いている。 | (9) 仲間を置き去りにして逃げるのはヒキョウだ。 |
| (2) 古い館にユウレイが出るという話を聞いた。 | (10) 毎日少しずつベンキョウを続けた。 |
| (3) 店を開く日として縁起のよいキチジツを選んだ。 | (11) 動く物体が完全にセインするまで時間を測った。 |
| (4) 両国の友好を祝うケイシュク行事が開かれた。 | (12) 言葉だけでなく、行動でセイイを示した。 |
| (5) 前回の敗北のセツジョクを果たし、決勝で勝った。 | (13) 試合の結果を待つ観客は、ひどくコウファンしていた。 |
| (6) 木箱はガンジョウで、重い道具を入れても壊れない。 | (14) 警察はキョウアク事件の犯人を追っている。 |
| (7) 将来罪を犯すおそれのある少年を、法律上グハン少年という。 | (15) 友人の成功をシットせず、心から祝った。 |
| (8) 丁寧な応対にコウカンを持った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 妬む () | (17) 畏敬 () | (18) 酷評 () | (19) 嫉妬 () | (20) 篤実 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

評価の言葉を急がない

町の清掃活動を紹介する記事で、悠人は代表者を「篤実で愛情深い人」と書いた。

真央は、その評価がどの行動から分かるのかと尋ねた。人柄を表す言葉は便利だが、根拠がなければ単なる好意や評判になりやすい。

聞き取りでは、代表者が毎週勤勉に準備し、休憩の場所も整えたことが分かった。失敗した人を酷評せず、冷静に手順を説明したという。こうした事実なら、誠実という評価と結びつけられる。

「好ましい」と「正しい」を同じ欄に置きかけ、悠人は手を止めた。評価する人の気持ちと、確かめられる事実は、同じ文でも分けて示す必要がある。

一方、計画を変えなかったことを、ある人は「頑固」、別の人は「信念が強い」と評した。

【人物を記す順序】具体的な行動／その時の状況／周囲への影響／評価の言葉

変更すれば安全を損なう虞があったため、代表者は理由を示して決定を保った。結果だけでなく、理由と話し合いの過程が大切である。

活動が表彰されるという吉報は、町にとって慶事だった。

しかし、選ばれなかった班には屈辱だと感じる人もいた。嫉妬を恥ずかしい感情として隠すより、何を妬むのかを言葉にすれば、次の工夫を考えやすい。

古い庭の幽玄な景色を守る活動には、自然への畏敬があった。ただ変化を恐れることと、守る価値を考えることは同じではない。凶兆だと決めつけて新しい案を退ければ、必要な改善まで止めてしまう。

代表者は受賞の場で自分を卑下せず、協力した人の働きを具体的に挙げた。皆が奮起した場面も、迷った場面も隠さない。その話し方から、悠人は誠実さを感じた。

人物を一語でほめたり責めたりする前に、行動と状況へ戻る。評価は人全体に貼る札ではなく、何を大切に、どのように行動したかを考えるための言葉である。二人は、記事をその順序で書き直した。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「人情に厚く、誠実なこと」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「シット」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「畏敬」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 気持ちをふるい起こして行動すること。

イ 自分を実際より低く評価すること。

ウ 偉大なものを敬い、おそれる気持ち。

エ 手厳しく評価し批判すること。

(4) 同じ決定が「頑固」とも「信念が強い」とも評されたのはなぜか。

ア 代表者が二つの決定を同時に出したから。

イ 決定だけを見れば同じでも、安全を守る理由や話し合いの過程をどう見るかで評価が変わるから。

ウ 頑固と信念はどの場面でも完全に同じ意味だから。

エ 記事には具体的な行動を書いてはいけないから。

(5) 人物の評価を書く前に、具体的な行動と状況を確認するのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「根拠」「評価」の二語を用い、人物を記事で紹介するときの姿勢を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| (1) ア 人や物を大切に思う気持ち。 | (4) イ 自分の考えをなかなか変えないこと。 |
| (2) エ 喜ばしい知らせ。 | (5) ア 言葉では表し尽くせない奥深い趣。 |
| (3) ウ 誇りを傷つけられ、恥ずかしく感じること。 | (6) エ 結婚や受賞など、めでたい出来事。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 愛情 | (8) 虞 |
| (2) 吉報 | (9) 好意 |
| (3) 屈辱 | (10) 勤勉 |
| (4) 頑固 | (11) 冷静 |
| (5) 幽玄 | (12) 誠実 |
| (6) 慶事 | (13) 奮起 |
| (7) 休憩 | (14) 凶兆 |

使い分けを確かめよう：愛情は相手を深く大切に思う気持ち、好意は相手をよく思う親しい気持ちを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 愛情は相手を深く大切に思う気持ち、好意は相手をよく思う親しい気持ちを広く表す。

用例：家族へ愛情を注ぐ／協力者に好意を抱く

(2) エ 誠実は偽りなく物事に向き合う態度、篤実は人情に厚く誠実な人柄を表す。

用例：誠実に説明する／篤実な人として知られる

(3) イ 畏敬は偉大なものへの敬いを含むおそれ、恐怖は危険や苦痛を感じておそれる気持ちを表す。

用例：自然に畏敬の念を抱く／大きな音に恐怖を感じる

(4) エ 頑固は考えを変えにくい様子、信念が強いは大切な考えを理由とともに保つ様子を表す。

用例：説明を聞かず頑固になる／信念をもって提案する

(5) ア A＝愛情、B＝好意。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝畏敬、B＝恐怖。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 愛護	(11) 静止
(2) 幽霊	(12) 誠意
(3) 吉日	(13) 興奮
(4) 慶祝	(14) 凶悪
(5) 雪辱	(15) 嫉妬
(6) 頑丈	(16) ねたむ
(7) 虞犯	(17) いけい
(8) 好感	(18) こくひょう
(9) 卑怯	(19) しっと
(10) 勉強	(20) とくじつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 篤実 本文中では「篤実」と表されている。
- (2) 嫉妬
- (3) ウ 偉大なものを敬い、おそれる気持ち。
- (4) イ 決定だけを見れば同じでも、安全を守る理由や話し合いの過程をどう見るかで評価が変わるから。

(5) 解答例（46 字）

同じ行動でも理由や周囲への影響によって意味が変わり、短い評判だけでは人柄を決められないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例（75 字）

人物へ短い評価を貼る前に、何をしたか、その時の状況と周囲への影響を確かめる。言葉の根拠となる行動を示し、迷いや異なる見方も含めて書くことが大切である。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第六回

知らせる・描く

何を、だれの立場から、どの形で知らせるかを選び分ける。

今日の中心漢字

号 歌 宣 著 誉 該 訃 謎

いっしょに覚える漢字

各	様	批	諸	唆	且
唯	猶	稿	謁	箋	言※

宣言・訃報・原稿・示唆など伝達に関わる語を確かめたあと、町の広報紙で事実と解釈を分ける文章を読みます。 ※再会漢字：言（第一冊第三回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
号	ゴウ	番号／名／大声 番号・号外・記号・屋号	誉	ヨ・ほまれ	よい評判／ほめる 名誉・栄誉・誉れ・称誉
歌	カ・うた・うたう	節をつけてうたう 歌・歌詞・短歌・歌う	該	ガイ	条件に当てはまる 該当・当該・該博
宣	セン	広く知らせる 宣言・宣伝・宣告・宣誓	訃	フ	人の死を知らせる 訃報・訃告・訃音
著	チョ・あらわす・いちじるしい	書き表す／目立つ 著者・著作・顕著・著しい	謎	なぞ	意味や答えが分からないもの 謎・謎解き・謎めく

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
各	カク・おのおの	それぞれ 各自・各地・各種・各人	唯	ユイ・イ・ただ	ただ一つ／それだけ 唯一・唯物・唯々
様	ヨウ・さま	あり方／敬称 様子・様式・多様・同様	猶	ユウ・なお	なお／ためらう 猶予・猶疑・猶子
批	ヒ	よしあしを論じる 批評・批判・批正	稿	コウ	文章の下書き 原稿・草稿・投稿・寄稿
諸	ショ・もろ	いろいろな／多くの 諸点・諸国・諸氏・諸問題	謁	エツ	身分の高い人に会う 謁見・拝謁
唆	サ・そそのかす	そそのかす／気づかせる 示唆・教唆・唆す	箋	セン	書き付ける紙 便箋・付箋・処方箋・書箋
且	ショ・ソ・かつ	そのうえ／しばらく 且つ・且座	言 ※	ゲン・ゴン・い う・こと	再会：ことばにして伝える 言葉・言及・発言・宣言

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「号外」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 考えや方針をはっきり述べること。
- イ 重大なニュースを急いで伝える臨時の新聞。
- ウ 人から認められる価値やよい評判。
- エ 人が亡くなったという知らせ。

(2) 「歌詞」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 歌としてうたう言葉。
- イ 本や文章を著した人。
- ウ 示された条件や内容に当てはまること。
- エ 意味や理由がまだ分からないこと。

(3) 「宣言」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人から認められる価値やよい評判。
- イ 人が亡くなったという知らせ。
- ウ 重大なニュースを急いで伝える臨時の新聞。
- エ 考えや方針をはっきり述べること。

(4) 「著者」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 示された条件や内容に当てはまること。
- イ 意味や理由がまだ分からないこと。
- ウ 本や文章を著した人。
- エ 歌としてうたう言葉。

(5) 「名誉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人が亡くなったという知らせ。
- イ 人から認められる価値やよい評判。
- ウ 重大なニュースを急いで伝える臨時の新聞。
- エ 考えや方針をはっきり述べること。

(6) 「該当」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 示された条件や内容に当てはまること。
- イ 意味や理由がまだ分からないこと。
- ウ 歌としてうたう言葉。
- エ 本や文章を著した人。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 号外 該当 批評 歌詞 訃報 諸点 宣言 謎 示唆 著者 各自 且つ 名誉 様式

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| (1) 選挙結果を知らせる新聞の（ ）が配られた。 | (8) 鍵のない部屋が一つあり、その用途は今も（ ）だ。 |
| (2) 曲を聴きながら（ ）の意味を考えた。 | (9) 資料を受け取ったら、（ ）で内容を確認する。 |
| (3) 代表は壇上で、計画を最後まで進めると（ ）した。 | (10) 寺院ごとに建築の（ ）が異なる。 |
| (4) 講演後、（ ）に本へ署名してもらった。 | (11) 作品の長所と弱点を根拠とともに（ ）した。 |
| (5) 長年の功績をたたえられることは大きな（ ）だ。 | (12) 以上の（ ）を踏まえ、計画を修正した。 |
| (6) 次の条件に（ ）する人は申請できる。 | (13) 表情の変化は、本人が迷っていることを（ ）していた。 |
| (7) 恩師の（ ）に接し、卒業生が追悼文を寄せた。 | (14) この道は短く、（ ）安全である。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「宣言」と「発表」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 宣言は方針や決意を明確に述べること、発表は情報や成果を人々へ知らせることを表す。
- イ 宣言は結果を知らせること、発表は決意を明確に述べることを表す。
- ウ どちらも広く知らせる行為なので、内容の性質を区別せず使える。
- エ 宣言は文章、発表は口頭で知らせる場合だけに使う。

(2) 「著者」と「編集者」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 著者は原稿を整える人、編集者は本文を書いた人を表す。
- イ 本作りに関わる人なら、書いたか整えたかにかかわらず同じ呼び名でよい。
- ウ 著者は文章や本を書いた人、編集者は原稿を選び整えて刊行へ導く人を表す。
- エ 著者は一人、編集者は複数いる場合だけに使う。

(3) 「訃報」と「追悼文」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 訃報は亡くなった事実を知らせるもの、追悼文は故人をしのび思いを述べる文章を表す。
- イ 訃報は故人への思い、追悼文は死亡の事実だけを伝える。
- ウ どちらも死に関する文章なので、事実と感情を分ける必要はない。
- エ 訃報は新聞、追悼文は私信に載せる場合だけに使う。

(4) 「示唆」と「明示」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 示唆ははっきり示すこと、明示は遠回しに気づかせることを表す。
- イ どちらも示す行為なので、伝え方の直接さに違いはない。
- ウ 示唆は間接的に手がかりを与えること、明示は内容をはっきり示すことを表す。
- エ 示唆は事実、明示は意見についてだけ用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A) 名を確かめる」 B「(B) が見出しを整える」

- ア A=編集者/B=著者 イ A=著者/B=著者
- ウ A=著者/B=編集者 エ A=編集者/B=編集者

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「資料が変化を(A)する」 B「出典を(B)する」

- ア A=明示/B=示唆 イ A=示唆/B=示唆
- ウ A=明示/B=明示 エ A=示唆/B=明示

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| (1) 受付で渡されたバンゴウ札を持って待った。 | (9) 心だけが世界の根本だとする考えに、ユイブツ論は反対する。 |
| (2) 国際大会で受けたエイヨを、支えた人と分かち合った。 | (10) 窓の外のヨウスを見て、雨が弱まったと判断した。 |
| (3) 三十一音で心情を表すタンカを作った。 | (11) 相手をヒハンする前に、主張の根拠を読んだ。 |
| (4) トウガイする申請者へ、個別に連絡した。 | (12) 古代のショコクが結んだ同盟を地図に示した。 |
| (5) 新商品の特徴を新聞でセンデンした。 | (13) 犯罪をキョウサした者も、責任を問われることがある。 |
| (6) 恩師のフインに接し、教え子たちは深く悲しんだ。 | (14) 提出期限に一日のユウヨを設けた。 |
| (7) 研究の成果を一冊のチョサクにまとめた。 | (15) 発表用のゲンコウを声に出して読んだ。 |
| (8) カクチから集めた土器を、年代順に並べた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 猶予 () | (17) 原稿 () | (18) 謁見 () | (19) 便箋 () | (20) 言及 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

知らせ方が変えるもの

町の広報紙に、古い合唱団の特集を載せることになった。箱には歌詞の原稿、団長の宣言、便箋に書かれた手紙がある。著者名のない草稿もあり、だれの言葉かは謎だった。

ちょうど元団長の訃報も届いた。編集会議では、急いで号外にする案が出たが、家族が公表を猶予してほしいと望んでいた。名誉をたたえる気持ちがあっても、知らせる時期と範囲は各自の判断だけで決められない。

【原稿の区別】確認できた事実／本人の発言／記者の解釈／出典が不明な言葉

知らせを受け取る相手が違えば、必要な説明も変わる。真央は、役所向け・住民向け・展示向けの三枚に文案を分け、言葉の働きを比べた。

真央は「団長は唯一の功労者だった」と書いた。悠人は、伴奏者や諸団員への言及がなく、功績を一人へ集めすぎると批評した。唯一という語は強く、他の働きを見えなくすることがある。

古い手紙には、団長が市長へ謁見した様子と、活動の再開を宣言したことが書かれていた。しかし、その様式は後年に書き写されたもので、原文とは限らない。該当する日付の新聞も探し、且つ筆跡を比べる必要があった。

別の資料は、合唱団が町の交流を支えた可能性を示唆していた。ただし、示唆は証明ではない。編集部は「資料から考えられる」と書き、確定した事実のように言い切らなかった。

訃報には亡くなった事実と家族が公表を認めた内容を載せ、追悼文には団員の思い出を分けて置いた。事実・評価・感情を同じ文に詰め込まないことで、読み手は何を確かめられるかを判断できる。

知らせることは、情報を一度に広げることではない。だれの言葉か、何が事実か、どの範囲へいつ伝えるかを選ぶ仕事である。二人は原稿の諸点を見直し、出典を明示した記事へ整えた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「直接言わず、考える手がかりを与えること」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

（2）「ゲンコウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「訃報」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 考えや方針をはっきり述べること。

イ よい点と問題点を考えて論じること。

ウ 実行する時を延ばして待つこと。

エ 人が亡くなったという知らせ。

（4）「示唆は証明ではない」とは、どのようなことか。

ア 資料が考える手がかりを与えても、それだけで事実が確定したとは言えないということ。

イ 示唆された内容は必ず誤りだということ。

ウ 資料には解釈を書いてはいけないということ。

エ 出典を示せば、どの推測も事実になるということ。

（5）訃報と追悼文を分けて掲載したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「出典」「解釈」の二語を用い、広報紙で資料を紹介する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| (1) イ 重大なニュースを急いで伝える臨時の新聞。 | (4) ウ 本や文章を著した人。 |
| (2) ア 歌としてうたう言葉。 | (5) イ 人から認められる価値やよい評判。 |
| (3) エ 考えや方針をはっきり述べること。 | (6) ア 示された条件や内容に当てはまること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 号外 | (8) 謎 |
| (2) 歌詞 | (9) 各自 |
| (3) 宣言 | (10) 様式 |
| (4) 著者 | (11) 批評 |
| (5) 名誉 | (12) 諸点 |
| (6) 該当 | (13) 示唆 |
| (7) 訃報 | (14) 且つ |

使い分けを確かめよう：宣言は方針や決意を明確に述べること、発表は情報や成果を人々へ知らせることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 宣言は方針や決意を明確に述べることを、発表は情報や成果を人々へ知らせることを表す。

用例：再開を宣言する／調査結果を発表する

(2) ウ 著者は文章や本を書いた人、編集者は原稿を選び整えて刊行へ導く人を表す。

用例：著者名を確かめる／編集者が見出しを整える

(3) ア 訃報は亡くなった事実を知らせるもの、追悼文は故人をしのび思いを述べる文章を表す。

用例：訃報を簡潔に伝える／追悼文に思い出を書く

(4) ウ 示唆は間接的に手がかりを与えること、明示は内容をはっきり示すことを表す。

用例：資料が変化を示唆する／出典を明示する

(5) ウ A＝著者、B＝編集者。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝示唆、B＝明示。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 番号	(11) 批判
(2) 栄誉	(12) 諸国
(3) 短歌	(13) 教唆
(4) 当該	(14) 猶予
(5) 宣伝	(15) 原稿
(6) 訃音	(16) ゆうよ
(7) 著作	(17) げんこう
(8) 各地	(18) えっけん
(9) 唯物	(19) びんせん
(10) 様子	(20) げんきゅう

七 文章の中で考えよう

- (1) 示唆 本文中では「示唆」と表されている。
- (2) 原稿
- (3) エ 人が亡くなったという知らせ。
- (4) ア 資料が考える手がかりを与えても、それだけで事実が確定したとは言えないということ。
- (5) 解答例 (49 字)

亡くなった事実と団員の評価や感情を分け、読み手が確かめられる内容の違いを判断できるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (73 字)

資料の著者・日付などの出典を明示し、確認できた事実と記者の解釈を分ける。推測は資料が示唆する範囲にとどめ、強い言葉で確定した内容のように書かない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第七回

見方と方法

最初の予想を答えにせず、証拠と反例で見方を育てる。

今日の中心漢字

待 信 推 秘 企 敏 虚 勘

いっしょに覚える漢字

球	現	模	奇	肯	哲
須	甚	頒	頻	衡	翻

推測・信頼・秘密・頻度など、調べ方や見方を表す語を確かめたあと、古い天球儀の謎を複数の方法で調べる文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
待	タイ・まつ	その時までとどまる 待つ・待機・期待・待遇	企	キ・くわだてる	計画を立てる 企画・企業・企図・企てる
信	シン	まことと思う／たよりにする 信じる・信頼・信用・通信	敏	ビン	すばやい／感じ取りやすい 敏感・機敏・鋭敏・過敏
推	スイ・おす	考えを進める／おしはかる 推測・推理・推薦・推移	虚	キョ・コ	中身がない／事実でない 虚偽・空虚・虚構・虚像
秘	ヒ・ひめる	隠して人に知らせない 秘密・秘める・秘書・神秘	勘	カン	経験から直ちに感じ取る 勘・勘違い・勘案・直勘

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
球	キュウ・たま	丸い形のもの 球・球体・地球・天球	須	ス・シュ・もちいる	なくてはならない 必須・須要・須臾
現	ゲン・あらわれる・うつつ	目の前にあらわれる／今 現れる・現象・現在・実現	甚	ジン・はなはだ・はなはだしい	程度が非常に大きい 甚大・甚だしい・激甚
模	モ・ボ	手本／かたどる 模型・模様・模倣・規模	頒	ハン・わかつ	広く分けて配る 頒布・頒価・頒行
奇	キ・くしき	普通と異なる／不思議 奇妙・奇数・好奇心・奇跡	頻	ヒン・しきりに	何度も繰り返す 頻度・頻繁・頻出
肯	コウ	よいと認める 肯定・首肯・肯んずる	衡	コウ	つり合い／はかる 均衡・平衡・度量衡・衡量
哲	テツ	知恵があり道理に明るい 哲学・哲人・賢哲	翻	ホン・ひるがえる・ひるがえす	裏返す／言葉を移す 翻訳・翻る・翻意・翻案

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「待機」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。
- イ 新しい事柄を計画すること。
- ウ 必要な時に備えて、その場で待つこと。
- エ 事実ではないことを事実のように示すこと。

(2) 「信頼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人に知らせず隠していること。
- イ 相手や情報を確かだとして頼りにすること。
- ウ 小さな変化や刺激を感じ取りやすいこと。
- エ 物事を取り違えて思い込むこと。

(3) 「推測」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。
- イ 新しい事柄を計画すること。
- ウ 事実ではないことを事実のように示すこと。
- エ 必要な時に備えて、その場で待つこと。

(4) 「秘密」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 小さな変化や刺激を感じ取りやすいこと。
- イ 物事を取り違えて思い込むこと。
- ウ 相手や情報を確かだとして頼りにすること。
- エ 人に知らせず隠していること。

(5) 「企画」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 事実ではないことを事実のように示すこと。
- イ 必要な時に備えて、その場で待つこと。
- ウ 新しい事柄を計画すること。
- エ 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。

(6) 「敏感」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事を取り違えて思い込むこと。
- イ 小さな変化や刺激を感じ取りやすいこと。
- ウ 相手や情報を確かだとして頼りにすること。
- エ 人に知らせず隠していること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 待機 敏感 模型 信頼 虚偽 奇妙 推測 勘違い 肯定 秘密 球体 哲学 企画 現象

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| (1) 出番が来るまで舞台裏で（ ）した。 | (8) 集合時刻を1時間（ ）して早く着いた。 |
| (2) 長い付き合いの中で、互いの（ ）が深まった。 | (9) 粘土を丸めて滑らかな（ ）を作った。 |
| (3) 足跡の大きさから動物の種類を（ ）した。 | (10) 冬に池が凍る（ ）を観察した。 |
| (4) この話は二人だけの（ ）にしておこう。 | (11) 新駅の完成後の姿を（ ）で示した。 |
| (5) 地域の歴史を歩いて学ぶ催しを（ ）した。 | (12) 誰も触れていない時計が急に動くとは（ ）な出来事だ。 |
| (6) 彼は光や音の変化に（ ）だ。 | (13) 提案を全面的に（ ）する意見が多かった。 |
| (7) 申請書に（ ）の内容を書くと、責任を問われる。 | (14) 授業で「幸福とは何か」という（ ）的な問いを考えた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「推測」と「勘」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 推測は根拠を示さない直感、勘は資料から順に考える判断を表す。
- イ どちらも分からないことを考えるので、根拠を説明できるかどうかの違いはない。
- ウ 推測は正しい判断、勘は誤った判断になった場合だけに使う。
- エ 推測は事実を根拠に考えること、勘は経験から直ちに感じ取る判断を表す。

(2) 「信頼」と「信用」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 信頼は実績だけへの評価、信用は人の気持ちまで含めて頼ることを表す。
- イ 信頼は人や情報を頼りにすること、信用は実績などから確かだと認めることを表しやすい。
- ウ どちらも確かだと思うことなので、人と情報の違いを考えず使える。
- エ 信頼は私生活、信用は仕事の場面だけで使う。

(3) 「秘密」と「非公開」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 秘密は公開範囲の扱い、非公開は隠された内容そのものを表す。
- イ どちらも見せないことなので、内容と公開方法を区別する必要はない。
- ウ 秘密は一人だけ、非公開は二人以上が知る内容に使う。
- エ 秘密は知らせない内容、非公開は情報を一般には見せない扱いを表す。

(4) 「肯定」と「同意」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 肯定は提案に賛成すること、同意は内容を正しいと判断することだけを表す。
- イ 肯定は内容を正しいと認めること、同意は他者の意見や提案に賛成することを表す。
- ウ どちらも受け入れることなので、判断の対象に違いはない。
- エ 肯定は文章、同意は口頭で示す場合だけに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「本人の（A）を守る」 B「資料を（B）にする」

- ア A＝秘密／B＝非公開 イ A＝非公開／B＝秘密
- ウ A＝秘密／B＝秘密 エ A＝非公開／B＝非公開

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「記録から年代を（A）する」 B「職人の（B）で異常に気づく」

- ア A＝勘／B＝推測 イ A＝推測／B＝勘
- ウ A＝推測／B＝推測 エ A＝勘／B＝勘

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 新しい治療法に、大きなキタイが寄せられている。 | (9) チキュウの表面の多くは海に覆われている。 |
| (2) 地域の小さなキギョウが、独自の製品を開発した。 | (10) 水は生命にシュヨウな物質である。 |
| (3) 約束を守り、少しずつシンヨウを得た。 | (11) ゲンザイの人口を、十年前の数字と比べた。 |
| (4) 店員はキビンに動き、混雑する客を案内した。 | (12) 布に染められたモヨウから、地域を見分ける。 |
| (5) 手がかりを組み合わせ、事件の謎をスイリした。 | (13) 三や五など、二で割り切れない数をキスウという。 |
| (6) 目標を失い、心にクウキョな感じが残った。 | (14) 説明を聞き、その判断は妥当だとシュコウした。 |
| (7) 会議の日程は、社長のヒショが調整した。 | (15) 古代のテツジンが残した言葉を読んだ。 |
| (8) 費用や安全性をカンアンして、建設地を決めた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 甚大 () | (17) 頒布 () | (18) 頻度 () | (19) 均衡 () | (20) 翻訳 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

仮説を育てる記録

資料館の倉庫から、奇妙な印のある球体が見つかった。天球の模型らしいが、文字は外国語で、作られた年代も秘密のように記されていない。悠人は古い航海具だと勘で答え、真央はまず調べる方法を企画しようと提案した。

二人は、表面に現れた星の並び、傷の位置、同じ印が出る頻度を記録した。小さな変化に敏感であることは大切だが、珍しい一つの印だけを重く見れば、全体の均衡を失う。仮説札には、確かさを三段階で示す印を付けた。思いつきが記録を集める方向を示しても、集めた記録によって仮説の側も変わらなくてはならない。

哲学と天文学の古書を翻訳すると、似た球体が学習用に頒布された例があった。しかし、説明図と模型の軸は合わない。資料を信頼することと、すべてを肯定することは別である。

倉庫の台帳には、洪水で甚大な被害を受けた年に「観測具を待機所へ移した」とある。これが同じ物かは確定できない。悠人は航海具という最初の推測を残しつつ、学習用模型という別の可能性も並べた。

【仮説の欄】分かった事実／そこから推測したこと／反対の証拠／次に必須の確認

担当者は、所有者の名だけは非公開にしてほしいと話した。秘密を暴くことが調査の目的ではない。来歴を確かめるために必要な情報と、公開しなくても研究できる情報を分ける必要がある。

調査会では、見た目の奇妙さから「偽物だ」とする意見も出た。だが、分からない点を虚偽と決めるのは早い。二人は反対意見も記し、どの証拠があれば仮説を翻せるかを考えた。よい仮説は、最初から正しい答えではない。事実と推測を分け、反例によって修正できる形にすることで、見方は育つ。二人は結論を急がず、次の分析を待機の欄へ書き加えた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「あることが起こる回数の多さ」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ホンヤク」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「推測」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。

イ 人に知らせず隠していること。

ウ 印刷物などを広く配ること。

エ 複数のもののつり合いが取れていること。

(4) 資料を信頼することと、すべてを肯定することが別なのはなぜか。

ア 信頼できる資料には事実が一つも書かれていないから。

イ 翻訳した資料は必ず誤りになるから。

ウ 模型は書かれた説明より常に正しいから。

エ 資料を手がかりにはできても、模型と合わない点を検討せず全内容を正しいとはできないから。

(5) 二人が最初の仮説と別の可能性を並べて残したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「事実」「反例」の二語を用い、仮説を確かめる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| (1) ウ 必要な時に備えて、その場で待つこと。 | (4) エ 人に知らせず隠していること。 |
| (2) イ 相手や情報を確かだとして頼りにすること。 | (5) ウ 新しい事柄を計画すること。 |
| (3) ア 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。 | (6) イ 小さな変化や刺激を感じ取りやすいこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 待機 | (8) 勘違い |
| (2) 信頼 | (9) 球体 |
| (3) 推測 | (10) 現象 |
| (4) 秘密 | (11) 模型 |
| (5) 企画 | (12) 奇妙 |
| (6) 敏感 | (13) 肯定 |
| (7) 虚偽 | (14) 哲学 |

使い分けを確かめよう：推測は事実を根拠に考えること、勘は経験から直ちに感じ取る判断を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 推測は事実を根拠に考えること、勘は経験から直ちに感じ取る判断を表す。

用例：記録から年代を推測する／職人の勘で異常に気づく

(2) イ 信頼は人や情報を頼りにすること、信用は実績などから確かだと認めることを表しやすい。

用例：調査仲間を信頼する／出典のある資料を信用する

(3) エ 秘密は知らせない内容、非公開は情報を一般には見せない扱いを表す。

用例：本人の秘密を守る／資料を非公開にする

(4) イ 肯定は内容を正しいと認めること、同意は他者の意見や提案に賛成することを表す。

用例：仮説の一部を肯定する／公開方針に同意する

(5) ア A＝秘密、B＝非公開。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝推測、B＝勘。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 期待	(11) 現在
(2) 企業	(12) 模様
(3) 信用	(13) 奇数
(4) 機敏	(14) 首肯
(5) 推理	(15) 哲人
(6) 空虚	(16) じんだい
(7) 秘書	(17) はんぷ
(8) 勘案	(18) ひんど
(9) 地球	(19) きんこう
(10) 須要	(20) ほんやく

七 文章の中で考えよう

- (1) 頻度 本文中では「頻度」と表されている。
- (2) 翻訳
- (3) ア 分かっている事実から、まだ分からないことを考えること。
- (4) エ 資料を手がかりにはできても、模型と合わない点を検討せず全内容を正しいとはできないから。

(5) 解答例 (47 字)

一つの説明に決めつけず、合わない証拠が出たときに見方を修正し、次の確認へ進めるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例 (70 字)

観察できた事実と、そこからの推測を別の欄に記す。仮説に合う証拠だけでなく反例も探し、どの結果が出れば考えを修正するかを決めて次の調査へ進む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第八回

操作と働きかけ

動作を一語で済ませず、対象・順序・責任を工程として示す。

今日の中心漢字

開 切 持 取 尽 執 撲 搬

いっしょに覚える漢字

採	停	従	至	逮	致
奔	奪	駆	据	跳	摂

開封・保持・搬入・採取など行為を表す語を確かめたあと、資料館への搬入作業を安全な工程へ組み直す文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
開 切 持 取	カイ・ひらく・あ く・あける	閉じたものをひらく 開く・開封・開始・公開	尽 執 撲 搬	ジン・つくす・つ きる・つかす	すべてを出し切る 尽くす・尽力・無尽・燃え尽きる
	セツ・サイ・き る・きれる	分ける／断つ 切る・切断・大切・区切り		シツ・シュウ・と る	手に取って行う／こだわる 執る・執行・執筆・固執
	ジ・もつ	手に取る／保つ 持つ・保持・持続・所持		ボク	強く打つ／打ち消す 打撲・撲滅・撲殺
	シュ・とる	手に入れる／つかむ 取る・取得・採取・受取		ハン	物を運び移す 搬入・搬出・運搬

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
採 停 従 至 逮 致	サイ・とる	選んで取り入れる 採る・採取・採用・採点	奔 奪 駆 据 跳 撮	ホン・はしる	勢よく走る 奔走・奔流・出奔
	テイ・とめる・と まる	動きを止める 停止・停車・停電・停泊		ダツ・うばう	他から無理に取る 奪う・略奪・争奪・奪回
	ジュウ・ショウ・ ジュ・したがう	あとについて行く／規則どおりにす る 従う・従事・服従・従来		ク・かける・かる	走らせる／追う 駆ける・駆動・駆使・先駆
	シ・いたる	ある所や段階へ届く 至る・到達・至急・夏至		キョ・すえる・す わる	動かないよう置く 据える・据え付け・据え置き
	タイ	追いついて捕らえる 逮捕・逮夜		チョウ・はねる・ とぶ	地面をけて上がる 跳ぶ・跳躍・跳ねる
	チ・いたす	その状態へ至らせる 一致・合致・致す・招致		セツ・ショウ・と る	取り入れる／兼ねる 摂取・摂る・摂政

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「開封」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある状態や物を保ち続けること。
- イ 力を尽くして努力すること。
- ウ 体を強く打って傷めること。
- エ 封を切って中を開けること。

(2) 「切断」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 権利や資格、物などを手に入れること。
- イ 決められた事柄を実際に行うこと。
- ウ つながっている物を切り離すこと。
- エ 物を建物や場所の中へ運び入れること。

(3) 「保持」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 力を尽くして努力すること。
- イ ある状態や物を保ち続けること。
- ウ 体を強く打って傷めること。
- エ 封を切って中を開けること。

(4) 「取得」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 権利や資格、物などを手に入れること。
- イ 決められた事柄を実際に行うこと。
- ウ 物を建物や場所の中へ運び入れること。
- エ つながっている物を切り離すこと。

(5) 「尽力」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体を強く打って傷めること。
- イ 封を切って中を開けること。
- ウ ある状態や物を保ち続けること。
- エ 力を尽くして努力すること。

(6) 「執行」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を建物や場所の中へ運び入れること。
- イ つながっている物を切り離すこと。
- ウ 決められた事柄を実際に行うこと。
- エ 権利や資格、物などを手に入れること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 開封 執行 従う 切断 打撲 至る 保持 搬入 逮捕 取得 採取 合致 尽力 停止

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| (1) 封筒は受取人が（ ）するまで、のり付けしたままにする。 | (8) 展示品は専用の箱に入れて会場へ（ ）した。 |
| (2) 倒木を安全な長さに（ ）した。 | (9) 川の水を容器に（ ）し、水質を調べた。 |
| (3) 温度を一定に（ ）する装置を使う。 | (10) 異常を検知すると、機械は自動で（ ）する。 |
| (4) 研修を終え、必要な資格を（ ）した。 | (11) 避難するときは係員の指示に（ ）。 |
| (5) 復旧のために（ ）してくれた人々へ感謝した。 | (12) 険しい道をたどると、やがて山頂に（ ）。 |
| (6) 裁判所の命令に基づき、差押えが（ ）された。 | (13) 警察は防犯映像を手掛かりに容疑者を（ ）した。 |
| (7) 転倒して肩を（ ）したが、骨折はなかった。 | (14) 測定値は事前の予測とほぼ（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「採取」と「取得」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 採取は権利を得ること、取得は標本を集めることを表す。
- イ どちらも手に入れる行為なので、対象や手続の違いなく使える。
- ウ 採取は資料や標本を取り集めること、取得は権利・資格・物などを手に入れることを表す。
- エ 採取は自然物、取得は人工物にだけ使う。

(2) 「保持」と「保管」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 保持は状態や物を保ち続けること、保管は物を傷まないよう一定の場所で預かることを表す。
- イ 保持は場所で預かること、保管は姿勢や状態を保つことを表す。
- ウ どちらも物を守るので、作業中か収納中かを区別せず使える。
- エ 保持は短時間、保管は一年以上の場合だけに使う。

(3) 「停止」と「中止」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 停止は計画をやめること、中止は機械の動きを止めることを表す。
- イ どちらも止めることなので、機械と活動の違いなく置き換えられる。
- ウ 停止は動きを止めること、中止は予定していた活動を途中または開始前にやめることを表す。
- エ 停止は一時的、中止は永久に再開しない場合だけに使う。

(4) 「到達」と「達成」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 到達は場所や段階へ行き着くこと、達成は目標を成し遂げることを表す。
- イ 到達は目標を成し遂げること、達成は場所へ行き着くことを表す。
- ウ どちらも目標に届く意味なので、場所と成果を区別する必要はない。
- エ 到達は個人、達成は集団が行う場合だけに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「展示室へ（A）する」 B「安全搬入を（B）する」

- ア A＝達成／B＝到達 イ A＝到達／B＝到達
- ウ A＝到達／B＝達成 エ A＝達成／B＝達成

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「箱を水平に（A）する」 B「資料を収蔵庫で（B）する」

- ア A＝保管／B＝保持 イ A＝保持／B＝保持
- ウ A＝保管／B＝保管 エ A＝保持／B＝保管

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| (1) 開会の挨拶を合図に、式典をカイシした。 | (9) 雪解け水がホンリュウとなって谷を下った。 |
| (2) 砂漠にも、地下にはムジンの資源が眠ると考えられた。 | (10) 次の駅では急行もテイシャする。 |
| (3) 古い手紙は、家族にとってタイセツな資料である。 | (11) 父は長年、農業にジュウジしている。 |
| (4) 調査報告をシッピツするため、記録を整理した。 | (12) 事故のため、シキユ担当へ連絡した。 |
| (5) 運動をジゾクすると、少しずつ体力がつく。 | (13) 命日の前夜に行う法要をタイヤという。 |
| (6) 感染症をボクメツするため、国際的な協力が続く。 | (14) 二人の証言は細部までイチチしていた。 |
| (7) 展示品を倉庫からハンシュツし、会場へ運んだ。 | (15) 野菜から必要な栄養をセッシュする。 |
| (8) 住民の提案が計画にサイヨウされた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| (16) 奪う () | (17) 駆動 () | (18) 据える () | (19) 跳躍 () | (20) 摂取 () |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

動詞で工程を見える化する

資料館へ大きな地球儀を搬入する日、手順書には「箱を開けて中身を取る」とだけあった。真央は、開封、ひもの切断、地球儀の保持、台への据え付けを一つずつ分けなければ危険だと指摘した。

【工程票】だれが／何を／どの状態から／どう操作するか／停止の条件

作業員は昇降機を駆動し、箱が展示室へ至るまで水平を保った。途中で異音がすれば直ちに停止する。予定を守るために跳躍して段差を越えたり、重い荷を一人から奪うように取ったりしてはならない。

工程を動詞で並べると、誰が何をしたかだけでなく、どこで作業が止まったかも見えた。二人は矢印の途中に、確認が必要な地点を加えた。

標本の一部は研究用に採取された物で、展示には別の許可を取得する必要があった。

資料番号と許可書が合致しなければ、箱を開けず保管へ戻す。手順に従うことは、責任の所在を明らかにすることでもある。

準備に奔走した人の尽力は大きい。しかし、疲れて水分を摂取せず作業を続ければ、判断を誤って打撲する危険が増す。工程には休憩も含め、速さだけを成果にしない。

見学用の法制度資料には、「取り押さえる」と「逮捕する」の違いもあった。似た動作に見えても、法律上の権限と手続が異なる。動詞を正確に選ぶことは、行為の責任を曖昧にしないために必要である。

全員が役割を確認してから、作業を執行した。保持する人、台を据える人、記録する人が声を掛け合い、停止の合図も決めた。地球儀は傷なく展示台へ収まった。

「運ぶ」という一語を工程へ分けると、必要な道具、危険、担当が見える。操作を表す言葉は、動きを説明するだけでなく、だれが何に働きかけ、どこまで責任を負うかを示すものでもある。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「二つ以上の内容がぴったり合うこと」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ハンニユウ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「保持」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 封を切って中を開けること。

イ ある状態や物を保ち続けること。

ウ 法律に基づいて人の身体を拘束すること。

エ 力を尽くして努力すること。

(4) 手順書の「箱を開けて中身を取る」だけでは不十分なのはなぜか。

ア 地球儀は箱から出してはいけない資料だから。

イ 作業員は動詞を一つしか覚えられないから。

ウ 複数の操作と担当、停止条件が分からず、安全に作業するための責任を分けられないから。

エ 搬入には記録や許可が一切必要ないから。

(5) 工程票に停止の条件まで記したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「操作」「責任」の二語を用い、安全な工程の作り方を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) エ 封を切って中を開けること。 | (4) ア 権利や資格、物などを手に入れること。 |
| (2) ウ つながっている物を切り離すこと。 | (5) エ 力を尽くして努力すること。 |
| (3) イ ある状態や物を保ち続けること。 | (6) ウ決められた事柄を実際に行うこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 開封 | (8) 搬入 |
| (2) 切断 | (9) 採取 |
| (3) 保持 | (10) 停止 |
| (4) 取得 | (11) 従う |
| (5) 尽力 | (12) 至る |
| (6) 執行 | (13) 逮捕 |
| (7) 打撲 | (14) 合致 |

使い分けを確かめよう：採取は資料や標本を取り集めること、取得は権利・資格・物などを手に入れることを表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) ウ 採取は資料や標本を取り集めること、取得は権利・資格・物などを手に入れることを表す。
用例：土の標本を採取する／公開の許可を取得する
- (2) ア 保持は状態や物を保ち続けること、保管は物を傷まないよう一定の場所で預かることを表す。
用例：箱を水平に保持する／資料を収蔵庫で保管する
- (3) ウ 停止は動きを止めること、中止は予定していた活動を途中または開始前にやめることを表す。
用例：昇降機を停止する／搬入作業を中止する
- (4) ア 到達は場所や段階へ行き着くこと、達成は目標を成し遂げることを表す。
用例：展示室へ到達する／安全搬入を達成する
- (5) ウ A＝到達、B＝達成。(4)の使い分けを参照。
- (6) エ A＝保持、B＝保管。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 開始	(11) 従事
(2) 無尽	(12) 至急
(3) 大切	(13) 逮夜
(4) 執筆	(14) 一致
(5) 持続	(15) 摂取
(6) 撲滅	(16) うばう
(7) 搬出	(17) くどう
(8) 採用	(18) すえる
(9) 奔流	(19) ちょうやく
(10) 停車	(20) せっしゅ

七 文章の中で考えよう

- (1) 合致 本文中では「合致」と表されている。
- (2) 搬入
- (3) イ ある状態や物を保ち続けること。
- (4) ウ 複数の操作と担当、停止条件が分からず、安全に作業するための責任を分けられないから。
- (5) 解答例（46 字）

異音や書類の不一致が起きた時、予定を優先せず、だれでも危険な作業を止められるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（73 字）

作業を一つの動詞で済ませず、対象と操作を順に分け、担当者と停止条件を記す。許可や資料番号も照合し、各人の責任と危険が見える工程にしてから実行する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第九回

変化を進める

前と後の二枚だけでなく、途中の揺れと条件を記録する。

今日の中心漢字

続 完 状 展 干 朽 稚 黙

いっしょに覚える漢字

特

豊

滋

継

拓

緊

渴

挫

漸

遷

顕

増※

継続・発展・変遷・顕著など変化を表す語を確かめたあと、干上がった池の再生を長い過程として読む文章を読みます。 ※再会漢字：増（第二冊第六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
続 完 状 展	ゾク・つづく・つづける	切れずにつながる 続く・継続・連続・続行	干	カン・ほす・ひる	水分をなくす／関わる 干す・干上がる・干潮・干渉
	カン	欠ける所なく終わる 完成・完了・完全・完備	朽	キュウ・くちる	古くなり崩れる 朽ちる・老朽・不朽・朽木
	ジョウ	ありさま／形 状態・状況・現状・症状	稚	チ・いとけない	幼い／まだ育っていない 稚魚・幼稚・稚拙
	テン	広げる／進み広がる 発展・展開・展示・進展	黙	モク・だまる	声や言葉を出さない 沈黙・黙る・黙認・黙読

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
特 豊 滋 継 拓 緊	トク	ほかと異なる／とりわけ 特別・特徴・特定・独特	渴	カツ・かわく	水分がなくなる／強く求める 渴く・枯渴・渴望
	ホウ・ゆたか	多く満ちている 豊か・豊富・豊作・豊穰	挫	ザ・くじく・くじける	折る／途中で勢いを失う 挫折・捻挫・頓挫
	ジ・しげる	養い育てる／増える 滋養・滋味・滋賀	漸	ゼン・ようやく	少しずつ進む 漸進・漸次・漸く
	ケイ・つぐ	後を受けて続ける 継ぐ・継承・継続・後継	遷	セン・うつる	場所や状態が移り変わる 変遷・遷移・遷都
	タク・ひらく	土地や分野を切り開く 開拓・拓く・魚拓・干拓	顕	ケン・あきらか・あらわれる	はっきり現れる 顕著・顕在・顕彰
	キン	きつく締まる／差し迫る 緊急・緊張・緊密・緊迫	増 ※	ゾウ・ます・ふえる・ふやす	再会：数や量が多くなる 増える・増加・増減・倍增

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「継続」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事を切れずに続けること。
- イ ある時点での物事のありさま。
- ウ 水がなくなって乾いた状態になる。
- エ 生まれてから間もない魚。

(2) 「完成」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事が進み、より広がったり高まったりすること。
- イ 木などが古くなり、腐って崩れる。
- ウ 言葉や音が途絶えて静かなこと。
- エ 作っていた物ができ上がること。

(3) 「状態」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水がなくなって乾いた状態になる。
- イ 生まれてから間もない魚。
- ウ ある時点での物事のありさま。
- エ 物事を切れずに続けること。

(4) 「発展」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 木などが古くなり、腐って崩れる。
- イ 物事が進み、より広がったり高まったりすること。
- ウ 言葉や音が途絶えて静かなこと。
- エ 作っていた物ができ上がること。

(5) 「干上がる」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水がなくなって乾いた状態になる。
- イ 生まれてから間もない魚。
- ウ 物事を切れずに続けること。
- エ ある時点での物事のありさま。

(6) 「朽ちる」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 言葉や音が途絶えて静かなこと。
- イ 作っていた物ができ上がること。
- ウ 物事が進み、より広がったり高まったりすること。
- エ 木などが古くなり、腐って崩れる。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 継続 朽ちる 滋養 完成 稚魚 継承 状態 沈黙 開拓 発展 特徴 緊急 干上がる 豊か

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| (1) 体力を保つには、無理なく運動を（ ）することが大切だ。 | (8) 質問の後、会場に重い（ ）が広がった。 |
| (2) 半年かけて橋が（ ）し、通行が始まった。 | (9) 細長い葉が、この植物の大きな（ ）だ。 |
| (3) 使用前に機器の（ ）を点検する。 | (10) 川と森に恵まれた（ ）な土地で作物を育てる。 |
| (4) 交通網の整備とともに町が（ ）した。 | (11) 病後の体に（ ）のある食事を用意した。 |
| (5) 雨が長く降らないと、ため池が（ ）。 | (12) 地域の祭りを次の世代へ（ ）する。 |
| (6) 手入れをしない木の門は、長い年月で（ ）。 | (13) 荒地を（ ）し、畑へ変えた。 |
| (7) 川へ放流する前に（ ）の大きさを測った。 | (14) 意識を失った人に（ ）の手当てを行った。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「継続」と「継承」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 継続は技術を受け継ぐこと、継承は同じ活動続けることを表す。
- イ 継続は同じ活動続けること、継承は考え・技術・役目などを受け継ぐことを表す。
- ウ どちらも前から後へつなぐので、何をつなぐかに違いはない。
- エ 継続は個人、継承は集団が行う場合だけに使う。

(2) 「完成」と「完了」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 完成は手続が終わること、完了は物ができ上がることを表す。
- イ どちらも終わることなので、物と作業を区別せず使える。
- ウ 完成は成功、完了は失敗したまま終わる場合だけに使う。
- エ 完成は作っていた物ができ上がること、完了は作業や手続が終わることを表す。

(3) 「発展」と「増加」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 発展は量が多くなること、増加は内容が高まることを表す。
- イ 発展は物事が進み内容や働きが広がること、増加は数や量が多くなることを表す。
- ウ どちらも以前より大きくなるので、質と量の違いなく使える。
- エ 発展はよい変化、増加は悪い変化だけに使う。

(4) 「漸進」と「変遷」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 漸進は過去の移り変わり、変遷は目標へ少しずつ進むことを表す。
- イ どちらも時間をかけた変化なので、方向の有無を区別する必要はない。
- ウ 漸進は短期間、変遷は百年以上の変化だけに使う。
- エ 漸進は少しずつ前へ進むこと、変遷は時間とともに状態が移り変わった過程を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「観察を（A）する」 B「手入れの技術を（B）する」

- ア A＝継続／B＝継承 イ A＝継承／B＝継続
- ウ A＝継続／B＝継続 エ A＝継承／B＝継承

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「活動が地域へ（A）する」 B「稚魚の数が（B）する」

- ア A＝増加／B＝発展 イ A＝発展／B＝増加
- ウ A＝発展／B＝発展 エ A＝増加／B＝増加

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 雨が弱くなったため、試合をゾッコウした。 | (9) 今日だけはトクベツに、展示室を夜まで開ける。 |
| (2) カンチョウになると、干潟が広く現れる。 | (10) 自由を強くカツボウする声が各地で上がった。 |
| (3) 全ての入力が終わりと、作業がカンリョウした。 | (11) 図書館には、郷土に関する資料がハウフにある。 |
| (4) 校舎のロウキュウ化が進み、建て替えが決まった。 | (12) 山菜のジミを生かした薄味の料理を味わった。 |
| (5) 現場のジョウキョウを確認してから判断した。 | (13) 会社は若い世代をコウケイ者として育てている。 |
| (6) 相手をからかうヨウチな行動はやめよう。 | (14) 釣った魚に墨を塗り、紙ヘギョタクを取った。 |
| (7) 物語は意外な方向ヘテンカイした。 | (15) 二つの組織はキンミツに連絡を取り合った。 |
| (8) 規則違反をモクニンすれば、不公平が広がる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 挫折 () | (17) 漸進 () | (18) 変遷 () | (19) 顕著 () | (20) 増加 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

変化を一枚で切らない

町の池は、夏に水が干上がり、朽ちた木道だけが残っていた。再生前と完成後の写真を並べれば、変化は劇的に見える。しかし真央は、その二枚だけでは途中の挫折や条件が消えると考えた。

最初の計画では水を一度に満たしたが、翌月また枯渇した。緊急に水を足しても、周囲の土が保てなければ継続しない。水草の状態、雨量、日陰の変化を毎週記録する必要があった。

一枚目と最後の写真だけなら、変化は急に見える。間の三枚を差し込むと、止まり、戻り、進み直す小さな動きが現れた。地域の人々は、昔の池には稚魚が多く、鳥も豊かだったと話した。だが、過去をそのまま再現することが継承ではない。現在の水質と生き物に合う方法を開拓しなければならない。

【変化の記録】時点ごとの状態／加えた働きかけ／予想外の変化／次の判断

堆肥は植物へ滋養を与えた一方、多すぎると水を濁らせた。量を増やせば発展するとは限らない。少しずつ条件を変える漸進の方法で、何が効いたかを確かめた。

半年後、水位の変化は小さくなり、稚魚の増加も顕著になった。ただし、鳥の声が戻らない沈黙の季節もあった。見えない変化を失敗と決めず、次の年まで観察を続けた。

報告書には、池の変遷を成功の物語だけにせず、干上がった時期と試した方法も載せた。完成したのは木道であり、生態の変化は完了していない。二つの終わりを分けることが大切だった。

変化は前と後の差だけではない。途中で何を加え、何が起こり、どの判断を改めたかという過程を含む。特徴を時点ごとに記すと、偶然の増加と、続けられる仕組みを区別しやすくなる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「違いがはっきり分かるほど目立つこと」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「ヘンセン」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「漸進」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 資源や水などがなくなること。
- イ 目的の途中で失敗し、くじけること。
- ウ 少しずつ段階を追って進むこと。
- エ 考えや技術、役目などを受け継ぐこと。

（4）再生前と完成後の二枚だけでは不十分なのはなぜか。

- ア 写真には池の水を写すことができないから。
- イ 途中の失敗や加えた働きかけが消え、何が変化を支えたか判断できなくなるから。
- ウ 完成後の写真は必ず事実と異なるから。
- エ 変化は一日で終わらなければ記録できないから。

（5）報告書で、干上がった時期や失敗した方法も載せたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「状態」「過程」の二語を用い、長い変化を記録する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| (1) ア 物事を切れずに続けること。 | (4) イ 物事が進み、より広がったり高まったりすること。 |
| (2) エ 作っていた物ができ上がること。 | (5) ア 水がなくなって乾いた状態になる。 |
| (3) ウ ある時点での物事のありさま。 | (6) エ 木などが古くなり、腐って崩れる。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|----------|---------|
| (1) 継続 | (8) 沈黙 |
| (2) 完成 | (9) 特徴 |
| (3) 状態 | (10) 豊か |
| (4) 発展 | (11) 滋養 |
| (5) 干上がる | (12) 継承 |
| (6) 朽ちる | (13) 開拓 |
| (7) 稚魚 | (14) 緊急 |

使い分けを確かめよう：継続は同じ活動を続けること、継承は考え・技術・役目などを受け継ぐことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 継続は同じ活動が続けること、継承は考え・技術・役目などを受け継ぐことを表す。

用例：観察を継続する／手入れの技術を継承する

(2) エ 完成は作っていた物ができ上がること、完了は作業や手続が終わることを表す。

用例：観察路が完成する／点検作業が完了する

(3) イ 発展は物事が進み内容や働きが広がること、増加は数や量が多くなることを表す。

用例：活動が地域へ発展する／稚魚の数が増加する

(4) エ 漸進は少しずつ前へ進むこと、変遷は時間とともに状態が移り変わった過程を表す。

用例：計画を漸進させる／池の変遷をたどる

(5) ア A＝継続、B＝継承。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝発展、B＝増加。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 続行	(11) 豊富
(2) 干潮	(12) 滋味
(3) 完了	(13) 後継
(4) 老朽	(14) 魚拓
(5) 状況	(15) 緊密
(6) 幼稚	(16) ざせつ
(7) 展開	(17) ぜんしん
(8) 黙認	(18) へんせん
(9) 特別	(19) けんちょ
(10) 渴望	(20) ぞうか

七 文章の中で考えよう

- (1) 顕著 本文中では「顕著」と表されている。
- (2) 変遷
- (3) ウ 少しずつ段階を追って進むこと。
- (4) イ 途中の失敗や加えた働きかけが消え、何が変わりを支えたか判断できなくなるから。
- (5) 解答例 (46 字)

成功した前後だけでなく、どの条件と判断が変化を支えたかを読み手が確かめられるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (74 字)

前後の写真だけでなく、時点ごとの状態、加えた働きかけ、予想外の結果を記す。判断を改めた理由も含めて過程を残せば、偶然の増加と続く仕組みを区別できる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十回

人が集まる場

建物の名前ではなく、そこで支える働きと利用の条件を見る。

今日の中心漢字

世 院 組 局 便 級 援 社

いっしょに覚える漢字

遊	常	込	催	逝	塾
酬	陪	棺	壇	淫	閱

学級・病院・福祉・支援など、人が集まる場に関わる語を確かめたあと、一つの交流館が一日で担う複数の役割を読む文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
世 院 組 局	セイ・セ・よ	人の生きる社会／時代 世・世代・世界・世間	便 級 援 祉	ベン・ピン・たよ り	都合がよい／運ぶ手段 便利・郵便・便宜・交通便
	イン	公共の建物／施設 病院・学院・院内・寺院		キュウ	段階／学校の組 学級・等級・上級・進級
	ソ・くむ・くみ	組み合わせる／まとまり 組む・組織・組合・番組		エン	助ける／支える 支援・援助・応援・救援
	キョク	区切られた所／役所や施設 郵便局・局面・当局・部局		シ	人々のしあわせ 福祉・社会福祉

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
遊 常 込 催 逝 塾	ユウ・ユ・あそぶ	楽しんで過ごす 遊ぶ・遊具・遊園・遊歩	酬 陪 棺 壇 淫 閑	シュウ	働きに報いる 報酬・応酬・酬いる
	ジョウ・つね・と こ	いつも／変わらない 日常・常設・通常・常時		パイ	そばに付き従う 陪席・陪審・陪従
	こむ・こめる	中へ入る／中へ入れる 申し込む・書き込む・追い込む・込める		カン・ひつぎ	遺体を納める箱 棺・棺木・納棺・石棺
	サイ・もよおす	人を集めて行事を行う 開催・催し・主催・催促		ダン・タン	一段高くした場所 演壇・祭壇・壇上・花壇
	セイ・ゆく・いく	人が亡くなる 逝去・急逝・逝く		イン・みだら	度を越す／乱れる 淫雨・淫ら・淫逸
	ジュク	学問や技術を教える所 学習塾・私塾・塾生		エツ	調べながら見る 閲覧・検閲・閲歴・閲読

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「世代」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 目的のために役割を分けて作られた集まり。
- イ ほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまり。
- ウ 都合がよいように取り計らうこと。
- エ 活動や生活を支え助けること。

(2) 「病院」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 病気やけがの診療を行う施設。
- イ 郵便物や貯金などを扱う施設。
- ウ 学校で学習や生活をともにする組。
- エ 人々が安心して生活できるよう支えること。

(3) 「組織」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 都合がよいように取り計らうこと。
- イ 活動や生活を支え助けること。
- ウ ほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまり。
- エ 目的のために役割を分けて作られた集まり。

(4) 「郵便局」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 学校で学習や生活をともにする組。
- イ 人々が安心して生活できるよう支えること。
- ウ 郵便物や貯金などを扱う施設。
- エ 病気やけがの診療を行う施設。

(5) 「便宜」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 活動や生活を支え助けること。
- イ 都合がよいように取り計らうこと。
- ウ ほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまり。
- エ 目的のために役割を分けて作られた集まり。

(6) 「学級」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 学校で学習や生活をともにする組。
- イ 人々が安心して生活できるよう支えること。
- ウ 病気やけがの診療を行う施設。
- エ 郵便物や貯金などを扱う施設。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 世代 学級 申し込む 病院 支援 開催 組織 福祉 逝去 郵便局 遊具 学習塾 便宜 常設

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| (1) 祖父母と孫では、育った（ ）が異なる。 | (8) 地域の（ ）サービスを分かりやすく案内する。 |
| (2) けが人は救急車で近くの（ ）へ運ばれた。 | (9) 公園の（ ）を定期的に点検する。 |
| (3) 役割と連絡経路を明確にし、強い（ ）をつくる。 | (10) この相談窓口は、平日だけでなく休日も（ ）されている。 |
| (4) 荷物を出すため、駅前の（ ）へ寄った。 | (11) 参加を希望する人は、専用の用紙で（ ）。 |
| (5) 来館者の（ ）を考え、入口に椅子を置いた。 | (12) 講演会は来月、市民会館で（ ）される。 |
| (6) 新しい（ ）で、互いの名前を覚える活動をした。 | (13) 創業者の（ ）を受け、社員が黙とうした。 |
| (7) 被災した生徒への学習（ ）を続ける。 | (14) 放課後、近所の（ ）で数学を学ぶ。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「組織」と「集団」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 組織は目的と役割を定めた集まり、集団は人や物が集まったまとまりを広く表す。
- イ 組織は人が集まった状態、集団は役割を定めて活動する仕組みを表す。
- ウ どちらも複数の人のまとまりなので、役割の有無に違いはない。
- エ 組織は大人数、集団は少人数の場合だけに使う。

(2) 「支援」と「援助」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 支援は一度の具体的な助け、援助は活動が続ける仕組みを表す。
- イ どちらも助けることなので、方法や期間を区別せず使える。
- ウ 支援は活動や生活を継続できるよう支えること、援助は困っている人へ具体的な助けを与えることを表しやすい。
- エ 支援は団体、援助は個人だけが行う。

(3) 「開催」と「催し」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 開催は会や行事を開いて行うこと、催しは開かれる行事や企画そのものを表す。
- イ 開催は行事そのもの、催しは行事を行う動作を表す。
- ウ どちらも行事に関わるため、動作と内容を区別せず使える。
- エ 開催は屋内、催しは屋外の行事だけに使う。

(4) 「報酬」と「謝礼」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 報酬は感謝のしるし、謝礼は契約した仕事の対価を表す。
- イ どちらも働いた人へ渡す物なので、契約や目的の違いなく使える。
- ウ 報酬は仕事の対価として支払う金品、謝礼は感謝のしるしとして渡す金品や言葉を表す。
- エ 報酬は現金、謝礼は品物で渡す場合だけに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「学習を継続的に（A）する」 B「食料を（B）する」

- ア A＝援助／B＝支援 イ A＝支援／B＝支援
- ウ A＝支援／B＝援助 エ A＝援助／B＝援助

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「講師に（A）を支払う」 B「協力者へ（B）を渡す」

- ア A＝謝礼／B＝報酬 イ A＝報酬／B＝報酬
- ウ A＝謝礼／B＝謝礼 エ A＝報酬／B＝謝礼

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| (1) セカイの各地域に異なる文化がある。 | (9) 両者の激しい言葉のオウシュウが続いた。 |
| (2) 小さくて持ち運びにベンリな道具だ。 | (10) 何げないニチジョウの出来事を日記に書いた。 |
| (3) 専門分野を学ぶため、海外のガクインへ進んだ。 | (11) 文化祭は生徒会がシュサイする。 |
| (4) 品質に応じて、商品を三つのトウキュウに分けた。 | (12) 若い研究者の突然のキュウセイを悼んだ。 |
| (5) 働く人々がクミアイを作り、条件の改善を求めた。 | (13) 江戸時代のシジユクで学んだ人々を調べた。 |
| (6) 被災地へ食料と毛布のエンジョが届いた。 | (14) 会議には専門家もバイセキした。 |
| (7) 試合は、守るか攻めるかの難しいキョクメンを迎えた。 | (15) 家族が故人の旅支度を整え、静かにノウカンした。 |
| (8) 昔のユウエン地の跡に、公園が造られた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 陪席 () | (17) 棺 () | (18) 演壇 () | (19) 淫雨 () | (20) 閲覧 () |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

場を支える見えない仕事

町の交流館は、午前は高齢者の福祉相談、午後は学級の発表、夕方は学習塾として使われる。建物は一つでも、集まる世代と目的は時間ごとに違う。悠人と真央は、その一日を図にすることにした。

入口には郵便局の出張窓口と、資料を閲覧できる常設棚がある。庭の遊具を使う人、講座へ申し込む人、病院から支援を受ける人も来る。利用者の便宜だけでなく、職員の準備と動線も必要だった。

閉館後の会場を歩くと、案内、清掃、記録、見守りが別々の場所で続いていた。目立たない仕事を一つ落とせば、翌日の展示は開かない。

長い淫雨の日には避難所となり、通常の催しは中止される。机を片づけ、寝る場所と相談の区画を作る作業は、見学者からは見えにくい。場の働きは看板の名前だけでは分からない。

ある日は逝去した住民をしのぶ会が開かれ、棺を置く場所と祭壇、演壇が用意された。

【場の記録】利用する人／行うこと／支える人／必要な設備／使えない時間

遺族に陪席する人もいれば、受付を担う人もいる。悲しみの場と日常の学習を同じ時間に重ねない配慮が必要だった。

講座の講師には報酬が支払われ、ボランティアには交通費が出る。無償の支援だけに頼れば、同じ人へ負担が集中する。組織として続けるには、役割と費用を記録しなければならない。

真央は、交流館を「だれでも自由に使える場所」と書きかけた。

実際には予約、静けさ、支援員の配置など利用の条件がある。開かれた場とは、条件がない場ではなく、異なる人が使えるよう条件を整えた場である。

二人の図には、利用者だけでなく、清掃、受付、相談、設営をする人も加わった。人が集まる場は、建物があるだけでは働かない。見えにくい仕事と時間の調整が、複数の役割を支えている。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「人々が安心して生活できるよう支えること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

（2）「エツラン」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「淫雨」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 仕事や働きに対して支払われる金品。
- イ 希望を伝えて手続をすること。
- ウ 話す人が立つために一段高くした場所。
- エ 長く降り続く雨。

（4）開かれた場が「条件がない場」ではないとは、どのようなことか。

- ア 異なる人が利用できるよう、予約や静けさ、支援員の配置など必要な条件を整えるということ。
- イ 利用者はどの設備も自由に持ち帰れるということ。
- ウ 交流館では行事を一つも開催しないということ。
- エ 職員だけが建物を利用できるということ。

（5）二人の図に、清掃や設営をする人も加えたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「役割」「条件」の二語を用い、人が集まる場を運営する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| (1) イ ほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまり。 | (4) ウ 郵便物や貯金などを扱う施設。 |
| (2) ア 病気やけがの診療を行う施設。 | (5) イ 都合がよいように取り計らうこと。 |
| (3) エ 目的のために役割を分けて作られた集まり。 | (6) ア 学校で学習や生活をともにする組。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|-----------|
| (1) 世代 | (8) 福祉 |
| (2) 病院 | (9) 遊具 |
| (3) 組織 | (10) 常設 |
| (4) 郵便局 | (11) 申し込む |
| (5) 便宜 | (12) 開催 |
| (6) 学級 | (13) 逝去 |
| (7) 支援 | (14) 学習塾 |

使い分けを確かめよう：組織は目的と役割を定めた集まり、集団は人や物が集まったまとまりを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 組織は目的と役割を定めた集まり、集団は人や物が集まったまとまりを広く表す。

用例：支援の組織を作る／利用者の集団が集まる

(2) ウ 支援は活動や生活を継続できるよう支えること、援助は困っている人へ具体的な助けを与えることを表しやすい。

用例：学習を継続的に支援する／食料を援助する

(3) ア 開催は会や行事を開いて行うこと、催しは開かれる行事や企画そのものを表す。

用例：講座を開催する／夏の催しに参加する

(4) ウ 報酬は仕事の対価として支払う金品、謝礼は感謝のしるしとして渡す金品や言葉を表す。

用例：講師に報酬を支払う／協力者へ謝礼を渡す

(5) ウ A＝支援、B＝援助。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝報酬、B＝謝礼。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 世界	(11) 主催
(2) 便利	(12) 急逝
(3) 学院	(13) 私塾
(4) 等級	(14) 陪席
(5) 組合	(15) 納棺
(6) 援助	(16) ばいせき
(7) 局面	(17) ひつぎ
(8) 遊園	(18) えんだん
(9) 応酬	(19) いんう
(10) 日常	(20) えつらん

七 文章の中で考えよう

- (1) 福祉 本文中では「福祉」と表されている。
- (2) 閲覧
- (3) エ 長く降り続く雨。
- (4) ア 異なる人が利用できるよう、予約や静けさ、支援員の配置など必要な条件を整えるということ。
- (5) 解答例（46 字）

建物と利用者だけを描いても、異なる活動を同じ場で成り立たせる見えにくい仕事に分からないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

利用者の目的ごとに時間と設備を分け、受付・清掃・相談など支える人の役割も記す。予約や静けさなど必要な条件を明示し、特定の人へ負担が集中しないよう整える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十一回

裁きと統治

命令の内容だけでなく、だれが決め、だれに及んだかを読む。

今日の中心漢字

王 仕 副 犯 戒 囚 帥 鋭

いっしょに覚える漢字

盗	却	刃	排	脅	征
肅	拷	賊	懲	霸	覆

王権・犯罪・懲罰・覇権など制度と力を表す語を確かめたあと、古い命令書を複数の立場から読み直す文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
王	オウ	国を治める人 王・王権・国王・王国	戒	カイ・いましめる	注意して慎む／いましめる 警戒・戒め・戒律・自戒
仕	シ・ジ・つかえる	仕事をする／そばで働く 仕える・仕事・奉仕・仕組み	囚	シュウ・とらわれ る	捕らえられた人 囚人・死囚・虜囚・幽囚
副	フク	主なものに添う 副官・副業・副作用・正副	帥	スイ	軍を率いる人 元帥・統帥・総帥
犯	ハン・おかす	法や規則にそむく 犯罪・犯人・違反・犯す	鋭	エイ・するどい	先がとがる／感覚がすぐれる 鋭い・鋭利・精鋭・鋭敏

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
盗	トウ・ぬすむ	人の物をひそかに取る 盗む・盗難・強盗・窃盗	肅	シュク	静かに引き締める／厳しく取り除く 肅清・厳肅・自肅・肅然
却	キヤク・しりぞく・しりぞける	退ける／反対に 却下・返却・退却・冷却	拷	ゴウ	苦痛を与えて問いただす 拷問・拷訊
刃	ジン・ニン・は	物を切る鋭い部分 刃・刃物・刀刃・白刃	賊	ゾク	害を与える者／盗人 盗賊・海賊・賊軍・賊徒
排	ハイ	外へ押し出す／並べる 排除・排出・排水・排斥	懲	チョウ・こりる・こらす	こらしめる／過ちを戒める 懲罰・懲戒・懲りる・懲役
脅	キョウ・おびやかす・おどす	力でおどす 脅迫・脅威・脅す・威脅	霸	ハ	力で支配する／勝者 霸権・制覇・覇者・連覇
征	セイ	遠くへ討ちに行く／従わせる 征服・遠征・出征・征討	覆	フク・おおう・くつがえす	上からおおう／反対にする 覆す・覆う・転覆・覆面

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「王権」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 司令官などを補佐する役目の人。
- イ 過ちをしないよう注意する教え。
- ウ 王が国を治める権力。
- エ 軍人の最高位、または軍を率いる高位の人。

(2) 「仕える」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 法律に反する行為。
- イ 主君や上位の人のそばで働く。
- ウ 捕らえられ、自由を制限された人。
- エ 刃物などが鋭く、よく切れること。

(3) 「副官」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 司令官などを補佐する役目の人。
- イ 過ちをしないよう注意する教え。
- ウ 軍人の最高位、または軍を率いる高位の人。
- エ 王が国を治める権力。

(4) 「犯罪」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 捕らえられ、自由を制限された人。
- イ 刃物などが鋭く、よく切れること。
- ウ 主君や上位の人のそばで働く。
- エ 法律に反する行為。

(5) 「戒め」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 軍人の最高位、または軍を率いる高位の人。
- イ 王が国を治める権力。
- ウ 過ちをしないよう注意する教え。
- エ 司令官などを補佐する役目の人。

(6) 「囚人」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 刃物などが鋭く、よく切れること。
- イ 捕らえられ、自由を制限された人。
- ウ 主君や上位の人のそばで働く。
- エ 法律に反する行為。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 王権 囚人 刃物 仕える 元帥 排除 副官 鋭利 脅迫 犯罪 盗難 征服 戒め 却下

(1) 即位の儀式は、国王の（ ）を示す役割を持った。
(8) この工具は先端が（ ）なので、慎重に扱う。

(2) 武士は主君に（ ）。
(9) 駅で荷物の（ ）に遭い、警察へ届けた。

(3) 司令官の（ ）が作戦図を運んできた。
(10) 証拠が足りず、申立ては（ ）された。

(4) 防犯灯の設置が地域の（ ）防止につながった。
(11) 調理中の（ ）は、子どもの手が届かない所へ置く。

(5) 失敗を繰り返さないよう、自分への（ ）とする。
(12) 差別につながる条件を募集要項から（ ）した。

(6) 牢の（ ）には外部との連絡が禁じられていた。
(13) 金を払えという（ ）の電話がかかってきた。

(7) 軍の最高位にある（ ）が式典を指揮した。
(14) 帝国は周辺の国々を武力で（ ）した。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「警戒」と「戒め」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 警戒は教えを心に留めること、戒めは危険に備える行動を表す。
- イ どちらも注意することなので、外の危険と自分の行動を区別せず使える。
- ウ 警戒は現在、戒めは過去の出来事にだけ使う。
- エ 警戒は危険に備えて注意すること、戒めは過ちをしないよう心に留める教えを表す。

(2) 「排除」と「却下」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 排除は案を退けること、却下は人や物を外へ出すことを表す。
- イ 排除は人や物を取り除くこと、却下は申し出や案を採用せず退けることを表す。
- ウ どちらも受け入れないことなので、対象と手続の違いはない。
- エ 排除は力を使う場合、却下は理由を示す場合だけに使う。

(3) 「懲罰」と「処罰」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 懲罰は法律上の罰全般、処罰は組織内のこらしめだけを表す。
- イ どちらも罰を与えることなので、根拠となる規律や法を区別する必要はない。
- ウ 懲罰は軽い罰、処罰は重い罰の場合だけに使う。
- エ 懲罰は規律を守らせるためのこらしめ、処罰は法や規則に基づいて罰することを広く表す。

(4) 「征服」と「覇権」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 征服は支配する地位、覇権は相手を従わせる行為を表す。
- イ 征服は相手を武力などで従わせる行為、覇権は他を支配する強い力や地位を表す。
- ウ どちらも支配に関わるため、行為と状態を区別せず使える。
- エ 征服は国土、覇権は海だけを支配する場合に使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「軍の規律違反に（A）を科す」

B「犯罪を法により（B）する」

- ア A＝懲罰／B＝処罰 イ A＝処罰／B＝懲罰
- ウ A＝懲罰／B＝懲罰 エ A＝処罰／B＝処罰

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「盗難を（A）する」 B「記録を後世の（B）とする」

- ア A＝戒め／B＝警戒 イ A＝警戒／B＝戒め
- ウ A＝警戒／B＝警戒 エ A＝戒め／B＝戒め

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| (1) 若いコクオウが、国の改革に着手した。 | (9) 式場にはゲンシュクな空気が流れていた。 |
| (2) 野生動物の出没に備え、住民ヘケイカイを呼びかけた。 | (10) 借りた本は、期限までにヘンキヤクする。 |
| (3) 好きなことをシゴトにするには、努力も要る。 | (11) 月明かりにハクジンが鋭く光った。 |
| (4) 戦いでリョシュウとなった人々の記録が残る。 | (12) 街道を襲ったトウゾクの伝承が残っている。 |
| (5) 本業に支障のない範囲でフクギョウを始めた。 | (13) 工場から出る二酸化炭素のハイシュツを減らした。 |
| (6) 軍隊を指揮する最高の権限をトウスイ権という。 | (14) 気候変動は、暮らしへの大きなキョウイである。 |
| (7) 現場に残った品から、ハンニンを特定した。 | (15) 代表選手は海外試合ヘエンセイした。 |
| (8) 選ばれたセイエイ部隊が、先に山へ入った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 拷問 () | (17) 盗賊 () | (18) 懲罰 () | (19) 覇権 () | (20) 覆す () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

命令の記録を読み直す

資料館で、王が出した古い命令書が展示された。そこには盗難を警戒し、刃物を持つ者を捕らえ、犯罪を厳しく懲罰するとある。命令だけを読めば、秩序を守るための戒めに見えた。

しかし副官の日記には、王に仕える元帥が反对者を「盗賊」と呼び、肅清の名で村から排除したと書かれていた。囚人の訴えは却下され、脅迫や拷問で得た自白も証拠とされたという。

【統治の記録を読む問い】 だれが命令したか／だれに適用されたか／異議を申し立てる道はあったか

命令文の強さだけでなく、誰が誰へ、どの状況で発したかを欄に足した。同じ語調でも、非常時の指示と日常の強制は同じではない。

王権の側は、遠征を征服ではなく「平定」と記した。勝った側の言葉だけを使えば、覇権を広げた行為が正當なものに見える。統治の言葉は、行為の見え方を変える。

命令書には鋭利な刃を禁じるとあるのに、軍の精鋭には所持が許されていた。規則が同じ文で書かれていても、身分によって適用が違えば、平等とは言えない。

別の記録には、村人が連名で訴え、処分を覆した例があった。制度は権力の命令だけで動くのではなく、異議を申し立てる手続によって修正されることもある。

悠人は「昔は残酷だった」と一言でまとめようとした。真央は、現在にも制度から排除される人がいないか問うことが、歴史を戒めとして読むことだと話した。過去を遠ざけるだけでは学びにならない。

裁きの記録を読むときは、罪名と罰だけでなく、決定した人、証拠の集め方、反論の機会を見る。統治は秩序を作る力であると同時に、人の自由を制限する力でもある。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「申し出や案を取り上げず退けること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「オウケン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「覇権」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 他を支配する強い力や地位。

イ 規則に反した者をこらしめる罰。

ウ 人が亡くなったという知らせ。

エ 危険に備えて注意すること。

(4) 勝った側の言葉だけを使うと、どのような問題が起こるか。

ア 命令書の文字が読めなくなる。

イ 王権が実際より弱く見える。

ウ すべての囚人が直ちに解放される。

エ 相手を従わせた行為が正当な統治に見え、支配された側の経験や異議が見えなくなる。

(5) 命令書だけでなく、副官や囚人側の記録も読んだのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「証拠」「手続」の二語を用い、裁きが公正かを考える観点を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) ウ 王が国を治める権力。 | (4) エ 法律に反する行為。 |
| (2) イ 主君や上位の人のそばで働く。 | (5) ウ 過ちをしないよう注意する教え。 |
| (3) ア 司令官などを補佐する役目の人。 | (6) イ 捕らえられ、自由を制限された人。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 王権 | (8) 鋭利 |
| (2) 仕える | (9) 盗難 |
| (3) 副官 | (10) 却下 |
| (4) 犯罪 | (11) 刃物 |
| (5) 戒め | (12) 排除 |
| (6) 囚人 | (13) 脅迫 |
| (7) 元帥 | (14) 征服 |

使い分けを確かめよう：警戒は危険に備えて注意すること、戒めは過ちをしないよう心に留める教えを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 警戒は危険に備えて注意すること、戒めは過ちをしないよう心に留める教えを表す。

用例：盗難を警戒する／記録を後世の戒めとする

(2) イ 排除は人や物を取り除くこと、却下は申し出や案を採用せず退けることを表す。

用例：反对者を排除する／訴えを却下する

(3) エ 懲罰は規律を守らせるためのこらしめ、処罰は法や規則に基づいて罰することを広く表す。

用例：軍の規律違反に懲罰を科す／犯罪を法により処罰する

(4) イ 征服は相手を武力などで従わせる行為、覇権は他を支配する強い力や地位を表す。

用例：隣国を征服する／地域の覇権を争う

(5) ア A＝懲罰、B＝処罰。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝警戒、B＝戒め。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 国王	(11) 白刃
(2) 警戒	(12) 盗賊
(3) 仕事	(13) 排出
(4) 虜囚	(14) 脅威
(5) 副業	(15) 遠征
(6) 統帥	(16) ごうもん
(7) 犯人	(17) とうぞく
(8) 精鋭	(18) ちょうばつ
(9) 厳肅	(19) はけん
(10) 返却	(20) くつがえす

七 文章の中で考えよう

- (1) 却下 本文中では「却下」と表されている。
- (2) 王権
- (3) ア 他を支配する強い力や地位。
- (4) エ 相手を従わせた行為が正当な統治に見え、支配された側の経験や異議が見えなくなる。
- (5) 解答例 (47 字)

同じ統治でも、命令する側と適用される側では見え方が異なり、力の及び方を確かめる必要があるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (79 字)

罪名と罰だけで判断せず、だれがどの方法で証拠を集めたかを確かめる。異議や反論の手続きがあり、身分にかかわらず同じ規則が適用されたか、判断を覆す道があるかも見る。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十二回

生産と流通

値札の数字を、生産・運搬・働く人の条件へつなげる。

今日の中心漢字

利 買 産 畑 賃 銭 賄 賓

いっしょに覚える漢字

助

効

招

困

射

払

培

剰

蓄

廉

舷

商※

生産・賃金・余剰・貯蓄など経済の流れを表す語を確かめたあと、畑の作物が市場へ届くまでの費用と働きを読む文章を読みます。 ※再会漢字：商（第二冊第十六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
利 買 産 畑	リ・きく	役に立つ／もうけ 利益・利用・有利・利息	賃 錢 賄 寶	チン	働きや借用への代金 賃金・家賃・運賃・賃貸
	バイ・かう	代金を払って手に入れる 買う・購買・売買・買収		セン・ゼに	お金／貨幣 金銭・銭・小銭・銭湯
	サン・うむ・うま れる	生み出す／作る 生産・産業・産地・出産		ワイ・まかなう	費用や食事を用意する／不正に贈る 賄う・賄賂・賄い・収賄
	はた・はたけ	作物を育てる土地 畑・畑作・田畑・麦畑		ヒン	大切な客 来賓・国賓・賓客・主賓

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
助 効 招 囲 射 払	ジョ・たすける・ たすかる・すけ	力を貸して支える 助ける・援助・補助・助言	培 剩 蓄 廉 舷 商 ※	バイ・つちかう	育てる／土を寄せる 栽培・培う・培養
	コウ・きく	働きが現れる 効果・効率・有効・効く		ジョウ	必要分より余る 余剰・過剰・剰余
	ショウ・まねく	人を呼ぶ／結果を引き起こす 招く・招待・招致・招集		チク・たくわえる	ためておく 貯蓄・蓄える・備蓄・蓄積
	イ・かこむ・かこ う	周りを取り巻く 囲む・囲い・包囲・範囲		レン	安い／心が清い 廉価・清廉・廉売・廉潔
	シャ・いる	矢や光を放つ 日射・放射・射る・注射		ゲン・ふなばた	船の側面 舷・舷側・右舷・左舷
	フツ・はらう	外へ除く／代金を渡す 払う・支払う・前払い・振り払う		ショウ・あきなう	再会：品物を売り買いする 商売・商店・商品・商業

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「利益」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活に必要な物や価値を作り出すこと。
- イ 働いたことに対して支払われる金銭。
- ウ 必要な費用や物を用意して足りるようにする。
- エ 収入から費用を引いた後に残るもうけ。

(2) 「購買」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 畑で作物を育てる農業。
- イ お金や貨幣。
- ウ 代金を払って品物を買入れること。
- エ 式や会に招かれた大切な客。

(3) 「生産」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 働いたことに対して支払われる金銭。
- イ 生活に必要な物や価値を作り出すこと。
- ウ 必要な費用や物を用意して足りるようにする。
- エ 収入から費用を引いた後に残るもうけ。

(4) 「畑作」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 畑で作物を育てる農業。
- イ お金や貨幣。
- ウ 式や会に招かれた大切な客。
- エ 代金を払って品物を買入れること。

(5) 「賃金」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 必要な費用や物を用意して足りるようにする。
- イ 収入から費用を引いた後に残るもうけ。
- ウ 生活に必要な物や価値を作り出すこと。
- エ 働いたことに対して支払われる金銭。

(6) 「金銭」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 式や会に招かれた大切な客。
- イ 代金を払って品物を買入れること。
- ウ お金や貨幣。
- エ 畑で作物を育てる農業。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 利益 金銭 招待 購買 賄う 囲い 生産 来賓 日射 畑作 補助 支払う 賃金 効率

(1) 売価から費用を引き、最終的な（ ）を計算した。

(8) 式典の（ ）を入口で丁寧に迎えた。

(2) 消費者の（ ）行動をアンケートで調べた。

(9) 国の（ ）を受けて、古い校舎を修理した。

(3) 工場では注文に合わせて部品を（ ）する。

(10) 作業の（ ）を上げるため、道具の配置を変えた。

(4) 水の少ない土地では、麦を育てる（ ）が広がった。

(11) 恩師を卒業式へ（ ）した。

(5) 働いた時間に応じて（ ）が支払われる。

(12) 畑の周りに鹿よけの（ ）を設けた。

(6) 多額の（ ）を持ち歩かず、必要な分だけ用意した。

(13) 強い（ ）を避け、苗を日陰へ移した。

(7) 会費で会場費と印刷費を（ ）。

(14) 代金は商品を受け取った後に（ ）。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「生産」と「栽培」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 生産は植物を育てること、栽培は物やサービスを作ること全般を表す。
- イ どちらも作り出すことなので、対象や方法を区別せず使える。
- ウ 生産は物や価値を作り出すこと全般、栽培は植物を育てて収穫することを表す。
- エ 生産は工場、栽培は家庭菜園で行う場合だけに使う。

(2) 「賃金」と「報酬」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 賃金は雇用されて働いた対価、報酬は仕事や成果への対価を広く表す。
- イ 賃金は仕事や成果への対価全般、報酬は雇用された労働への支払いを表す。
- ウ どちらも働きへの支払いなので、契約や働き方の違いはない。
- エ 賃金は毎月、報酬は一回だけ支払う場合に使う。

(3) 「余剰」と「貯蓄」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 余剰は将来のためにためた物、貯蓄は偶然余った物を表す。
- イ どちらも残った物なので、意図してためたかどうかの違いはない。
- ウ 余剰は必要分を超えて余ったもの、貯蓄は将来のため意図して金銭などをためることを表す。
- エ 余剰は品物、貯蓄は現金だけを指す。

(4) 「賄う」と「支払う」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 賄うは必要な費用や物を用意して足りるようにすること、支払うは代金を相手へ渡すことを表す。
- イ 賄うは代金を相手へ渡すこと、支払うは必要な物を全体として用意することを表す。
- ウ どちらも費用を出すので、必要額を満たすことと送金する行為に違いはない。
- エ 賄うは現金、支払うは品物で費用を渡す場合だけに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「売上げで運賃を（A）」 B「作業員へ賃金を（B）」

- ア A=支払う／B=賄う イ A=賄う／B=賄う
- ウ A=賄う／B=支払う エ A=支払う／B=支払う

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「作業員へ（A）を払う」 B「講演の（B）を受け取る」

- ア A=報酬／B=賃金 イ A=賃金／B=賃金
- ウ A=報酬／B=報酬 エ A=賃金／B=報酬

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| (1) 空き教室を地域の集会にリヨウした。 | (9) 先輩のジョゲンを受け、発表の構成を変えた。 |
| (2) 毎月のヤチンを、決められた日までに支払う。 | (10) 温度を一定に保ち、細胞をバイヨウした。 |
| (3) 土地のバイバイには、正式な契約が必要だ。 | (11) 新しい制度のコウカを、数値で検証した。 |
| (4) 自動販売機に使うコゼニを用意した。 | (12) 国際大会を町ヘショウチする運動が始まった。 |
| (5) 町の主要なサンギョウは、漁業と観光である。 | (13) 軍は城をホウイし、補給路を断った。 |
| (6) 便宜を図ってワイロを受け取れば、公正さが失われる。 | (14) 医療では、放射線を利用するハウシャ線治療もある。 |
| (7) 川沿いのタハタで、米や野菜を育てている。 | (15) 発電した電力のヨジョウ分を、別の地域へ送った。 |
| (8) 外国のコクヒンを、儀礼に沿って迎えた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 余剰 () | (17) 貯蓄 () | (18) 廉価 () | (19) 舷側 () | (20) 商売 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

値札の向こう側

町の畑で栽培した豆を、港の市場で販売する計画が始まった。値札には一袋三百円とあるが、その金額だけでは生産に関わった働きは見えない。悠人と真央は、商売の流れを図にした。

畑作では、種、囲い、水、日射を調整する。収穫後は袋へ詰め、舷側から船へ積み、港まで運ぶ。生産量を増やしても、運搬や保存が追いつかなければ余剰が腐ってしまう。

値札の数字へ、仕入れ、運搬、保存、販売の札を重ねた。価格は一つの数字でも、その背後には複数の人の時間と判断が折り重なっている。

市場は廉価で売ることが目標にしたが、価格を下げすぎれば賃金を支払えない。

【一袋の費用】種と道具／作業時間と賃金／包装／運賃／売れ残りへの備え

補助金で一時的に費用を賄っても、毎年続くとは限らない。安さと継続の条件を一緒に考える必要がある。

売上げはすべて利益ではない。購買した資材の金銭、船の運賃、作業員への支払いを引いた残りが利益になる。その一部を貯蓄し、天候不良の年に備える計画を立てた。

開場式には来賓を招待する費用も計上されていた。

真央は、宣伝には効果があるが、生産者の賃金より優先する理由を説明できるかと尋ねた。効率は支出を減らすことだけではなく、目的に合う成果を見る考えである。

港での販売が始まると、売れ残りを学校給食へ回す案が出た。ただ渡すのではなく、必要量や保存条件を確かめる。余剰を生かすことと、受け手へ負担を移すことは同じではない。

値札の向こうには、育てる人、運ぶ人、売る人の時間と費用がある。

価格を読むとは、高いか安いだけを決めることではない。生産から流通までの働きと、利益がどこへ戻るかを見ることなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「必要な分を超えて余ったもの」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「チンギン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「廉価」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 収入から費用を引いた後に残るもうけ。

イ 値段が比較的安いこと。

ウ 将来のために金銭などをためること。

エ 太陽から地表へ届く光や熱。

(4) 生産量を増やすだけでは、商売が発展するとは限らないのはなぜか。

ア 作物は市場で売ることが禁じられているから。

イ 利益は売上げと必ず同じ額になるから。

ウ 運搬や保存、賃金の仕組みが追いつかなければ、余剰や負担が生まれ継続できないから。

エ 廉価な商品には運賃がかからないから。

(5) 二人が一袋の値段を費用ごとに分けて考えたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「価格」「継続」の二語を用い、地域の商売を成り立たせる条件を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| (1) エ 収入から費用を引いた後に残るもうけ。 | (4) ア 畑で作物を育てる農業。 |
| (2) ウ 代金を払って品物を買入れること。 | (5) エ 働いたことに対して支払われる金銭。 |
| (3) イ 生活に必要な物や価値を作り出すこと。 | (6) ウ お金や貨幣。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 利益 | (8) 来賓 |
| (2) 購買 | (9) 補助 |
| (3) 生産 | (10) 効率 |
| (4) 畑作 | (11) 招待 |
| (5) 賃金 | (12) 囲い |
| (6) 金銭 | (13) 日射 |
| (7) 賄う | (14) 支払う |

使い分けを確かめよう：生産は物や価値を作り出すこと全般、栽培は植物を育てて収穫することを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 生産は物や価値を作り出すこと全般、栽培は植物を育てて収穫することを表す。

用例：食品を生産する／畑で豆を栽培する

(2) ア 賃金は雇用されて働いた対価、報酬は仕事や成果への対価を広く表す。

用例：作業員へ賃金を払う／講演の報酬を受け取る

(3) ウ 余剰は必要分を超えて余ったもの、貯蓄は将来のため意図して金銭などをためることを表す。

用例：収穫の余剰を分ける／利益の一部を貯蓄する

(4) ア 賄うは必要な費用や物を用意して足りるようにすること、支払うは代金を相手へ渡すことを表す。

用例：売上げで運賃を賄う／作業員へ賃金を支払う

(5) ウ A=賄う、B=支払う。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A=賃金、B=報酬。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 利用	(11) 効果
(2) 家賃	(12) 招致
(3) 売買	(13) 包囲
(4) 小銭	(14) 放射
(5) 産業	(15) 余剰
(6) 賄賂	(16) よじょう
(7) 田畑	(17) ちょちく
(8) 国賓	(18) れんか
(9) 助言	(19) げんそく
(10) 培養	(20) しょうばい

七 文章の中で考えよう

- (1) 余剰 本文中では「余剰」と表されている。
- (2) 賃金
- (3) イ 値段が比較的安いこと。
- (4) ウ 運搬や保存、賃金の仕組みが追いつかなければ、余剰や負担が生まれ継続できないから。
- (5) 解答例（46 字）

値札だけでは、生産・運搬に必要な働きや賃金と、売上げから実際に残る利益の違いが見えないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（72 字）

価格を安さだけで決めず、資材・運搬・保存の費用と働く人の賃金を含める。売れ残りへの備えと利益の使い道も示し、生産から販売まで継続できる形にする。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十三回

水・熱・気象

空模様の印象と、測った水位・温度・時刻を分けて記す。

今日の中心漢字

天 火 光 氷 温 氾 雰 滑

いっしょに覚える漢字

夕	陽	汽	泊	鮮	芳
咲	汰	澄	斑	漆	瀬

気温・氾濫・汽水・浅瀬など水と気象を表す語を確かめたあと、川辺の観測から天候と水の変化を読む文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
天 火 光 氷	テン・あめ・あま	空／自然の大きな働き 天・天候・天気・天然	温 氾 雰 滑	オン・あたたかい・あたためる	あたたかさ／温度 気温・水温・温度・保温
	カ・ひ・ほ	燃えて熱や光を出す 火・火災・花火・火力		ハン	水が広がりあふれる 氾濫・氾濫原
	コウ・ひかる・ひかり	明るく見せるもの 光・日光・光線・観光		フン	周りを包む気配 雰囲気・雰囲
	ヒョウ・こおり・ひ	水が凍ったもの 氷・氷点・氷河・結氷		カツ・コツ・すべる・なめらか	なめらかに動く／すべる 滑る・滑走・円滑・滑落

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
夕 陽 汽 泊 鮮 芳	セキ・ゆう	日が沈むころ 夕方・夕日・夕立・一タ	咲 汰 澄 斑 漆 瀬	さく	花が開く 咲く・開花・咲き誇る
	ヨウ・ひ	太陽／明るい側 太陽・陽光・陽気・陰陽		タ	悪いものを除き選ぶ 淘汰・沙汰
	キ	水蒸気／水に関わる乗り物 汽水・汽船・汽笛・汽車		チョウ・すむ・すます	濁りがなくなる 澄む・清澄・澄明
	ハク・とまる・とめる	夜を過ごす／船がとまる 宿泊・停泊・外泊・泊地		ハン・まだら	色の違う点や模様 斑点・斑紋・まだら
	セン・あざやか	新しい／色がはっきりする 鮮明・新鮮・鮮やか・生鮮		シツ・うるし	うるしの木の液／黒く深い色 漆・漆器・漆黑・乾漆
	ハウ・かんばしい	よい香り／評判がよい 芳香・芳しい・芳名		ライ・せ	川の浅く流れの速い所 浅瀬・早瀬・瀬戸・川瀬

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「天候」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 晴雨・風・気温など大気の状態。
- イ 太陽から届く光。
- ウ 大気の種類。
- エ その場を包む感じや気分。

(2) 「火災」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水が凍る温度の基準となる点。
- イ 川などの水があふれて広がること。
- ウ 表面の上を止まらず動く、または足を取られる。
- エ 火によって建物や物が焼ける災害。

(3) 「日光」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 大気の種類。
- イ その場を包む感じや気分。
- ウ 太陽から届く光。
- エ 晴雨・風・気温など大気の状態。

(4) 「氷点」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 川などの水があふれて広がること。
- イ 水が凍る温度の基準となる点。
- ウ 表面の上を止まらず動く、または足を取られる。
- エ 火によって建物や物が焼ける災害。

(5) 「気温」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 大気の種類。
- イ その場を包む感じや気分。
- ウ 晴雨・風・気温など大気の状態。
- エ 太陽から届く光。

(6) 「氾濫」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 表面の上を止まらず動く、または足を取られる。
- イ 火によって建物や物が焼ける災害。
- ウ 水が凍る温度の基準となる点。
- エ 川などの水があふれて広がること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 天候 氾濫 汽水 火災 雰囲気 宿泊 日光 滑る 鮮明 氷点 夕立 芳香 気温 太陽

(1) 山の（ ）が変わりやすいため、雨具を持参した。

(8) 凍った道では足が（ ）こともある。

(2) 台所の（ ）に気づき、すぐ消火器を使った。

(9) 急な（ ）に遭い、軒下で雨宿りした。

(3) 植物を育てるには、適度な（ ）が必要だ。

(10) 雲の切れ間から（ ）が顔を出した。

(4) 水は0度で（ ）に達する。

(11) 河口では海水と淡水が混じる（ ）が見られる。

(5) 午前と午後の（ ）の差が大きい。

(12) 古民家に（ ）し、地域の暮らしを体験した。

(6) 大雨で川が（ ）し、周辺の道路が冠水した。

(13) 雨上がりの山並みが（ ）に見えた。

(7) 木の香りが、部屋を落ち着いた（ ）にしている。

(14) 庭の花から甘い（ ）が漂ってきた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「気温」と「体感温度」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 気温は人が感じる暑さ、体感温度は温度計で測る大気の色を表す。
- イ 気温は大気を測った温度、体感温度は風や湿度などを含め人が感じる暑さ寒さを表す。
- ウ どちらも暑さ寒さを表すので、測定値と感じ方を区別せず使える。
- エ 気温は屋外、体感温度は屋内でだけ用いる。

(2) 「氾濫」と「浸水」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 氾濫は建物へ水が入ること、浸水は川から水があふれることを表す。
- イ どちらも水害なので、水の動きと被害の場所を区別する必要はない。
- ウ 氾濫は大雨、浸水は津波で起きる場合だけに使う。
- エ 氾濫は川などの水があふれ広がること、浸水は建物や土地に水が入り込むことを表す。

(3) 「汽水」と「淡水」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 汽水は塩分を含まない水、淡水は海水と川の水が混じった水を表す。
- イ 汽水は海水と淡水が混じった水、淡水は塩分をほとんど含まない水を表す。
- ウ どちらも川で見られる水なので、塩分の違いなく使える。
- エ 汽水は濁った水、淡水は澄んだ水だけを指す。

(4) 「澄む」と「透明」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 澄むは物の性質、透明は濁りが消える変化を表す。
- イ どちらも見通せることなので、変化と性質を区別せず使える。
- ウ 澄むは水、透明はガラスにだけ使う。
- エ 澄むは濁りがなくなる変化や状態、透明は向こう側が透けて見える性質を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を温度計で測る」 B「風で(B)が下がる」

- ア A=気温/B=体感温度 イ A=体感温度/B=気温
- ウ A=気温/B=気温 エ A=体感温度/B=体感温度

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「河口の(A)を調べる」 B「川上の(B)を採る」

- ア A=淡水/B=汽水 イ A=汽水/B=淡水
- ウ A=汽水/B=汽水 エ A=淡水/B=淡水

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| (1) 明日のテンキを確かめ、傘を用意した。 | (9) 島を結ぶキセンが、一日に二便出ている。 |
| (2) 湖のスイオンを測り、生き物への影響を調べた。 | (10) 大型船が沖合にテイハクしている。 |
| (3) 夏祭りの夜、川辺でハナビが上がった。 | (11) 市場には、朝とれたシンセンな魚が並んだ。 |
| (4) 窓から入る強いコウセンを、厚い幕で遮った。 | (12) 受付の名簿に、ごホウメイをお書きください。 |
| (5) 山岳地帯のヒョウガが、長い年月で谷を削る。 | (13) 環境に適応できない性質は、長い時間の中でトウタされる。 |
| (6) 飛行機は滑走路をカッソウして離陸した。 | (14) 意識がチョウメイで、質問にもはっきり答えた。 |
| (7) ユウガタになると、港へ漁船が戻ってくる。 | (15) 葉のハンテンを観察し、病気かどうか調べた。 |
| (8) 木漏れ日のヨウコウが、林の道を照らした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 淘汰 () | (17) 澄む () | (18) 斑点 () | (19) 漆黒 () | (20) 浅瀬 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

天気を一語で終わらせない

川辺の観察会の日、朝は日光が強く、午後には夕立が来た。参加者は「急に天候が悪くなった」と言ったが、悠人と真央は、気温、雲、水位、時刻に分けて変化を記録した。

【観測票】時刻／気温と水温／水位／風／見えた現象／測定した場所

雨の前、太陽の周りに薄い雲が広がり、空の一部は漆黒に見えた。花の芳香が強く、葉には斑点もあった。しかし、場の雰囲気や色の印象だけで雨量は測れない。真央は「晴れ」「雨」だけの欄を消し、気温、風、光、水の動きを別々に記した。天気を一語にまとめる前に、観察したものを残すためである。

夕立のあと、浅瀬の石は滑りやすくなり、水位が急に上がった。まだ氾濫していなくても、上流の雨が続けば危険になる。宿泊観察は中止し、火災用とは別の避難経路を確かめた。河口では海水と淡水が混じる汽水を採り、上流の水と比べた。見た目が澄んでいても、塩分や温度は同じではない。氷点を基準に温度計を確認し、測定器のずれも記した。

岸には雨の後に咲く花があり、昆虫の種類も変わっていた。環境の長い変化の中では、条件に合わない生物が淘汰されることもある。ただし、一日の観察だけでその原因を決めることはできない。

写真は鮮明だったが、撮影した場所が違えば水位の比較には使いにくい。二人は同じ標識を入れて撮り、時刻を添えた。見やすい写真と、比べられる記録は同じではない。

天気を「よい」「悪い」と一語で終わらせず、測った値と見た現象へ分ける。そうすれば、川がどの条件で増水し、どの浅瀬が危険になるかを次の人も確かめられる。観測は印象を消すのではなく、共有できる形にする仕事である。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「海水と淡水が混じった水」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ハンラン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「鮮明」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 夏の夕方などに急に降る強い雨。

イ 川や海で水深の浅い所。

ウ 色や形、内容がはっきりしていること。

エ 濁りがなくなり、清らかになること。

(4) 鮮明な写真でも、水位の比較に使いにくい場合があるのはなぜか。

ア 鮮明な写真には時刻を書けないから。

イ 撮影場所や基準となる物が違うと、水面の高さの変化を同じ条件で比べられないから。

ウ 水位は写真には一切写らないから。

エ 雨の日はカメラを使ってはいけないから。

(5) 観測で、場の雰囲気と測った値を分けて記したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「時刻」「場所」の二語を用い、川の変化を比較できる記録の作り方を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) ア 晴雨・風・気温など大気の状態。 | (4) イ 水が凍る温度の基準となる点。 |
| (2) エ 火によって建物や物が焼ける災害。 | (5) ア 大気の種類。 |
| (3) ウ 太陽から届く光。 | (6) エ 川などの水があふれて広がること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 天候 | (8) 滑る |
| (2) 火災 | (9) 夕立 |
| (3) 日光 | (10) 太陽 |
| (4) 氷点 | (11) 汽水 |
| (5) 気温 | (12) 宿泊 |
| (6) 氾濫 | (13) 鮮明 |
| (7) 雰囲気 | (14) 芳香 |

使い分けを確かめよう：気温は大気を測った温度、体感温度は風や湿度などを含め人が感じる暑さ寒さを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 気温は大気を測った温度、体感温度は風や湿度などを含め人が感じる暑さ寒さを表す。

用例：気温を温度計で測る／風で体感温度が下がる

(2) エ 氾濫は川などの水があふれ広がること、浸水は建物や土地に水が入り込むことを表す。

用例：川が氾濫する／床下まで浸水する

(3) イ 汽水は海水と淡水が混じった水、淡水は塩分をほとんど含まない水を表す。

用例：河口の汽水を調べる／川上の淡水を採る

(4) エ 澄むは濁りがなくなる変化や状態、透明は向こう側が透けて見える性質を表す。

用例：雨のあと水が澄む／透明な容器に入れる

(5) ア A＝気温、B＝体感温度。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝汽水、B＝淡水。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 天気	(11) 新鮮
(2) 水温	(12) 芳名
(3) 花火	(13) 淘汰
(4) 光線	(14) 澄明
(5) 氷河	(15) 斑点
(6) 滑走	(16) とうた
(7) 夕方	(17) すむ
(8) 陽光	(18) はんてん
(9) 汽船	(19) しっこく
(10) 停泊	(20) あさせ

七 文章の中で考えよう

- (1) 汽水 本文中では「汽水」と表されている。
- (2) 氾濫
- (3) ウ 色や形、内容がはっきりしていること。
- (4) イ 撮影場所や基準となる物が違うと、水面の高さの変化を同じ条件で比べられないから。
- (5) 解答例（48 字）

空の暗さや暑さの印象だけでは変化を比べられず、気温や水位の変化を次の人と正確に共有できないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（71 字）

気温・水温・水位を測り、必ず時刻と場所を添える。写真には同じ標識を入れ、見た現象と測定値を分けて記せば、天候が違う日とも同じ条件で比較できる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十四回

育つ・飼う・実る

生き物を一つずつ見ず、光・水・土・他の生物との関係を見る。

今日の中心漢字

犬 竹 林 牛 羊 鹿 猫 獣

いっしょに覚える漢字

牧	茨	杉	柳	牲	柿
菌	桃	蛇	蚕	穂	萎

竹・林・牧・菌・穂など生き物と生育を表す語を確かめたあと、共同農園で育つ条件を比べる文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
犬	ケン・いぬ	人と暮らす動物 犬・番犬・愛犬・野犬	羊	ヨウ・ひつじ	毛や乳を得るため飼う動物 羊・羊毛・牧羊・子羊
竹	チク・たけ	節のある常緑の植物 竹・竹林・竹材・竹細工	鹿	ロク・しか・か	角をもつ草食動物 鹿・子鹿・鹿苑・鹿革
林	リン・はやし	木がまとまって生える所 林・森林・林業・林立	猫	ビョウ・ねこ	人と暮らす小型の動物 猫・子猫・愛猫・野良猫
牛	ギウ・うし	家畜として飼われる大きな動物 牛・牛舎・牛乳・和牛	獣	ジュウ・けもの	毛のある野生動物 野獣・鳥獣・獣医・猛獣

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
牧	ボク・まき	家畜を飼う 牧場・放牧・牧草・牧畜	菌	キン	きのこ・細菌などの仲間 菌類・細菌・殺菌・菌糸
茨	いばら	とげのある低木／困難 茨・茨城・茨の道	桃	トウ・もも	春に花が咲く果樹 桃・白桃・桃色・桃源
杉	サン・すぎ	まっすぐ高く育つ常緑樹 杉・杉林・杉材・杉戸	蛇	ジャ・ダ・へび	細長い体で足のない動物 蛇・大蛇・蛇行・毒蛇
柳	リュウ・やなぎ	枝が細く垂れる木 柳・柳並木・川柳	蛮	バン	文化が異なる／荒々しい 野蛮・南蛮・蛮行
牲	セイ	神に供える生き物／犠牲 犠牲・牲畜	穂	スイ・ほ	稲や麦の実がつく先 穂・稻穂・穂先・出穂
柿	シ・かき	秋に実る果樹 柿・干し柿・柿色	萎	イ・なえる・しお れる	元気を失いしぼむ 萎れる・萎縮・萎える

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「番犬」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 広い範囲に木々が生えている所。
- イ 家や場所を守るために飼う犬。
- ウ 羊を飼い育てること。
- エ 生まれて間もない猫。

(2) 「竹林」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 竹がまとまって生えている林。
- イ 牛を飼う建物。
- ウ 生まれてから間もない鹿。
- エ 鳥とけもの。

(3) 「森林」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 羊を飼い育てること。
- イ 生まれて間もない猫。
- ウ 家や場所を守るために飼う犬。
- エ 広い範囲に木々が生えている所。

(4) 「牛舎」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生まれてから間もない鹿。
- イ 鳥とけもの。
- ウ 牛を飼う建物。
- エ 竹がまとまって生えている林。

(5) 「牧羊」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生まれて間もない猫。
- イ 羊を飼い育てること。
- ウ 家や場所を守るために飼う犬。
- エ 広い範囲に木々が生えている所。

(6) 「子鹿」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生まれてから間もない鹿。
- イ 鳥とけもの。
- ウ 竹がまとまって生えている林。
- エ 牛を飼う建物。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 番犬 子鹿 杉林 竹林 子猫 柳 森林 鳥獣 犠牲 牛舎 放牧 干し柿 牧羊 茨

(1) 夜になると () が倉庫の周りを警戒する。 (8) 禁猟区では () の捕獲が禁じられている。

(2) 風が吹くと () の葉がさらさらと鳴る。 (9) 夏の間、牛を高原で () する。

(3) 広い () が雨水を蓄え、洪水を和らげる。 (10) 道端の () に服を引っ掛けた。

(4) 朝、 () から牛の鳴き声が聞こえた。 (11) 山の斜面に () がまっすぐ伸びている。

(5) 丘では犬を使った () が行われていた。 (12) 川辺の () が細い枝を風になびかせている。

(6) 森の中で、生まれたばかりの () を見かけた。 (13) 工事の安全を優先し、一部の計画を () にした。

(7) 道端で迷っていた () を保護した。 (14) 軒先に甘い () がつるされている。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「飼育」と「栽培」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 飼育は動物に食物や環境を与えて育てること、栽培は植物を育てて収穫することを表す。
- イ 飼育は植物を育てること、栽培は動物を育てることを表す。
- ウ どちらも生き物を育てるので、動物と植物の違いなく使える。
- エ 飼育は屋内、栽培は屋外で行う場合だけに使う。

(2) 「林」と「森」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 林は密生する広い場所、森は小規模な木の集まりを表す。
- イ どちらも木の集まりなので、広さや茂り方に違いはない。
- ウ 林は木がまとまって生える所、森は木々がより密に茂る広い場所を表しやすい。
- エ 林は人工、森は自然にできた場所だけを指す。

(3) 「家畜」と「野獣」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 家畜は人が生活に役立てるため飼う動物、野獣は野生で暮らすけものを表す。
- イ 家畜は野生で暮らす動物、野獣は人が飼う動物を表す。
- ウ どちらも人以外の動物なので、人との関係を区別せず使える。
- エ 家畜はおとなしい動物、野獣は人を襲う動物だけを指す。

(4) 「萎れる」と「枯れる」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 萎れるは生命を失うこと、枯れるは一時的にしおれることを表す。
- イ どちらも植物の元気がない様子なので、回復の可能性を区別する必要はない。
- ウ 萎れるは水分不足などで一時的に元気を失うこと、枯れるは植物が生きる力を失うことを表す。
- エ 萎れるは葉、枯れるは幹にだけ起こる変化である。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「竹の（A）を手入れする」 B「深い（B）に入る」

- ア A=森／B=林 イ A=林／B=林
- ウ A=林／B=森 エ A=森／B=森

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「暑さで葉が（A）」 B「病気で枝が（B）」

- ア A=枯れる／B=萎れる イ A=萎れる／B=萎れる
- ウ A=枯れる／B=枯れる エ A=萎れる／B=枯れる

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| (1) 毎朝、アイケンと川沿いを散歩する。 | (9) 手を洗って、食中毒を起こすサイキンを落とす。 |
| (2) 刈り取ったヨウモウを洗い、糸にした。 | (10) 日常の小さな発見を、短いセンリュウにした。 |
| (3) 職人が細い竹を編み、タケザイクの籠を作った。 | (11) 夕焼けの空は、熟した実のようなカキイロだった。 |
| (4) 山を守りながら木材を得るリングョウを考えた。 | (12) 冷やしたハクトウを切り分け、皆で味わった。 |
| (5) 公園のベンチでノラネコが眠っていた。 | (13) 村を守ったダイジャの伝説が語り継がれている。 |
| (6) 朝食にギュウニユウを一杯飲んだ。 | (14) 異なる文化をヤバンと決めつけてはいけない。 |
| (7) 物語の主人公は森のヤジュウと向き合った。 | (15) 筆のホサキを整え、細い線を書いた。 |
| (8) 広いボクジョウで、牛が草を食べている。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| (16) 白桃 () | (17) 毒蛇 () | (18) 野蛮 () | (19) 稲穂 () | (20) 萎れる () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

育つ条件を比べる

共同農園では、柿と白桃、竹林、杉林を同じ「植物」の欄で管理していた。だが、必要な光や水、剪定の時期は違う。真央は、育つ条件を種類ごとに分けて記録することにした。

牛舎の牛と牧羊の羊は、決めた区画で放牧する。番犬は畑を守り、子猫は倉庫へ入るネズミを追うこともある。人が飼育する動物でも、役割と必要な環境は同じではない。

同じ苗でも、土、水、日当たりが違えば育ち方は変わる。二人は生き物の名前より先に、置かれていた条件をカードへ書いた。

畑の稲穂が萎れたとき、悠人は水だけを増やそうとした。土を調べると、菌類の働きと肥料の量にも違いがあった。見える症状が同じでも、原因は一つとは限らない。

柳の根元には蛇が、茨の奥には鹿の足跡があった。

【生育の記録】光／水／土／食物／周りの生物／人が加えた手入れ

鳥獣を「野蠻で害になる」と決めつければ、その生き物が何を食べ、どんな役割をもつかを見失う。人の都合と生態の働きを分けて見る必要がある。

一方、鹿が若木を食べ、桃の収穫が減ることも事実だった。どちらかを犠牲にして終えるのではなく、囲いの高さや通り道を変え、被害と生息を両方記録した。

森林の手入れでは、木を切らないことが必ずよいとは限らない。日光が届かず下草が減れば、別の生き物も減る。切る量と時期を少しずつ変え、翌年の芽生えを比べた。

生き物を育てるとは、一つへ水や餌を与えるだけではない。土、光、他の生物、人の働きかけが結ぶ関係を見ることで、何が成長を支え、何が回復を妨げたかを確かめられる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「家畜を野外に放して飼うこと」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「キンルイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「稲穂」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 鳥とけもの。

イ とげのある低い木の総称。

ウ 家や場所を守るために飼う犬。

エ 稲の実が集まってつく部分。

(4) 稲穂が萎れたとき、水だけを増やさなかったのはなぜか。

ア 同じ萎れでも、土の状態や菌類、肥料など水以外の条件が原因となることがあるから。

イ 稲には水を与えてはいけないから。

ウ 萎れた植物は必ず枯れて回復しないから。

エ 共同農園には水が一滴もなかったから。

(5) 鳥獣を「野蠻で害になる」と決めつけなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「条件」「関係」の二語を用い、生き物の成長を調べる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (1) イ 家や場所を守るために飼う犬。 | (4) ウ 牛を飼う建物。 |
| (2) ア 竹がまとまって生えている林。 | (5) イ 羊を飼い育てること。 |
| (3) エ 広い範囲に木々が生えている所。 | (6) ア 生まれてから間もない鹿。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 番犬 | (8) 鳥獣 |
| (2) 竹林 | (9) 放牧 |
| (3) 森林 | (10) 茨 |
| (4) 牛舎 | (11) 杉林 |
| (5) 牧羊 | (12) 柳 |
| (6) 子鹿 | (13) 犠牲 |
| (7) 子猫 | (14) 干し柿 |

使い分けを確かめよう：飼育は動物に食物や環境を与えて育てること、栽培は植物を育てて収穫することを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 飼育は動物に食物や環境を与えて育てること、栽培は植物を育てて収穫することを表す。

用例：羊を飼育する／桃を栽培する

(2) ウ 林は木がまとまって生える所、森は木々がより密に茂る広い場所を表しやすい。

用例：竹の林を手入れする／深い森に入る

(3) ア 家畜は人が生活に役立てるため飼う動物、野獣は野生で暮らすけものを表す。

用例：家畜へ飼料を与える／山の野獣を観察する

(4) ウ 萎れるは水分不足などで一時的に元気を失うこと、枯れるは植物が生きる力を失うことを表す。

用例：暑さで葉が萎れる／病気で枝が枯れる

(5) ウ A＝林、B＝森。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝萎れる、B＝枯れる。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 愛犬	(11) 柿色
(2) 羊毛	(12) 白桃
(3) 竹細工	(13) 大蛇
(4) 林業	(14) 野蜜
(5) 野良猫	(15) 穂先
(6) 牛乳	(16) はくとう
(7) 野獣	(17) どくへび
(8) 牧場	(18) やばん
(9) 細菌	(19) いなほ
(10) 川柳	(20) しおれる

七 文章の中で考えよう

- (1) 放牧 本文中では「放牧」と表されている。
- (2) 菌類
- (3) エ 稲の実が集まってつく部分。
- (4) ア 同じ萎れでも、土の状態や菌類、肥料など水以外の条件が原因となることがあるから。
- (5) 解答例（49 字）

人に被害を与える面だけでなく、何を食べ、生態の中でどのような役割をもつかも確かめる必要があるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

光・水・土・食物などの条件を種類ごとに記録し、人の手入れも区別する。周りの生物との関係を比べ、同じ症状でも原因を一つに決めず、変化を続けて確かめる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十五回

繊維と金属

色や形の前に、素材の性質と加工の工程を確かめる。

今日の中心漢字

赤 青 物 白 針 姿 維 釜

いっしょに覚える漢字

縄	鉍	環	孔	朱	陶
紫	紺	鍛	填	鍊	質※

繊維・鉍石・鍛造・充填など素材と加工を表す語を確かめたあと、工場の染色と金属加工を工程図にする文章を読みます。 ※再会漢字：質（第二冊第十八回）

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
赤 青 物 白	セキ・シャク・あ か・あかい	あかい色 赤・赤色・赤銅・赤字	針 姿 維 釜	シン・はり	先のとがった細い道具 針・針金・方針・秒針
	セイ・ショウ・あ お・あおい	あおい色／若い 青・青色・青銅・青年		シ・すがた	外に見える形や様子 姿・姿勢・容姿・姿見
	ブツ・モツ・もの	形のあるもの／事柄 物・物質・物体・品物		イ	つながり保つ／細い糸 繊維・維持・維新
	ハク・ピヤク・し ろ・しら・しろい	しろい色／明らか 白・白色・空白・明白		フ・かま	煮炊きに使う器 釜・釜飯・大釜・製鉄釜

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
縄 鉞 環 孔 朱 陶	ジョウ・なわ	植物の繊維などをより合わせたひも 縄・縄文・縄張り・綱縄	紫 紺 鍛 埴 錬 質 ※	シ・むらさき	赤と青の間の色 紫・紫色・紫外線
	コウ	地中から得る有用な石 鉞石・鉞山・鉞物・採鉞		コン	深い青色 紺・紺色・濃紺・紺青
	カン・わ	輪／めぐるつながり 循環・環境・環状・一環		タン・きたえる	打って金属を強くする／能力を磨く 鍛造・鍛える・鍛錬
	コウ・あな	突き抜けた穴 孔・気孔・孔版・瞳孔		テン・うずめる・ ふさぐ	穴や不足を満たす 充填・装填・填補
	シュ・あけ	赤みの強い色 朱色・朱肉・朱筆・朱塗り		レン	金属を精製する／技を磨く 精錬・鍛錬・錬金・錬成
	トウ	土を焼いて器を作る 陶器・陶芸・陶土・陶酔		シツ・シチ・チ	再会：中身／性質／問いただす 性質・品質・物質・質問

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「赤色」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を形作っている材料や成分。
- イ 金属を細長く線状にしたもの。
- ウ 血や火のような色。
- エ 細く長い糸状の物質。

(2) 「青銅」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 雪や紙のような色。
- イ 銅にすずなどを加えた合金。
- ウ 外から見える形や様子。
- エ 多くの物を煮るための大きな釜。

(3) 「物質」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を形作っている材料や成分。
- イ 金属を細長く線状にしたもの。
- ウ 細く長い糸状の物質。
- エ 血や火のような色。

(4) 「白色」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 外から見える形や様子。
- イ 多くの物を煮るための大きな釜。
- ウ 銅にすずなどを加えた合金。
- エ 雪や紙のような色。

(5) 「針金」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 細く長い糸状の物質。
- イ 血や火のような色。
- ウ 金属を細長く線状にしたもの。
- エ 物を形作っている材料や成分。

(6) 「姿」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 多くの物を煮るための大きな釜。
- イ 外から見える形や様子。
- ウ 銅にすずなどを加えた合金。
- エ 雪や紙のような色。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 赤色 姿 循環 青銅 繊維 気孔 物質 大釜 朱色 白色 縄 陶器 針金 鉱石

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) 警告灯が（ ）に変わったら、機械を止める。 | (8) 祭りでは（ ）で大量の汁を煮た。 |
| (2) 古代の像は（ ）を鑄造して作られた。 | (9) 荷物を丈夫な（ ）で結んだ。 |
| (3) 空気も形は見えないが（ ）の一つである。 | (10) 山で採取した（ ）から金属を取り出す。 |
| (4) 雪に覆われ、町が一面の（ ）になった。 | (11) 水の（ ）を学び、雨が降る仕組みを考えた。 |
| (5) 細い（ ）を曲げて模型の骨組みを作った。 | (12) 葉の裏の（ ）を通して、水分や気体が入り出す。 |
| (6) 霧の中から船の（ ）が現れた。 | (13) 鳥居には鮮やかな（ ）が塗られている。 |
| (7) 綿や麻の（ ）を糸にして布を織る。 | (14) 窯で焼いた（ ）の皿を食卓に並べた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「物質」と「素材」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質は作品のもとになる物、素材は物を形作る成分全般を表す。
- イ どちらも材料を表すので、科学的な成分と制作のもとを区別せず使える。
- ウ 物質は人工物、素材は自然物についてだけ使う。
- エ 物質は物を形作る成分や材料、素材は加工して製品や作品を作るもとになる物を表す。

(2) 「繊維」と「糸」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 繊維はより合わせた長い物、糸は材料となる細い物質そのものを表す。
- イ 繊維は細く長い物質、糸は繊維をより合わせるなどして長く連ねたものを表す。
- ウ どちらも細く長いので、加工前と加工後を区別する必要はない。
- エ 繊維は植物、糸は動物から得るものだけを指す。

(3) 「鍛造」と「精錬」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 鍛造は不純物を除くこと、精錬は金属を打って形にすることを表す。
- イ どちらも金属加工なので、材料を得る工程と形を作る工程に違いはない。
- ウ 鍛造は手作業、精錬は機械を使う場合だけに用いる。
- エ 鍛造は金属を打ち圧して形を作ること、精錬は鉱石などから不純物を除き金属を得ることを表す。

(4) 「朱色」と「赤色」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 朱色は赤全般、赤色は黄みの強い赤だけを表す。
- イ 朱色は黄みを帯びた鮮やかな赤、赤色は赤い色全般を表す。
- ウ どちらも赤い色なので、色味の範囲を区別せず使える。
- エ 朱色は顔料、赤色は染料で出した色だけを指す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「鉄を（A）して刃にする」 B「鉱石を（B）して銅を得る」

- ア A＝鍛造／B＝精錬 イ A＝精錬／B＝鍛造
- ウ A＝鍛造／B＝鍛造 エ A＝精錬／B＝精錬

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「未知の（A）を分析する」 B「竹を（B）に籠を作る」

- ア A＝素材／B＝物質 イ A＝物質／B＝素材
- ウ A＝物質／B＝物質 エ A＝素材／B＝素材

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 古い像の表面には、赤みのあるシャクドウが使われた。 | (9) ジョウモン時代の土器に、縄の模様が残る。 |
| (2) 活動のハウシンを、最初の会議で決めた。 | (10) 日焼けの原因となるシガイセンを防ぐ。 |
| (3) 空と海を違うアオイロで塗り分けた。 | (11) 山間のコウザンから、銅が採掘された。 |
| (4) 背筋を伸ばし、よいシセイで座った。 | (12) 水辺のカンキョウを守る活動に参加した。 |
| (5) 重さの違うブツタイを、水に入れて比べた。 | (13) 原図を細かな穴で写す印刷法をコウハンという。 |
| (6) 古い橋をイジするには、定期的な補修が要る。 | (14) 印鑑をシュニクへ軽く押し、書類に捺印した。 |
| (7) 答えを書かずに、記入欄をクウハクのまま提出した。 | (15) 休日に陶土をこね、トウゲイを体験した。 |
| (8) 駅弁で、炊きたてのカマメシを味わった。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 紺色 () | (17) 鍛造 () | (18) 充填 () | (19) 精錬 () | (20) 性質 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

素材の性質から工程へ

町の工房では、白色の布を朱色や紺色に染め、鉱石から金属の飾りを作っていた。完成品の姿だけを見ると一つの技に思えるが、繊維と金属では性質も工程も違う。

染色では、植物の繊維を糸にし、縄のようによりを確かめてから大釜へ入れる。赤色、紫色、青色は、染料の量だけでなく、水温や時間によっても変わった。完成品の見た目から材料を決めつけず、切断面、重さ、手触りを順に確かめた。工程を逆にたどるほど、推測と観察の境が明らかになった。

【工程図】素材／加えた熱や力／形の変化／色の変化／再利用できる物

布の気孔へ染料が入り、洗った水は再び循環させる。ただし、色が薄いからと染料を無制限に充填するわけではない。繊維が傷み、望む色から離れることがある。

金属の工程では、鉱石を精錬して銅を得て、別の金属を加えて青銅にする。その後、鍛造や鑄造で形を作り、細い部分には針金を使う。材料を得る工程と形を作る工程は分かれていた。

陶器の容器も、染料を保存する道具として使われた。素材が違えば熱への強さや割れ方も違う。二人は「硬い」「柔らかい」だけでなく、どの力を加えた時にどう変わるかを記した。

真央は、朱色を単に赤と書いていたが、職人は色見本を並べて差を示した。色名は飾りではなく、同じ仕上がりを実現するための基準になる。

加工を学ぶには、完成した物の名前だけでなく、物質がどの性質をもち、熱や力でどう変わるかを見る必要がある。工程図にすると、職人の判断と素材の動きが結びついて見えた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「鉱石などから不純物を除き、金属を取り出すこと」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

（2）「センイ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「充填」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 穴や空間へ物を詰めて満たすこと。

イ 金属を打ったり圧したりして形を作る加工。

ウ 一巡して再びもとの所へ戻ること。

エ 土を成形して焼いた器。

（4）色名が仕上がりを再現する基準になるのはなぜか。

ア 色名を書けば、染料の量や時間を測らなくてもよいから。

イ 職人は同じ色を二度作ることができないから。

ウ 朱色と赤色は完全に同じ色だから。

エ 赤色の中にも朱色や紺色とは異なる細かな色味があり、望む色を共有する必要があるから。

（5）二人が金属加工を複数の工程に分けて記したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「性質」「工程」の二語を用い、素材の加工を説明する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) ウ 血や火のような色。 | (4) エ 雪や紙のような色。 |
| (2) イ 銅にすずなどを加えた合金。 | (5) ウ 金属を細長く線状にしたもの。 |
| (3) ア 物を形作っている材料や成分。 | (6) イ 外から見える形や様子。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 赤色 | (8) 大釜 |
| (2) 青銅 | (9) 縄 |
| (3) 物質 | (10) 鉱石 |
| (4) 白色 | (11) 循環 |
| (5) 針金 | (12) 気孔 |
| (6) 姿 | (13) 朱色 |
| (7) 繊維 | (14) 陶器 |

使い分けを確かめよう：物質は物を形作る成分や材料、素材は加工して製品や作品を作るもとになる物を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 物質は物を形作る成分や材料、素材は加工して製品や作品を作るもとになる物を表す。

用例：未知の物質を分析する／竹を素材に籠を作る

(2) イ 繊維は細く長い物質、糸は繊維をより合わせるなどして長く連ねたものを表す。

用例：麻の繊維をほぐす／糸で布を織る

(3) エ 鍛造は金属を打ち圧して形をすること、精錬は鉱石などから不純物を除き金属を得ることを表す。

用例：鉄を鍛造して刃にする／鉱石を精錬して銅を得る

(4) イ 朱色は黄みを帯びた鮮やかな赤、赤色は赤い色全般を表す。

用例：朱色の印を押す／赤色の布を選ぶ

(5) ア A＝鍛造、B＝精錬。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝物質、B＝素材。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 赤銅	(11) 鉱山
(2) 方針	(12) 環境
(3) 青色	(13) 孔版
(4) 姿勢	(14) 朱肉
(5) 物体	(15) 陶芸
(6) 維持	(16) こんいろ
(7) 空白	(17) たんぞう
(8) 釜飯	(18) じゅうてん
(9) 縄文	(19) せいれん
(10) 紫外線	(20) せいしつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 精錬 本文中では「精錬」と表されている。
- (2) 繊維
- (3) ア 穴や空間へ物を詰めて満たすこと。
- (4) エ 赤色の中にも朱色や紺色とは異なる細かな色味があり、望む色を共有する必要があるから。
- (5) 解答例（49 字）

鉱石から材料を得る精錬と、力を加えて形を作る鍛造では、素材への働きかけと目的がそれぞれ異なるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（70 字）

素材の性質を、硬い・柔らかいだけでなく、熱や力を加えた時の変化として記す。材料を得る段階と形や色を整える工程を分け、再現に必要な条件も示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十六回

家と日々の道具

道具を物の一覧にせず、だれのどの行動を支えるかで整理する。

今日の中心漢字

着 茶 飲 飼 炊 袖 餓 糧

いっしょに覚える漢字

在	宇	複	乳	裕	垣
粒	棧	傘	粧	褐	椅

着用・炊飯・食糧・椅子など家の暮らしを表す語を確かめたあと、非常時にも一日をつなぐ道具の組合せを考える文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
着	チャク・ジャク・きる・つく	身につける／場所に届く 着る・着用・到着・着席	炊	スイ・たく	火を使って米などを煮る 炊く・炊飯・自炊・炊事
茶	チャ・サ	茶の葉／飲み物 茶・茶葉・緑茶・茶室	袖	シュウ・そで	衣服の腕を通す部分 袖・袖口・半袖・長袖
飲	イン・のむ	口から液体を取る 飲む・飲料・飲食・飲水	餓	ガ・うえる	食物がなく苦しむ 飢餓・餓死・餓える
飼	シ・かう	動物に食物を与えて育てる 飼う・飼料・飼育・放し飼い	糧	リョウ・ロウ・かて	食物／活動を支えるもの 食糧・糧食・兵糧・心の糧

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
在	ザイ・ある	その場所にいる／存在する 在宅・存在・現在・在庫	粒	リュウ・つぶ	小さく丸いもの 粒・米粒・粒子・一粒
宇	ウ	大きな屋根／空間 宇宙・宇内・堂宇	棧	サン	横に渡した細い木／足場 棧・窓の棧・棧橋・棧道
複	フク	二つ以上重なる 複数・複合・重複・複写	傘	サン・かさ	雨や日光を防ぐ道具 傘・雨傘・日傘・傘下
乳	ニユウ・ちち・ち	動物が子を育てる液 牛乳・乳製品・母乳・乳児	粧	ショウ・よそおう	顔や物を美しく整える 化粧・化粧品・薄化粧
裕	ユウ	ゆとりがある 余裕・裕福・富裕	褐	カツ	黒みを帯びた茶色 褐色・茶褐色・褐炭
垣	エン・かき	土地を区切る囲い 垣根・石垣・生垣	椅	イ	腰掛ける道具 椅子・長椅子

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「着用」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人が飲むための液体。
- イ 米を炊いて飯にすること。
- ウ 食物が足りず、飢えに苦しむ状態。
- エ 衣服などを身につけること。

(2) 「茶葉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 家畜や動物に与える食物。
- イ 衣服の袖の先にある開いた部分。
- ウ 茶の木から摘み、飲料のもとにする葉。
- エ 生活のために備える食べ物。

(3) 「飲料」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 米を炊いて飯にすること。
- イ 人が飲むための液体。
- ウ 食物が足りず、飢えに苦しむ状態。
- エ 衣服などを身につけること。

(4) 「飼料」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 家畜や動物に与える食物。
- イ 衣服の袖の先にある開いた部分。
- ウ 生活のために備える食べ物。
- エ 茶の木から摘み、飲料のもとにする葉。

(5) 「炊飯」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 食物が足りず、飢えに苦しむ状態。
- イ 衣服などを身につけること。
- ウ 人が飲むための液体。
- エ 米を炊いて飯にすること。

(6) 「袖口」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活のために備える食べ物。
- イ 茶の木から摘み、飲料のもとにする葉。
- ウ 衣服の袖の先にある開いた部分。
- エ 家畜や動物に与える食物。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 着用 袖口 複数 茶葉 飢餓 牛乳 飲料 食糧 余裕 飼料 在宅 垣根 炊飯 宇宙

(1) 工事現場では安全帽を（ ）する。

(8) 避難所へ水と（ ）を届けた。

(2) 収穫した（ ）を蒸して乾燥させた。

(9) 通院が難しい人は（ ）で診療を受けた。

(3) 暑い日は冷たい（ ）を少しずつ取る。

(10) （ ）で長く暮らすための食事や運動を研究する。

(4) 家畜の成長に合った（ ）を与える。

(11) 候補を（ ）挙げ、条件ごとに比べた。

(5) 停電に備え、鍋でも（ ）できる方法を覚えた。

(12) 朝食に温めた（ ）を飲んだ。

(6) 上着の（ ）から白いシャツがのぞいている。

(13) 予定に（ ）があるうちに、資料を見直した。

(7) 干ばつが続き、多くの地域で（ ）が広がった。

(14) 庭の（ ）越しに隣家の明かりが見える。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「食糧」と「飼料」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 食糧は動物の食物、飼料は人が食べる物を表す。
- イ どちらも食べ物なので、人と動物の違いなく使える。
- ウ 食糧は人の生活のための食べ物、飼料は家畜や動物に与える食物を表す。
- エ 食糧は保存食、飼料は生の食べ物だけを指す。

(2) 「着用」と「装着」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 着用は衣服などを身につけること、装着は器具や部品を取り付けることを表す。
- イ 着用は器具を取り付けること、装着は衣服を身につけることを表す。
- ウ どちらも身につける行為なので、衣服と器具を区別せず使える。
- エ 着用は布製、装着は金属製の物だけに使う。

(3) 「余裕」と「裕福」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 余裕は財産の豊かさ、裕福は時間や空間のゆとりを表す。
- イ どちらも足りている状態なので、何にゆとりがあるかを区別する必要はない。
- ウ 余裕は時間・空間・気持ちなどのゆとり、裕福は財産が多く生活が豊かなことを表す。
- エ 余裕は一時的、裕福は生まれてから続く状態だけに使う。

(4) 「褐色」と「茶色」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 褐色は黒みや黄みを帯びた茶色をやや改まって表す語、茶色は日常で茶に似た色を広く表す。
- イ 褐色は日常的な色名、茶色は専門的に黒みのある色を表す。
- ウ どちらも同じ範囲の色を表し、文体や色味に違いはない。
- エ 褐色は自然物、茶色は人工物の色だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の保存瓶」 B「(B)の椅子」

- ア A=茶色／B=褐色 イ A=褐色／B=褐色
- ウ A=褐色／B=茶色 エ A=茶色／B=茶色

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「防寒着を(A)する」 B「器具を腕に(B)する」

- ア A=装着／B=着用 イ A=着用／B=着用
- ウ A=装着／B=装着 エ A=着用／B=装着

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| (1) 予定より早く駅へトウチャクした。 | (9) その場所に古い集落がソンザイした証拠を探した。 |
| (2) 一人暮らしを始め、毎日ジスイしている。 | (10) 光を小さなリュウシとして扱う考え方がある。 |
| (3) 食後に温かいリョクチャを飲んだ。 | (11) 古語では天下や世界をウダイと表すことがある。 |
| (4) 暑い日は、ハンソデの服で出かける。 | (12) 複数の材料を組み合わせたフクゴウ素材を使う。 |
| (5) 図書館内でのインショクは禁止されている。 | (13) バターやチーズなどのニューセイヒンを控える。 |
| (6) 飢饉で多くの人がガシした記録が残っている。 | (14) 商人の家はユウフクで、大きな蔵を持っていた。 |
| (7) 動物園では、希少な鳥をシイクしている。 | (15) 城のイシガキが、何段にも積み上げられている。 |
| (8) 遠征する兵のため、保存しやすいリョウショクを用意した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 窓の棧 () | (17) 雨傘 () | (18) 化粧 () | (19) 褐色 () | (20) 椅子 () |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

道具がつなぐ一日

交流館では、非常時に在宅できない人を受け入れる準備をした。倉庫には食糧、飲料、雨傘、椅子があるが、品名と個数だけの一覧では、一日の暮らしを支えられるか分からない。

朝は米粒を量って炊飯し、牛乳や茶葉を配る。

人の食糧と、同行する犬や猫の飼料は分ける。量が多くても、湯を沸かす道具や配る人がいなければ食事にならない。

道具を一つずつ孤立して並べると、暮らしの順序は見えない。食事、移動、休息という場面へ戻すと、使う人の一日がつながり始めた。

【一日の順序】起きる／着替える／食べる／休む／外へ移動する／眠る

衣服は大きさだけでなく、長袖か、袖口を閉じられるか、複数の人が着用できるかを確認した。化粧品も「不要」と決めず、本人が日常を取り戻すために必要かを尋ねる。

窓の棧が外れ、垣根も倒れていたため、雨が入る場所へ椅子を置かない。物を並べる余裕がない時ほど、動線と安全な空間を先に確保する必要がある。

保存瓶の褐色は光を防ぐためで、飾りではなかった。期限と用途を記し、飲料と薬を混同しないようにする。見た目の似た容器ほど、表示が重要になる。

展示には、宇宙船で水と食物を循環させる工夫も紹介されていた。限られた物を数えるだけでなく、どの行動に使い、使った後に何が必要かを見る点は、避難生活にも通じる。

飢餓を防ぐには食糧の量が要る。

しかし、人が一日を過ごすには、着替え、休む場所、日常の習慣も必要である。道具を行動の順序に置くと、足りない物と、支える人の働きが見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「時間・空間・気持ちなどにゆとりがあること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「シヨクリョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「飼料」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 衣服などを身につけること。

イ 家畜や動物に与える食物。

ウ 顔などを整え美しく見せること。

エ 自宅にいること。

（4）道具を品名と個数だけでなく、一日の行動順に置いたのはなぜか。

ア 倉庫の品数を少なく見せるため。

イ すべての人が同じ一日を過ごすから。

ウ 道具をいつ、だれが、何に使うかを確かめると、物だけでなく支える人や工程の不足も分かるから。

エ 食糧以外の道具は数える必要がないから。

（5）化粧品を一律に「不要」としなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「道具」「行動」の二語を用い、非常時の備えを点検する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) エ 衣服などを身につけること。 | (4) ア 家畜や動物に与える食物。 |
| (2) ウ 茶の木から摘み、飲料のもとにする葉。 | (5) エ 米を炊いて飯にすること。 |
| (3) イ 人が飲むための液体。 | (6) ウ 衣服の袖の先にある開いた部分。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 着用 | (8) 食糧 |
| (2) 茶葉 | (9) 在宅 |
| (3) 飲料 | (10) 宇宙 |
| (4) 飼料 | (11) 複数 |
| (5) 炊飯 | (12) 牛乳 |
| (6) 袖口 | (13) 余裕 |
| (7) 飢餓 | (14) 垣根 |

使い分けを確かめよう：食糧は人の生活のための食べ物、飼料は家畜や動物に与える食物を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 食糧は人の生活のための食べ物、飼料は家畜や動物に与える食物を表す。

用例：避難所の食糧を備える／犬の飼料を分ける

(2) ア 着用は衣服などを身につけること、装着は器具や部品を取り付けることを表す。

用例：防寒着を着用する／器具を腕に装着する

(3) ウ 余裕は時間・空間・気持ちなどのゆとり、裕福は財産が多く生活が豊かなことを表す。

用例：炊飯まで時間の余裕がある／裕福な家庭で育つ

(4) ア 褐色は黒みや黄みを帯びた茶色をやや改まって表す語、茶色は日常で茶に似た色を広く表す。

用例：褐色の保存瓶／茶色の椅子

(5) ウ A＝褐色、B＝茶色。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝着用、B＝装着。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 到着	(11) 宇内
(2) 自炊	(12) 複合
(3) 緑茶	(13) 乳製品
(4) 半袖	(14) 裕福
(5) 飲食	(15) 石垣
(6) 餓死	(16) まどのさん
(7) 飼育	(17) あまがさ
(8) 糧食	(18) けしょう
(9) 存在	(19) かっしょく
(10) 粒子	(20) いす

七 文章の中で考えよう

(1) 余裕 本文中では「余裕」と表されている。

(2) 食糧

(3) イ 家畜や動物に与える食物。

(4) ウ 道具をいつ、だれが、何に使うかを確かめると、物だけでなく支える人や工程の不足も分かるから。

(5) 解答例 (47 字)

生命を保つ物だけでなく、本人がいつもの身支度をし、日常の感覚を取り戻すことも生活を支えるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例 (72 字)

道具を品名だけで並べず、起床・食事・休息・移動など一日の行動順に置く。だれがいつ使い、使用後に何が要るかを確かめ、物と支える人の不足を見つける。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十七回

構造と計測

動いた結果だけでなく、力の通り道と測定条件を確かめる。

今日の中心漢字

式 電 額 枝 巧 克 軸 斜

いっしょに覚える漢字

玉	科	卷	織	矛	刈
伎	揚	酵	楼	礎	槽

軸・斜面・基礎・発酵槽など構造と働きを表す語を確かめたあと、科学展示の模型を測定記録から改善する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
式 電 額 枝	シキ	決まった形／計算の表し方 方式・公式・数式・儀式	巧	コウ・たくみ	技がすぐれている 巧み・巧妙・技巧・精巧
	デン	電気／電報 電気・電流・発電・電線	克	コク・かつ	困難に打ち勝つ 克服・克己・相克
	ガク・ひたい	ひたい／金額／枠 金額・額縁・多額・半額	軸	ジク	回転や構造の中心となる棒 軸・回転軸・車軸・座標軸
	シ・えだ	幹から分かれた部分 枝・枝分かれ・枝葉・小枝	斜	シャ・ななめ	まっすぐでなく傾く 斜面・斜線・傾斜・斜光

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
玉 科 巻 織 矛 刈	ギョク・たま	丸いもの／美しい石 玉・鉄の玉・目玉・玉石	伎	ギ・キ・わざ	技や芸 伎芸・歌舞伎・伎倆
	カ	分野／分類 科学・教科・学科・科目	揚	ヨウ・あげる・あがる	高く上げる／油で熱する 揚力・掲揚・水揚げ・揚げる
	カン・まく・まき	まわして包む／ひとまとまり 巻く・巻線・一卷・渦巻	酵	コウ	微生物の働きで物が変わる 発酵・酵母・酵素
	ショク・シキ・おる	糸を組み合わせて布にする 織る・織物・組織・機織り	楼	ロウ	高く造った建物 高楼・楼閣・鐘楼
	ム・ポウ・ほこ	長い柄に刃を付けた武器 矛・矛盾・矛先	礎	ソ・いしずえ	建物の土台／物事の基 基礎・礎石・礎
	ガイ・かる	草や稲を切り取る 刈る・草刈り・刈り入れ	槽	ソウ・ふね	液体などを入れる大きな容器 水槽・発酵槽・浴槽・槽

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「公式」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 広く認められた関係や計算を記号で表したもの。
- イ 絵や写真の周りにはめる枠。
- ウ 方法がよく工夫され、巧みなこと。
- エ 物が回転するときの中心となる線や棒。

(2) 「電流」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 一つのが途中で複数に分かれること。
- イ 困難や弱点を乗り越えること。
- ウ 水平や垂直に対して傾いた面。
- エ 電気が導体の中を流れること。

(3) 「額縁」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 方法がよく工夫され、巧みなこと。
- イ 物が回転するときの中心となる線や棒。
- ウ 絵や写真の周りにはめる枠。
- エ 広く認められた関係や計算を記号で表したもの。

(4) 「枝分かれ」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 困難や弱点を乗り越えること。
- イ 一つのが途中で複数に分かれること。
- ウ 水平や垂直に対して傾いた面。
- エ 電気が導体の中を流れること。

(5) 「巧妙」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 方法がよく工夫され、巧みなこと。
- イ 物が回転するときの中心となる線や棒。
- ウ 広く認められた関係や計算を記号で表したもの。
- エ 絵や写真の周りにはめる枠。

(6) 「克服」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水平や垂直に対して傾いた面。
- イ 電気が導体の中を流れること。
- ウ 一つのが途中で複数に分かれること。
- エ 困難や弱点を乗り越えること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 公式 克服 巻線 電流 回転軸 織物 額縁 斜面 矛盾 枝分かれ 鉄の玉 草刈り 巧妙 科学

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 三角形の面積を求める（ ）を使う。 | (8) 雨でぬれた（ ）を慎重に下った。 |
| (2) 導線に流れる（ ）の強さを測った。 | (9) 坂の上から重い（ ）を転がす実験をした。 |
| (3) 古い写真を（ ）に入れて飾った。 | (10) 観察と実験を通して自然を考えるのが（ ）だ。 |
| (4) 川は山あいでは本にも（ ）している。 | (11) モーター内部の（ ）に電流を流す。 |
| (5) 犯人は人目を避ける（ ）な方法で侵入した。 | (12) 細い糸を組み合わせ、美しい（ ）を作る。 |
| (6) 苦手だった泳ぎを練習で（ ）した。 | (13) 説明の前半と後半に（ ）がある。 |
| (7) 車輪の（ ）がずれると、滑らかに回らない。 | (14) 伸びた草を整えるため、朝から（ ）をした。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「基礎」と「土台」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 基礎は物を載せる台、土台は建物の地中部分だけを表す。
- イ 基礎は建物や学びを下から支える部分、土台は物を載せて支える台や物事のよりどころを表す。
- ウ どちらも下から支えるものなので、構造上の位置や役割に違いはない。
- エ 基礎は見えない部分、土台は必ず外から見える部分を指す。

(2) 「軸」と「中心」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 軸は範囲のまんなか、中心は回転を支える棒だけを表す。
- イ どちらもまんなかを表すので、物理的な部品と位置を区別せず使える。
- ウ 軸は縦方向、中心は横方向にある場合だけ用いる。
- エ 軸は回転や構造を支える線・棒、中心は範囲や働きのまんなかを広く表す。

(3) 「公式」と「方程式」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 公式は未知数を求める式、方程式は一般的な関係を示す式を表す。
- イ 公式は数量の関係を一般的に表す式、方程式は未知の値を含み、その値を求めるための式を表す。
- ウ どちらも記号を使う式なので、未知数の有無を区別する必要はない。
- エ 公式は図形、方程式は数だけを扱う場合に使う。

(4) 「発酵」と「腐敗」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 発酵は有害な変化、腐敗は食品を役立つ形へ変えることを表す。
- イ どちらも微生物による変化なので、人への働きを区別せず使える。
- ウ 発酵は工場、腐敗は家庭で起きる場合だけに使う。
- エ 発酵は微生物の働きが人に役立つ変化、腐敗は食物などが人に有害な状態へ変わることを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「高樓の（A）を調べる」 B「模型を（B）へ固定する」

- ア A＝基礎／B＝土台 イ A＝土台／B＝基礎
- ウ A＝基礎／B＝基礎 エ A＝土台／B＝土台

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「面積の（A）を使う」 B「（B）を解く」

- ア A＝方程式／B＝公式 イ A＝公式／B＝方程式
- ウ A＝公式／B＝公式 エ A＝方程式／B＝方程式

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 受付方法を新しいハウシキへ改めた。 | (9) 新商品のメダマとなる機能を紹介した。 |
| (2) 単なる速さではなく、演奏のギコウも評価された。 | (10) 伝統芸能のカブキを、初めて劇場で観た。 |
| (3) 停電でデンキが消え、非常灯がついた。 | (11) 好きなキョウカだけでなく、幅広く学ぶ。 |
| (4) 怒りを抑えるコッキ心を身につけたい。 | (12) 台風の雲が大きなウズマキを作っている。 |
| (5) 修理にはタガクの費用がかかる。 | (13) 部署のソシキを見直し、役割を明確にした。 |
| (6) 車輪を支えるシャジクに油を差した。 | (14) 批判のホコサキが、制度の設計者へ向かった。 |
| (7) 要点と関係の薄いエダハを削り、文章を整えた。 | (15) 翼に働くヨウリョクが、機体を空へ持ち上げる。 |
| (8) 図の不要な部分へシャセンを引いた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| (16) 揚力 () | (17) 発酵 () | (18) 高楼 () | (19) 基礎 () | (20) 発酵槽 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

測って、仕組みを確かめる

科学展の模型は、斜面を下る鉄の玉が回転軸を動かし、巻線に電流を生じさせる仕組みだった。見た目は巧妙で、伎芸のように玉が次々動く。しかし、測定すると同じ結果にならなかった。

【測定の条件】使った器具／始めの位置／測った回数／単位／予想と合わない値

悠人は公式へ数字を入れ直し、真央は玉を放す高さや斜面の角度を測った。額縁のような外枠が少しゆがみ、軸の位置がずれていた。構造の中心と、見た目の中心は同じではなかった。

模型の数値が合ったあと、悠人は実物の写真をもう一度見た。測れる大きさが同じでも、力の伝わり方まで同じとは限らない。

記録には「高さを二倍にすると速さも二倍」とあるが、実測とは矛盾した。都合の悪い値を消さず、摩擦や測定誤差を調べる。矛盾は失敗ではなく、仕組みを確かめ直す入口になる。

隣の展示では、発酵槽の温度と酵母の変化を測っていた。草刈り後の植物を入れた槽と、何も入れない槽を比べる。枝分かれした条件を一度に変えれば、何が影響したか分からない。

高樓の模型は基礎が弱く、揚力を示す翼は角度が一定でなかった。織物を翼に張る方法を変え、同じ風で持ち上がる力を測る。弱点を克服するには、補強した場所と結果を対応させる必要がある。

二人は装置を直したあと、同じ条件で五回測った。値には幅があったが、軸を固定するとばらつきが小さくなった。成功した一回ではなく、繰り返しの傾向を見る。

模型の動きは、部品の形、力の通り道、測定条件が組み合わさって生まれる。結果だけを驚いて見るのではなく、どこを変えると何が変わるかを測ることで、構造を説明できる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「二つの事柄のつじつまが合わないこと」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「カイトンジク」を漢字 3 字で書きなさい。

(3) 本文中の「揚力」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 糸を縦横に組み合わせて作った布。

イ 建物や考えを支えるもと。

ウ 流体の中で物体を持ち上げる向きに働く力。

エ 鉄心などへ巻き付けた電線。

(4) 予想と合わない測定値を消さなかったのはなぜか。

ア 測定値は多いほど必ず正確になるから。

イ 摩擦や器具のずれなど、模型の仕組みや測定条件の問題を見つける手がかりになるから。

ウ 公式は一度も修正してはいけないから。

エ 模型は同じ条件でも必ず同じ値になるから。

(5) 装置を直した後も、同じ条件で五回測ったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「構造」「条件」の二語を用い、模型の仕組みを確かめる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| (1) ア 広く認められた関係や計算を記号で表したものの。 | (4) イ 一つのが途中で複数に分かれること。 |
| (2) エ 電気が導体の中を流れること。 | (5) ア 方法がよく工夫され、巧みなこと。 |
| (3) ウ 絵や写真の周りにはめる枠。 | (6) エ 困難や弱点を乗り越えること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|----------|----------|
| (1) 公式 | (8) 斜面 |
| (2) 電流 | (9) 鉄の玉 |
| (3) 額縁 | (10) 科学 |
| (4) 枝分かれ | (11) 巻線 |
| (5) 巧妙 | (12) 織物 |
| (6) 克服 | (13) 矛盾 |
| (7) 回転軸 | (14) 草刈り |

使い分けを確かめよう：基礎は建物や学びを下から支える部分、土台は物を載せて支える台や物事のよりどころを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 基礎は建物や学びを下から支える部分、土台は物を載せて支える台や物事のよりどころを表す。

用例：高樓の基礎を調べる／模型を土台へ固定する

(2) エ 軸は回転や構造を支える線・棒、中心は範囲や働きのまんなかを広く表す。

用例：回転軸を固定する／円の中心を測る

(3) イ 公式は数量の関係を一般的に表す式、方程式は未知の値を含み、その値を求めるための式を表す。

用例：面積の公式を使う／方程式を解く

(4) エ 発酵は微生物の働きが人に役立つ変化、腐敗は食物などが人に有害な状態へ変わることを表す。

用例：酵母で生地を発酵させる／食品が腐敗する

(5) ア A＝基礎、B＝土台。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝公式、B＝方程式。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 方式	(11) 教科
(2) 技巧	(12) 渦巻
(3) 電気	(13) 組織
(4) 克己	(14) 矛先
(5) 多額	(15) 揚力
(6) 車軸	(16) ようりよく
(7) 枝葉	(17) はっこう
(8) 斜線	(18) こうろう
(9) 目玉	(19) きそ
(10) 歌舞伎	(20) はっこうそう

七 文章の中で考えよう

- (1) 矛盾 本文中では「矛盾」と表されている。
- (2) 回転軸
- (3) ウ 流体の中で物体を持ち上げる向きに働く力。
- (4) イ 摩擦や器具のずれなど、模型の仕組みや測定条件の問題を見つける手がかりになるから。
- (5) 解答例（48 字）

成功した一回だけで判断せず、複数回の値のばらつきと、修正によって現れた変化の傾向を確かめるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（70 字）

部品の位置と力の通り道を図にし、始めの高さや角度など測定条件をそろえる。一か所ずつ構造を変えて繰り返し測り、予想と合わない値も原因を調べる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十八回

芸能と信仰

形を残すだけでなく、だれが何を大切にしてきたかを確かめる。

今日の中心漢字

楽 神 寺 典 宗 禅 魂 禍

いっしょに覚える漢字

示	祝	笛	尼	亜	拍
塚	踊	塔	棋	雅	文※

祭典・宗教・禅・雅楽など文化と信仰を表す語を確かめたあと、町の祭りを異なる立場から記録する文章を読みます。 ※再会漢字：文（第一冊第十回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
楽 神 寺 典	ガク・ラク・たの しい・たのしむ	音を奏でる／心が安らぐ 音楽・楽器・楽しむ・雅楽	宗 禅 魂 禍	シュウ・ソウ	中心となる教え／祖先 宗教・宗派・宗旨・祖宗
	シン・ジン・か み・かん・こう	人を超えると考えられる存在 神・神社・神話・精神		ゼン	心を静め悟りを求める仏教の教え 禅・座禅・禅宗・禅寺
	ジ・てら	仏教の施設 寺・寺院・古寺・尼寺		コン・たましい	生命や心の根本と考えるもの 魂・靈魂・鎮魂・魂胆
	テン	よりどころとなる書物／儀式 祭典・古典・辞典・典礼		カ・わざわい	思いがけない災い 災禍・戦禍・禍根・禍福

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
示 祝 笛 尼 亜 拍	ジ・シ・しめす	見せて伝える 示す・展示・指示・暗示	塚 踊 塔 棋 雅 文 ※	チョウ・つか	土を盛った墓や目印 塚・貝塚・一里塚・古塚
	シュク・シュウ・ いわう	喜びを表していわう 祝う・祝祭・祝福・祝日		ヨウ・おどる・お どり	音に合わせて体を動かす 踊る・舞踊・踊り・盆踊り
	テキ・ふえ	息を吹いて鳴らす楽器 笛・横笛・汽笛・口笛		トウ	高く重ねて建てた建造物 塔・仏塔・鉄塔・五重塔
	ニ・あま	出家した女性 尼・尼僧・尼寺		キ	盤上で駒を動かす遊び 将棋・棋士・棋譜・棋戦
	ア	次ぐ／似ていて異なる 亜流・亜細亜・亜種		ガ・みやび	上品で趣がある 雅楽・優雅・雅号・風雅
	ハク・ヒョウ	手を打つ／音の時間単位 拍子・拍手・脈拍・一拍		ブン・モン・ふ み・あや	再会：文字で表す／文化 文化・文章・文字・文芸

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「音楽」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 仏像をまつり、仏教の活動を行う施設。
- イ 音を組み合わせて表現する芸術。
- ウ 神仏などへの信仰と、それに基づく教えや行い。
- エ 亡くなった人の魂を慰め、静めること。

(2) 「神社」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 神をまつる施設。
- イ 祝い、記念、信仰などのために行う儀式。
- ウ 姿勢を整えて座り、心を静める修行。
- エ 災害などによる大きなわざわい。

(3) 「寺院」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 神仏などへの信仰と、それに基づく教えや行い。
- イ 亡くなった人の魂を慰め、静めること。
- ウ 音を組み合わせて表現する芸術。
- エ 仏像をまつり、仏教の活動を行う施設。

(4) 「祭典」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 姿勢を整えて座り、心を静める修行。
- イ 災害などによる大きなわざわい。
- ウ 祝い、記念、信仰などのために行う儀式。
- エ 神をまつる施設。

(5) 「宗教」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 亡くなった人の魂を慰め、静めること。
- イ 神仏などへの信仰と、それに基づく教えや行い。
- ウ 音を組み合わせて表現する芸術。
- エ 仏像をまつり、仏教の活動を行う施設。

(6) 「座禅」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 姿勢を整えて座り、心を静める修行。
- イ 災害などによる大きなわざわい。
- ウ 神をまつる施設。
- エ 祝い、記念、信仰などのために行う儀式。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 音楽 座禅 横笛 神社 鎮魂 尼僧 寺院 災禍 亜流 祭典 展示 拍子 宗教 祝祭

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| (1) 静かな部屋で好きな（ ）を聴いた。 | (8) 戦争や地震の（ ）を後世へ伝える。 |
| (2) 初詣で近所の（ ）を訪れた。 | (9) 美術館で新収蔵品が初めて（ ）された。 |
| (3) 山あいには古い（ ）が点在している。 | (10) 町は収穫を祝う（ ）の飾りで彩られた。 |
| (4) 開館記念の（ ）に多くの来賓が集まった。 | (11) 祭りの行列に（ ）の澄んだ音が響いた。 |
| (5) 異なる（ ）を持つ人々が同じ町で暮らしている。 | (12) 寺で修行を続ける（ ）から話を聞いた。 |
| (6) 僧は朝の静けさの中で（ ）を組んだ。 | (13) 原作をまねただけの（ ）に終わらず、独自性を加えた。 |
| (7) 慰霊碑の前で、亡くなった人々の（ ）を祈った。 | (14) 太鼓の（ ）に合わせて踊る。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「祭典」と「祝祭」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 祭典は祝い・記念・信仰のための儀式、祝祭は祝いの祭りや華やかな行事を広く表す。
- イ 祭典は華やかな祭り全般、祝祭は定められた儀式だけを表す。
- ウ どちらも祭りを表すので、儀式性や祝い方を区別する必要はない。
- エ 祭典は宗教、祝祭は世俗の行事だけに使う。

(2) 「宗教」と「信仰」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 宗教は個人の心、信仰は組織や教えの体系を表す。
- イ どちらも神仏との関わりなので、制度と個人の思いを区別せず使える。
- ウ 宗教は教え・儀礼・共同体を含む体系、信仰は神仏などを信じ大切にすることや行いを表す。
- エ 宗教は公の場、信仰は家庭内にだけ存在する。

(3) 「神社」と「寺院」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 神社は神をまつる施設、寺院は仏像をまつり仏教の活動を行う施設を表す。
- イ 神社は仏教、寺院は神をまつる施設を表す。
- ウ どちらも祈りの場なので、まつる対象や活動に違いはない。
- エ 神社は木造、寺院は石造の建物だけを指す。

(4) 「雅楽」と「音楽」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 雅楽は音による表現全般、音楽は宮廷の伝統音楽だけを表す。
- イ どちらも音の表現なので、歴史や演奏の場を区別せず使える。
- ウ 雅楽は宮廷や寺社で伝えられてきた音楽、音楽は音による表現全般を表す。
- エ 雅楽は笛、音楽は弦楽器だけで演奏する。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「地域の（A）を調べる」 B「個人の（B）を尊重する」

- ア A=信仰／B=宗教 イ A=宗教／B=宗教
- ウ A=宗教／B=信仰 エ A=信仰／B=信仰

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「横笛で（A）を奏でる」 B「多様な（B）を聴く」

- ア A=音楽／B=雅楽 イ A=雅楽／B=雅楽
- ウ A=音楽／B=音楽 エ A=雅楽／B=音楽

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| (1) 同じ宗教でも、教えの解釈によってシュウハが分かれる。 | (9) 街道のイチリツカが、旅の距離を示していた。 |
| (2) 星座の由来を語る古いシンワを読んだ。 | (10) 友人の門出を心からシュクフクした。 |
| (3) 座禅を重んじるゼンシュウの寺を訪れた。 | (11) 港へ入る船のキテキが遠くで鳴った。 |
| (4) 山あいのフルデラに、平安期の像が残る。 | (12) 女性の僧が暮らすアマデラを訪ねた。 |
| (5) 死後もレイコンが存在すると考える文化がある。 | (13) 宮廷で演奏されたガガクを鑑賞した。 |
| (6) 時代を越えて読まれるコテンに親しんだ。 | (14) 発表を終えた生徒へ、温かいハクシュが送られた。 |
| (7) 長いセンカによって、町の多くが失われた。 | (15) 演奏前に、それぞれのガッキを調律した。 |
| (8) 係員のシジに従い、順に避難した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 舞踊 () | (17) 仏塔 () | (18) 将棋 () | (19) 雅楽 () | (20) 文化 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

形を残し、意味を問い直す

町の祭りを記録する展示で、悠人と真央は神社の祭典、寺院の座禅会、広場の舞踊を一つの年表へ並べた。どれも文化だが、宗教上の意味と、見物する人の楽しみは同じではない。

古い写真には、横笛と雅楽、一定の拍子で踊る人々が写る。近くの貝塚や仏塔を巡る行列もあった。形だけをまねた新しい踊りを「亜流」と退ける声もあったが、変化した理由を聞く必要がある。

形を写した記録と、そこへ託された意味の説明を別の札にした。保存できる形が一つでも、読み取られる意味は時代と人によって増えていく。

災禍で亡くなった人の鎮魂を目的とする祭典では、にぎやかな祝祭と同じ説明を付けられない。見学者が楽しいと感じても、その行事が担う悲しみや祈りを消してはならない。

尼僧は、寺院の道具を単なる美術品として展示することに戸惑いを示した。

【展示札に書くこと】 行事の名称／大切にする人の説明／行われる場所／変化した点

信仰の中で今も使う物だからである。展示する側は、所有者の許可だけでなく、使う人が何を大切にしているかを確かめた。

一方、境内では将棋の会や子どもの音楽会も開かれていた。信仰の場が地域交流の場にもなる例である。ただし、交流の働きだけを強調して宗教の意味を薄めないよう、説明を分けた。

真央は、昔と同じ形を守ることが伝統だと思っていた。

だが、参加できる人を広げ、災害の記憶を新しい踊りへ込める変化もある。受け継ぐとは、形を固定することではなく、意味を問い直しながら次へ渡すことでもある。

展示の最後に、二人は「この行事は何を祝うのか、だれがどう説明するのか」と問いを置いた。

文化を記録することは、外から一つの意味を与えることではない。異なる立場の言葉を残し、変化の理由まで伝えることである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「宮廷や寺社で伝えられてきた音楽」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「チンコン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「亜流」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 昔の人が捨てた貝殻などが積もった遺跡。
- イ 祝いのために行う祭り。
- ウ 音楽や動きの時間を区切るまとまり。
- エ 独創的なものをまねてできた流派や作品。

(4) 鎮魂の祭典を、にぎやかな祝祭と同じ説明にしなかったのはなぜか。

- ア 見物する楽しさだけを強調すると、亡くなった人を慰める悲しみや祈りの意味が消えるから。
- イ 鎮魂の祭典では音楽を演奏できないから。
- ウ 祝祭はすべて宗教と無関係だから。
- エ 祭典の写真は展示してはいけないから。

(5) 信仰の道具を、美術品としてだけ展示しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「立場」「意味」の二語を用い、文化を展示するときの姿勢を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| (1) イ 音を組み合わせて表現する芸術。 | (4) ウ 祝い、記念、信仰などのために行う儀式。 |
| (2) ア 神をまつる施設。 | (5) イ 神仏などへの信仰と、それに基づく教えや行い。 |
| (3) エ 仏像をまつり、仏教の活動を行う施設。 | (6) ア 姿勢を整えて座り、心を静める修行。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 音楽 | (8) 災禍 |
| (2) 神社 | (9) 展示 |
| (3) 寺院 | (10) 祝祭 |
| (4) 祭典 | (11) 横笛 |
| (5) 宗教 | (12) 尼僧 |
| (6) 座禅 | (13) 亜流 |
| (7) 鎮魂 | (14) 拍子 |

使い分けを確かめよう：祭典は祝い・記念・信仰のための儀式、祝祭は祝いの祭りや華やかな行事を広く表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) ア 祭典は祝い・記念・信仰のための儀式、祝祭は祝いの祭りや華やかな行事を広く表す。
用例：鎮魂の祭典を行う／町の祝祭を楽しむ
- (2) ウ 宗教は教え・儀礼・共同体を含む体系、信仰は神仏などを信じ大切にすることや行いを表す。
用例：地域の宗教を調べる／個人の信仰を尊重する
- (3) ア 神社は神をまつる施設、寺院は仏像をまつり仏教の活動を行う施設を表す。
用例：神社で祭礼を行う／寺院で座禅をする
- (4) ウ 雅楽は宮廷や寺社で伝えられてきた音楽、音楽は音による表現全般を表す。
用例：横笛で雅楽を奏でる／多様な音楽を聴く
- (5) ウ A＝宗教、B＝信仰。(2)の使い分けを参照。
- (6) エ A＝雅楽、B＝音楽。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 宗派	(11) 汽笛
(2) 神話	(12) 尼寺
(3) 禅宗	(13) 雅楽
(4) 古寺	(14) 拍手
(5) 靈魂	(15) 楽器
(6) 古典	(16) ぶよう
(7) 戦禍	(17) ぶっとう
(8) 指示	(18) しょうぎ
(9) 一里塚	(19) ががく
(10) 祝福	(20) ぶんか

七 文章の中で考えよう

- (1) 雅楽 本文中では「雅楽」と表されている。
- (2) 鎮魂
- (3) エ 独創的なものをまねてできた流派や作品。
- (4) ア 見物する楽しさだけを強調すると、亡くなった人を慰める悲しみや祈りの意味が消えるから。
- (5) 解答例 (46 字)

今も信仰の中で使う人がおり、形の美しさだけでは、その物が担う祈りや大切さを伝えられないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (71 字)

外から一つの意味を決めず、行事や道具を大切にする人の立場から説明を聞く。形が変わった点も、だれが何を受け継ごうとしたかという理由とともに記す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと